

令和4年度  
第2回 葛飾区区民モニター  
アンケート調査  
報告書

- －「心のバリアフリーについて」－
- －「シェアサイクルについて」－
- －「区民と区長との意見交換会について」－
- －「生涯学習について」－

令和5年3月



# 目次

|   |        |
|---|--------|
| <u>I 調査概要</u> .....                                   | - 3 -  |
| <u>1 調査の目的</u> .....                                  | - 3 -  |
| <u>2 調査のテーマ</u> .....                                 | - 3 -  |
| <u>3 調査の設計</u> .....                                  | - 3 -  |
| <u>4 調査機関</u> .....                                   | - 3 -  |
| <u>5 報告書の表記について</u> .....                             | - 3 -  |
| <u>II 回答者の属性</u> .....                                | - 4 -  |
| <u>(1) 性別</u> .....                                   | - 4 -  |
| <u>(2) 年齢層</u> .....                                  | - 4 -  |
| <u>(3) 居住地域（7区分）</u> .....                            | - 5 -  |
| <u>(4) 居住地域（28区分）</u> .....                           | - 6 -  |
| <u>(5) 職業</u> .....                                   | - 7 -  |
| <u>(6) 居住地域別（7区分）×性別・年代別</u> .....                    | - 7 -  |
| <u>III 調査結果の詳細</u> .....                              | - 8 -  |
| <u>1 心のバリアフリーについて</u> .....                           | - 8 -  |
| <u>(1) 心のバリアフリーの認知度について</u> .....                     | - 8 -  |
| <u>(2) ヘルプマーク・ヘルプカードの認知度について</u> .....                | - 10 - |
| <u>(3) 障害のある方や高齢者が困っている場面を見かけたことがあるかについて</u> .....    | - 14 - |
| <u>(4) 障害のある方や高齢者が手助けされている場面を見たことがあるかについて</u> .....   | - 16 - |
| <u>(5) 障害のある方や高齢者が困っているときに、声を掛けて手助けをしているかについて</u> ... | - 18 - |
| <u>(6) 具体的な手助けの方法について</u> .....                       | - 20 - |
| <u>(7) 手助けをしない理由について</u> .....                        | - 21 - |
| <u>(8) 「心のバリアフリー」を実現していくために必要なことについて</u> .....        | - 22 - |
| <u>(9) 「心のバリアフリー」の普及啓発を進めるために必要なことについて</u> .....      | - 23 - |
| <u>(10) 最近1年間で実践したことについて</u> .....                    | - 24 - |
| <u>(11) 心のバリアフリーについてのご意見</u> .....                    | - 25 - |
| <u>2 シェアサイクルについて</u> .....                            | - 26 - |
| <u>(12) よく利用する交通手段について</u> .....                      | - 26 - |
| <u>(13) 区内を移動するときに不便な点について</u> .....                  | - 27 - |
| <u>(14) 区内でのシェアサイクル実施について</u> .....                   | - 28 - |
| <u>(15) シェアサイクル実施を知った方法について</u> .....                 | - 30 - |
| <u>(16) シェアサイクルの利用経験について</u> .....                    | - 32 - |
| <u>(17) シェアサイクルを利用した理由について</u> .....                  | - 34 - |
| <u>(18) シェアサイクルを利用しない理由について</u> .....                 | - 35 - |

|   |        |
|---|--------|
| <u>(19) 今後の利用について</u> .....                   | - 36 - |
| <u>(20) サイクルポートの設置場所について</u> .....            | - 38 - |
| <u>(21) 電動キックボードの利用について</u> .....             | - 39 - |
| <u>(22) シェアサイクルについてのご意見</u> .....             | - 41 - |
| <b>3 区民と区長との意見交換会について</b> .....               | - 42 - |
| <u>(23) 区民と区長との意見交換会の認知度について</u> .....        | - 42 - |
| <u>(24) 区民と区長との意見交換会への参加意欲について</u> .....      | - 44 - |
| <u>(25) 区民と区長との意見交換会に参加したくない理由について</u> .....  | - 46 - |
| <u>(26) 区民と区長との意見交換会に参加しやすい時間帯について</u> .....  | - 48 - |
| <u>(27) 区民と区長との意見交換会の開催時間について</u> .....       | - 51 - |
| <u>(28) 区民と区長との意見交換会の開催内容について</u> .....       | - 53 - |
| <u>(29) 区民と区長との意見交換会の開催方法について</u> .....       | - 55 - |
| <u>(30) 区民と区長との意見交換会の開催場所について</u> .....       | - 57 - |
| <u>(31) さらに力を入れて取り組んでほしい広聴活動について</u> .....    | - 59 - |
| <u>(32) 区民の意見が反映されているかについて</u> .....          | - 60 - |
| <u>(33) 区民と区長との意見交換会に関するご提案や改善点</u> .....     | - 63 - |
| <b>4-1 生涯学習について</b> .....                     | - 64 - |
| <u>(34) 生涯学習の場への参加について</u> .....              | - 64 - |
| <u>(35) 自宅での学習場所や形態について</u> .....             | - 66 - |
| <u>(36) 自宅以外での学習場所や形態について</u> .....           | - 67 - |
| <u>(37) インターネットを活用した講座の受講について</u> .....       | - 68 - |
| <u>(38) インターネットを活用した講座の配信方法について</u> .....     | - 70 - |
| <u>(39) 学習した知識の活用意欲について</u> .....             | - 71 - |
| <u>(40) 学習した知識の活用方法について</u> .....             | - 73 - |
| <b>4-2 葛飾区郷土と天文の博物館について</b> .....             | - 74 - |
| <u>(41) 「郷土と天文の博物館」の利用について</u> .....          | - 74 - |
| <u>(42) 利用しない理由について</u> .....                 | - 76 - |
| <u>(43) 興味のあるテーマについて</u> .....                | - 77 - |
| <u>(44) 講座や体験事業へ期待することについて</u> .....          | - 78 - |
| <b>4-3 葛飾区の文化財について</b> .....                  | - 79 - |
| <u>(45) 区内の文化財の認知度について</u> .....              | - 79 - |
| <u>(46) 区内の文化財をより知ってもらうために必要な取組について</u> ..... | - 81 - |
| <u>(47) 文化的資源の保存・活用のために有効な方法について</u> .....    | - 82 - |

# I 調査概要

## 1 調査の目的

区が実施している施策や区が発信している情報等について、公募で募った「区民モニター」から、適時かつ具体的なご意見を収集することにより、区政への活用を図るもの。

## 2 調査のテーマ

- (1) 「心のバリアフリーについて」
- (2) 「シェアサイクルについて」
- (3) 「区民と区長との意見交換会について」
- (4) 「生涯学習について」

## 3 調査の設計

- (1) 調査対象 区民モニター200名
- (2) 調査方法 郵送での調査の配付・回収（インターネット回答併用）
- (3) 調査期間 令和4年12月1日（木）～12月21日（水）
- (4) 有効回答数 179名（郵送回答：97名、インターネット回答：82名）

## 4 調査機関

株式会社ケー・デー・シー

## 5 報告書の表記について

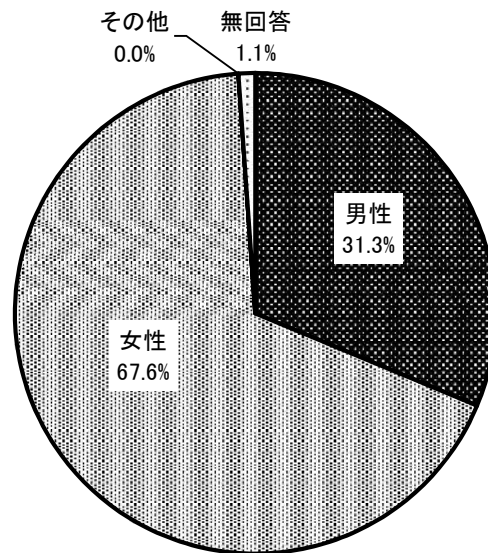
- (1) 比率は全て百分率で表記し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。そのため、四捨五入によって生じる誤差により、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (2) “n”は各設問の回答数を示している。比率はnを母数として、算出している。
- (3) 複数回答の設問では、1人の回答数が複数の回答を選択可能なため、各選択肢における回答数の合計が100%を超過している。
- (4) 年齢層・年代別の20歳代には、18歳・19歳を含んでいる。

※この報告書は、区公式ホームページ（<http://www.city.katsushika.lg.jp/>）に掲載している。（トップページ>区政情報>統計・調査>調査）



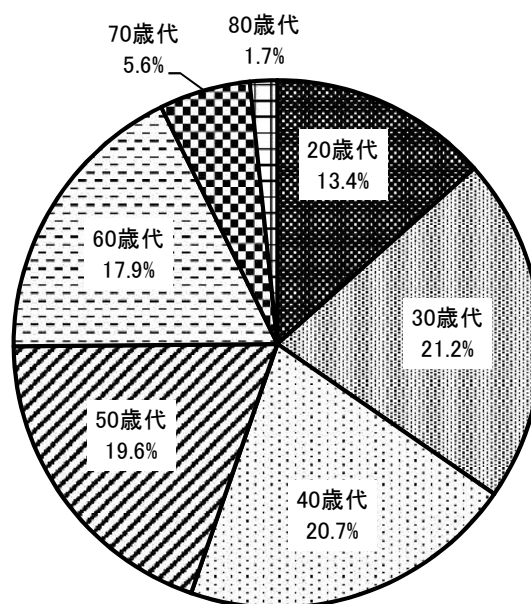
## II 回答者の属性

### (1) 性別



n=179

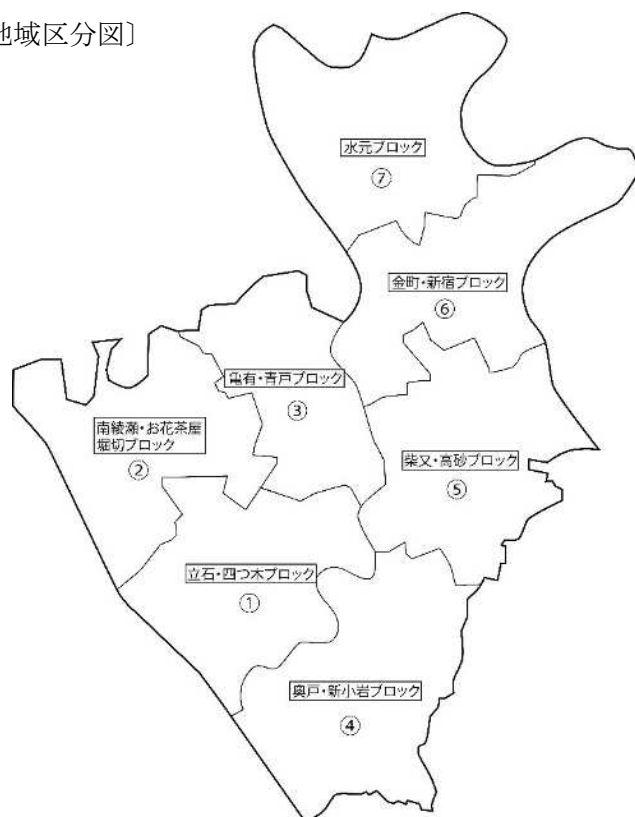
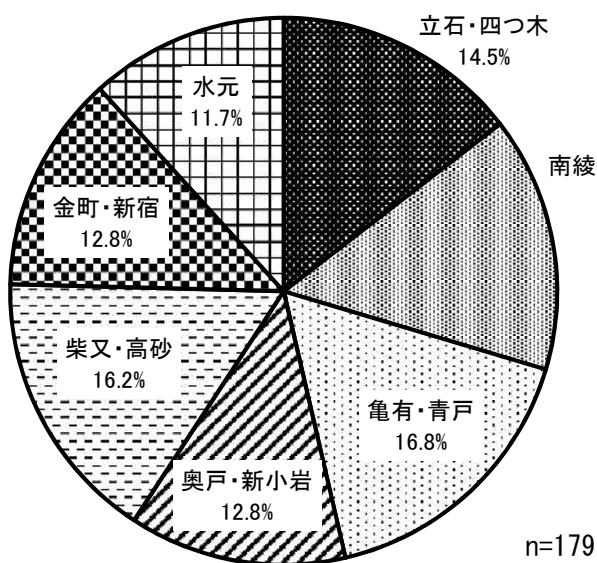
### (2) 年齢層



n=179

(3) 居住地域 (7 区分)

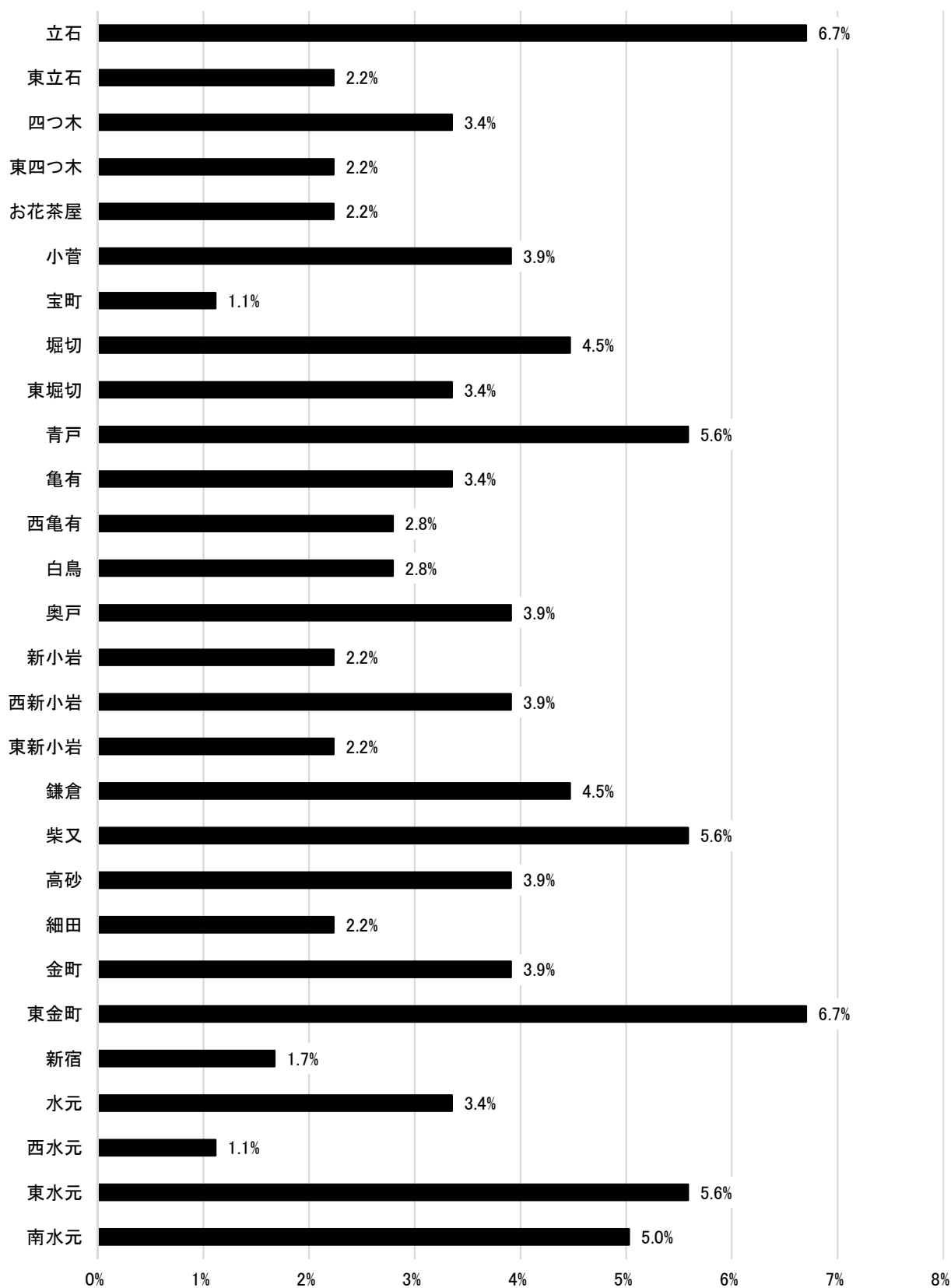
[居住地域区分図]



[居住地域区分表]

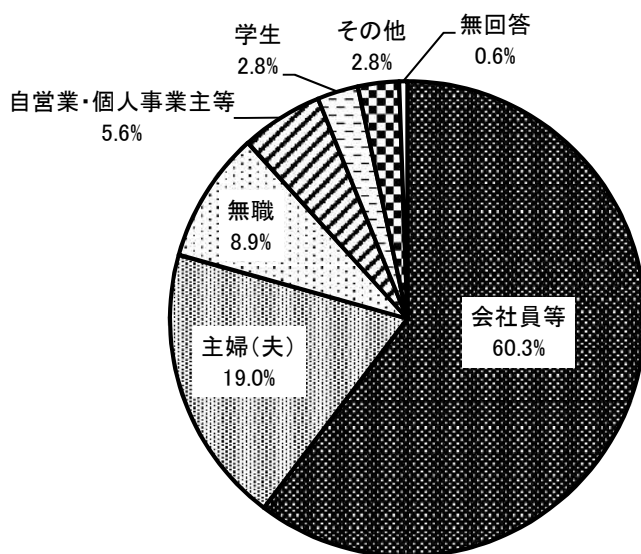
|   | ブロック名           | 町名                |
|---|-----------------|-------------------|
| 1 | 立石・四つ木ブロック      | 立石・東立石・四つ木・東四つ木   |
| 2 | 南綾瀬・お花茶屋・堀切ブロック | お花茶屋・小菅・宝町・堀切・東堀切 |
| 3 | 亀有・青戸ブロック       | 青戸・亀有・西亀有・白鳥      |
| 4 | 奥戸・新小岩ブロック      | 奥戸・新小岩・西新小岩・東新小岩  |
| 5 | 柴又・高砂ブロック       | 鎌倉・柴又・高砂・細田       |
| 6 | 金町・新宿ブロック       | 金町・東金町・新宿         |
| 7 | 水元ブロック          | 水元・西水元・東水元・南水元    |

(4) 居住地域 (28区分)



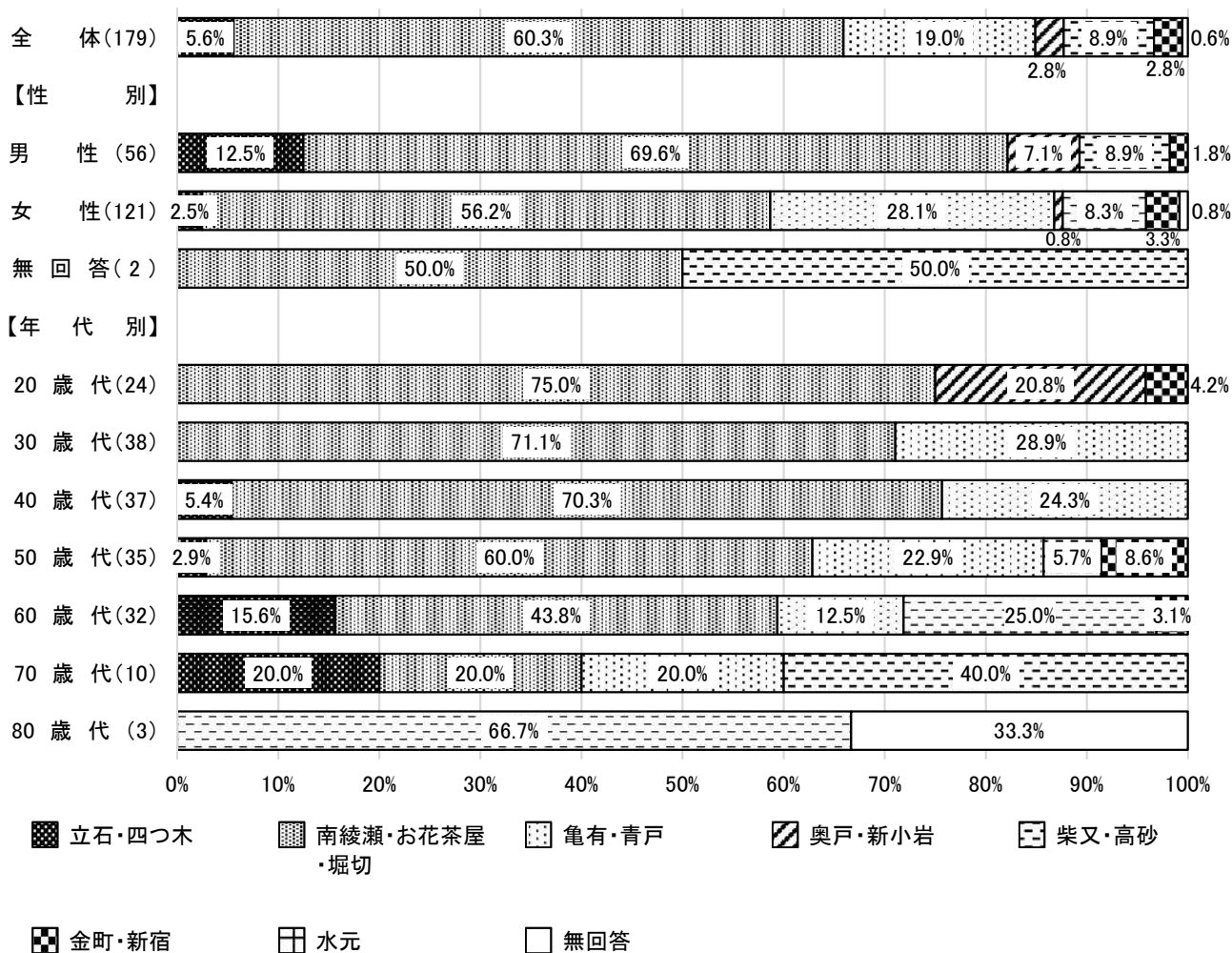
n=179

(5) 職業



n=179

(6) 居住地域別 (7区分) × 性別・年代別



n=179

### Ⅲ 調査結果の詳細

#### 1 心のバリアフリーについて

葛飾区では、「葛飾区交通バリアフリー基本構想（平成18年5月策定）」等に基づき、金町駅、京成立石駅、新小岩駅の3駅を中心とした駅圏を重点整備地区に位置づけ、公共交通事業者、道路管理者、公安委員会などの関係事業者と連携し、駅や駅までの道路などのバリアフリー化を重点的かつ一体的に進めてきました。

一方、平成30年に「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）」が改正され、区市町村が「移動等円滑化促進方針（マスタープラン）」を定めることができる制度が創設されました。移動等円滑化促進方針とは、駅を中心とした地区や、高齢者・障害者等が利用する施設が集まっている地区において、区市町村が面的・一体的なバリアフリー化の方針を示すものです。

これを受けて葛飾区では、区内のバリアフリーに関する取組を一層促進させるため、「葛飾区移動等円滑化促進方針（仮称）」の策定に向けた検討に着手しました。

この区民モニター調査は、「葛飾区移動等円滑化促進方針（仮称）」の策定にあたって、介助する側の心のバリアフリーにおける現状や課題を把握するため実施するものです。

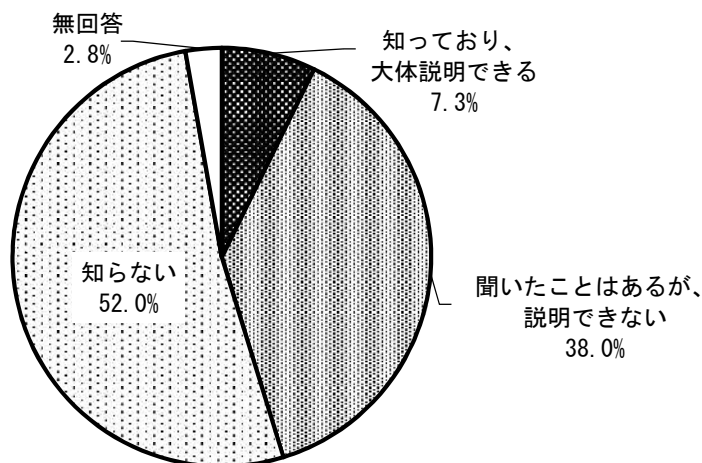
※心のバリアフリー：様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うこと。

##### （1）心のバリアフリーの認知度について

問1 「心のバリアフリー」を知っていますか？（○は1つ）

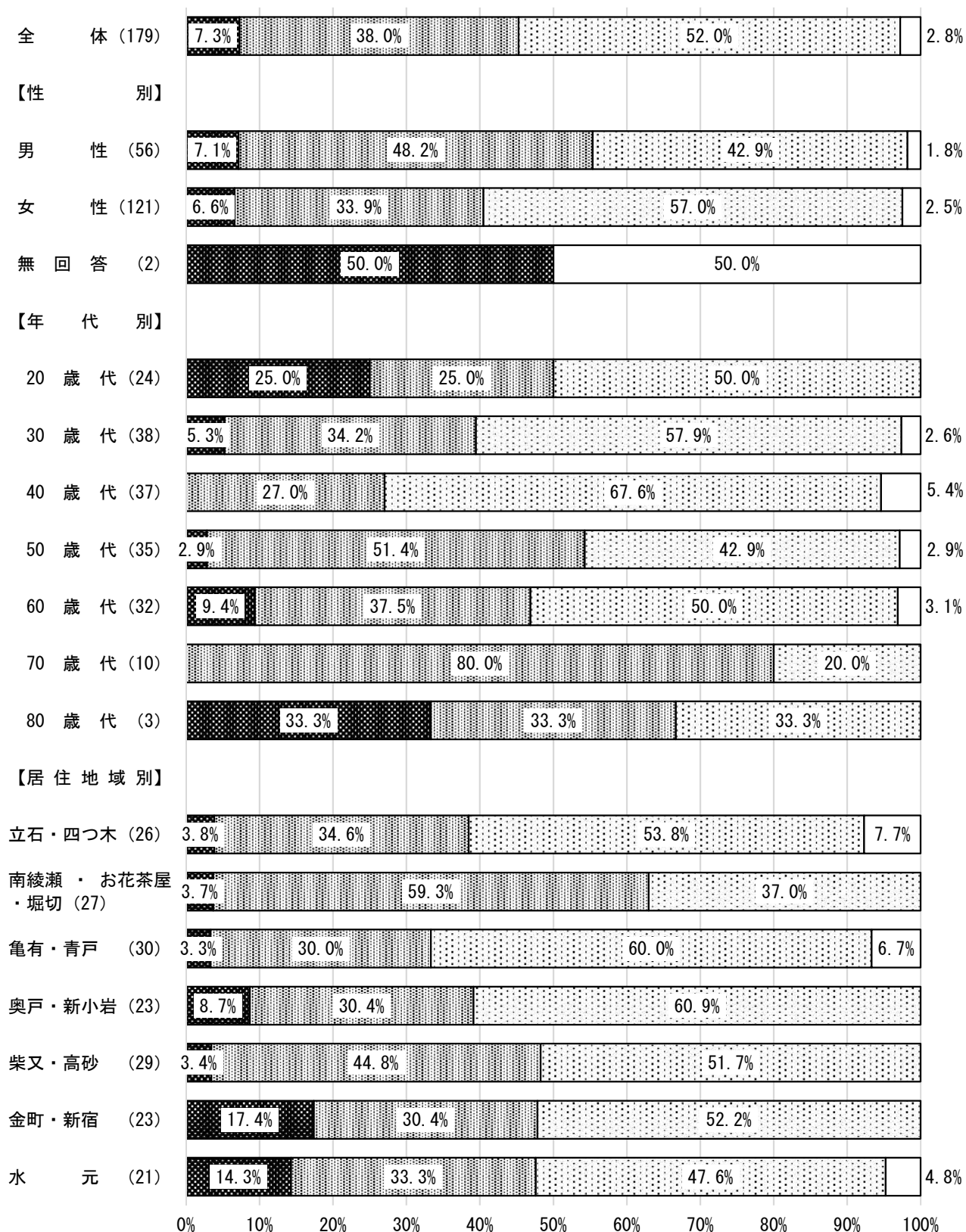
「心のバリアフリー」という言葉を知っているかについて、「知らない」と答えた方が52.0%で最も高くなっている。

年代別で見ると、「聞いたことはあるが、説明できない」が最も高くなったのは50歳代の51.4%と70歳代の80.0%となっており、「知らない」が最も高くなったのは20歳代の50.0%、30歳代の57.9%、40歳代の67.6%、60歳代の50.0%であった。また、80歳代では「知っており、大体説明できる」と「聞いたことはあるが、説明できない」「知らない」がそれぞれ33.3%となっている。



n=179

問1 「心のバリアフリー」を知っていますか？  
 (全体・性別・年代別・居住地域別)



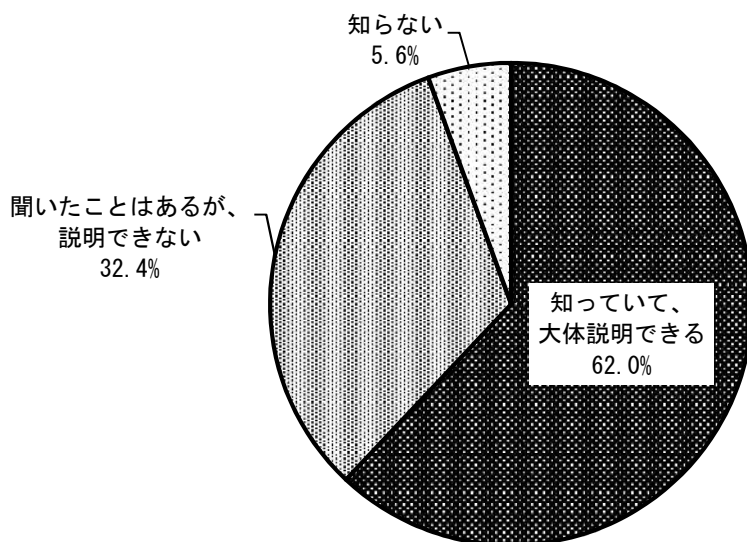
知っている、大体説明できる
  聞いたことはあるが、説明できない
  知らない
  無回答
 n=179

(2) ヘルプマーク・ヘルプカードの認知度について

問2-1 ヘルプマークを知っていますか？（○は1つ）

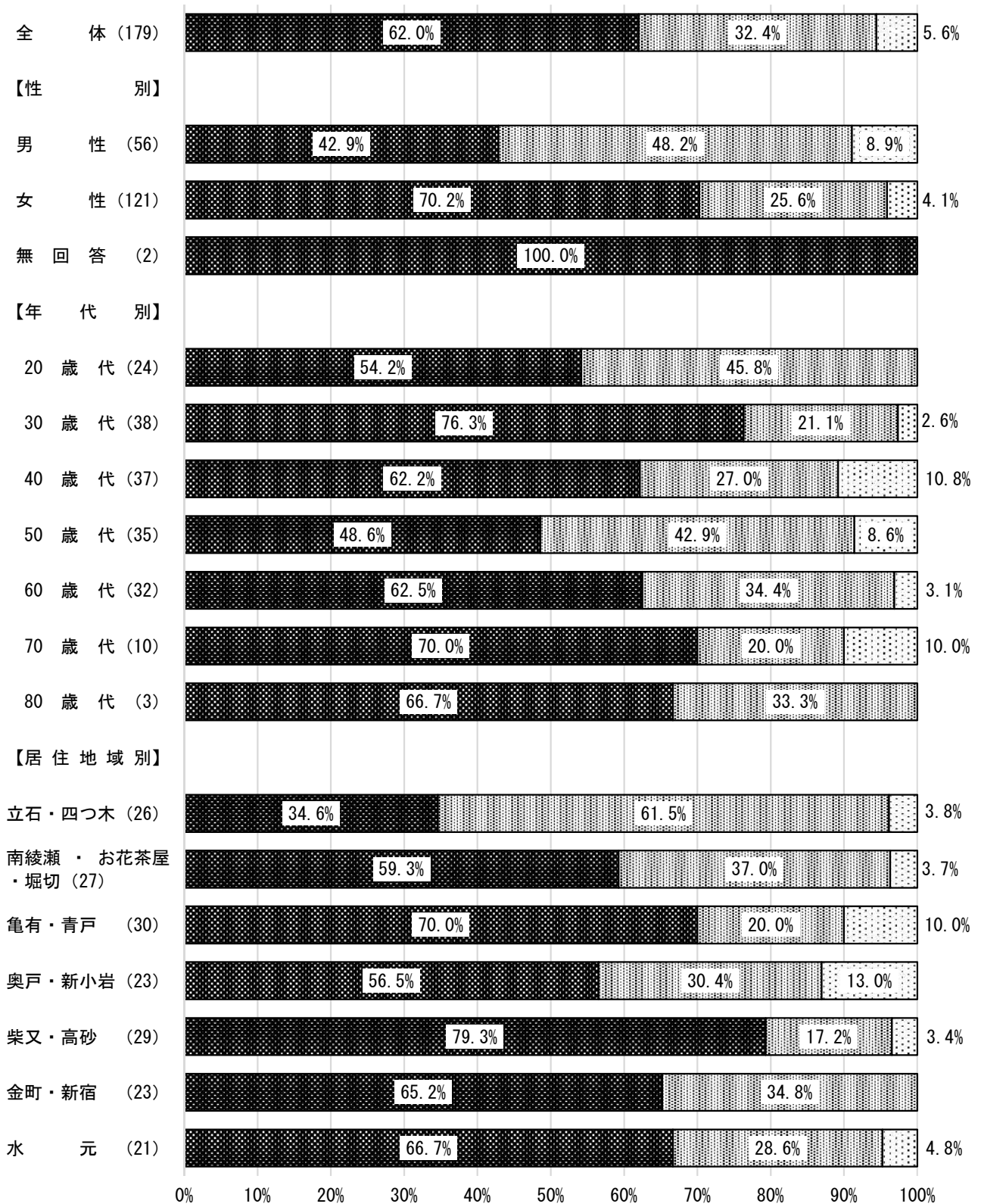
※ヘルプマークは、外見からは分かりにくくても援助や配慮が必要な人がそのことを知らせることができるマークです。

ヘルプマークについて、「知っていて、大体説明できる」と答えた方が62.0%で最も高くなっている。年代別でみると、全ての年代で「知っていて、大体説明できる」の割合が最も高くなっている。



n=179

問2-1 ヘルプマークを知っていますか？  
 (全体・性別・年代別・居住地域別)



知っている、大体説明できる
  聞いたことはあるが、説明できない
  知らない
  無回答

n=179

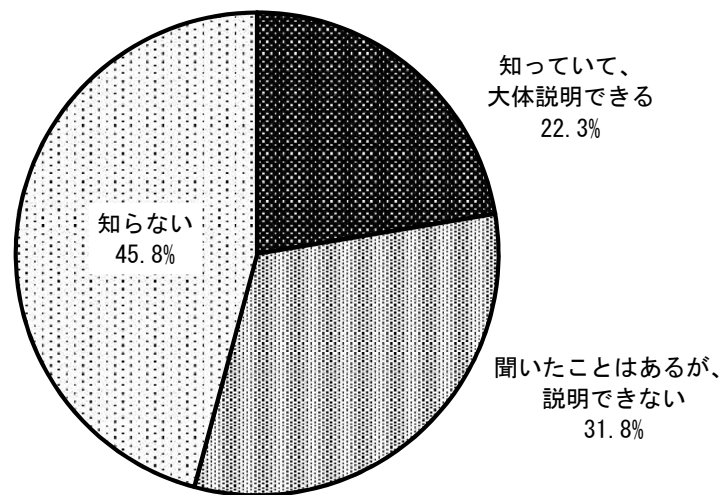


問2-2 ヘルプカードを知っていますか？（○は1つ）

※ヘルプカードは、緊急連絡先や必要な支援内容などを記載することができます。

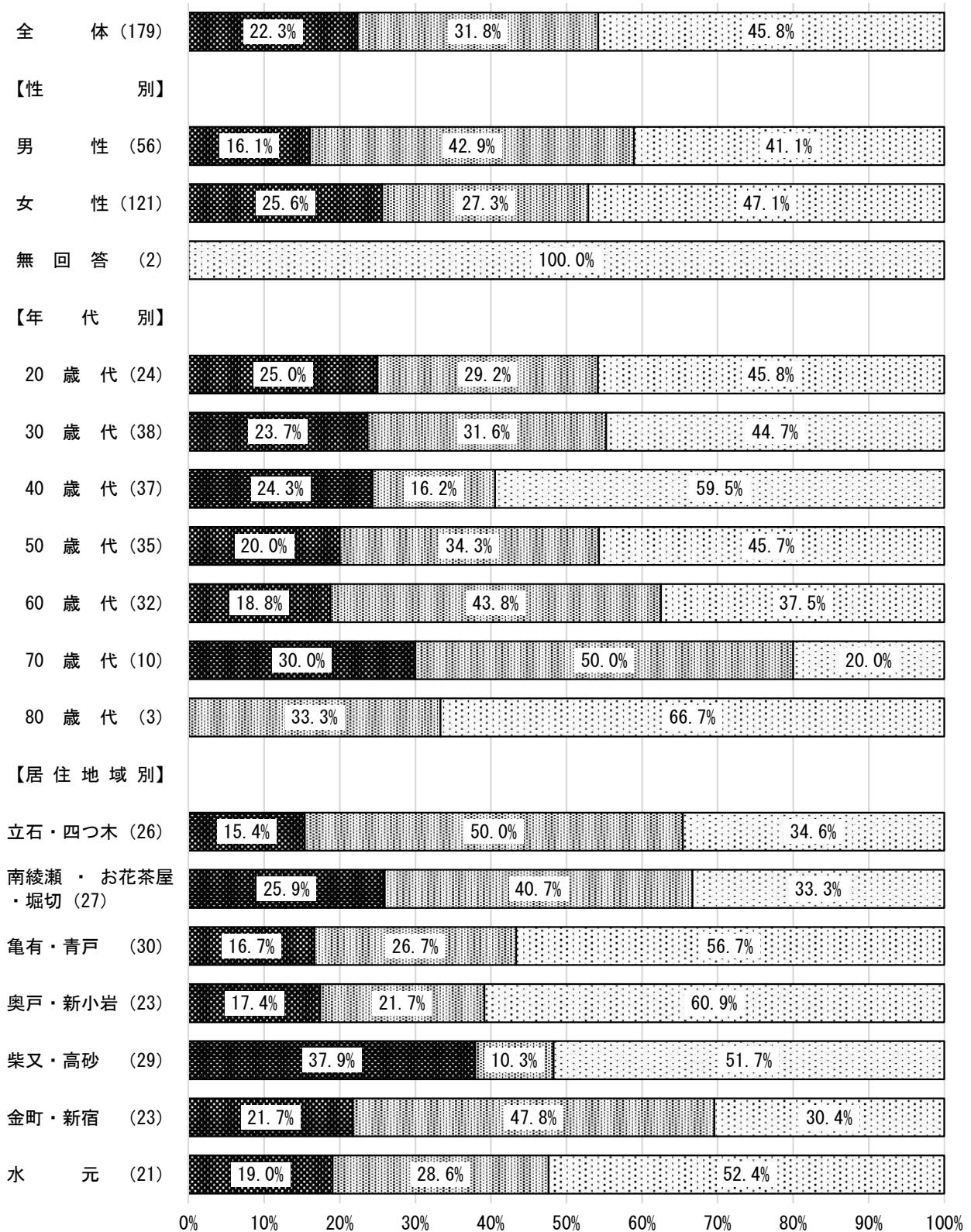
ヘルプカードについて、「知らない」と答えた方が45.8%で最も高くなっている。

年代別で見ると、「聞いたことはあるが、説明できない」が最も高くなったのは60歳代の43.8%と70歳代の50.0%となっており、「知らない」が最も高くなったのは20歳代の45.8%、30歳代の44.7%、40歳代の59.5%、50歳代の45.7%、80歳代の66.7%となっている。



n=179

問2-2 ヘルプカードを知っていますか？  
 (全体・性別・年代別・居住地域別)



知っている、大体説明できる
  聞いたことはあるが、説明できない
  知らない
  無回答

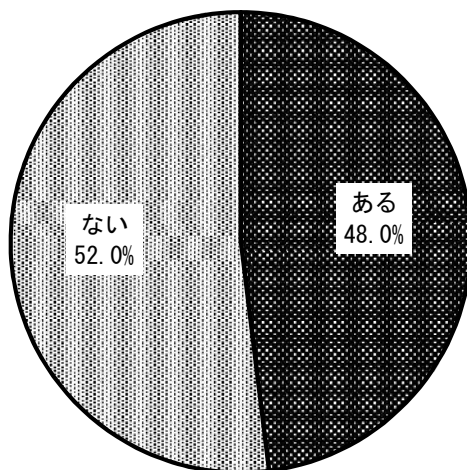
n=179

(3) 障害のある方や高齢者が困っている場面を見かけたことがあるかについて

問3 あなたは最近1年間で、区内に外出の際、障害のある方や高齢者が困っている場面を見かけたことがありますか？（○は1つ）

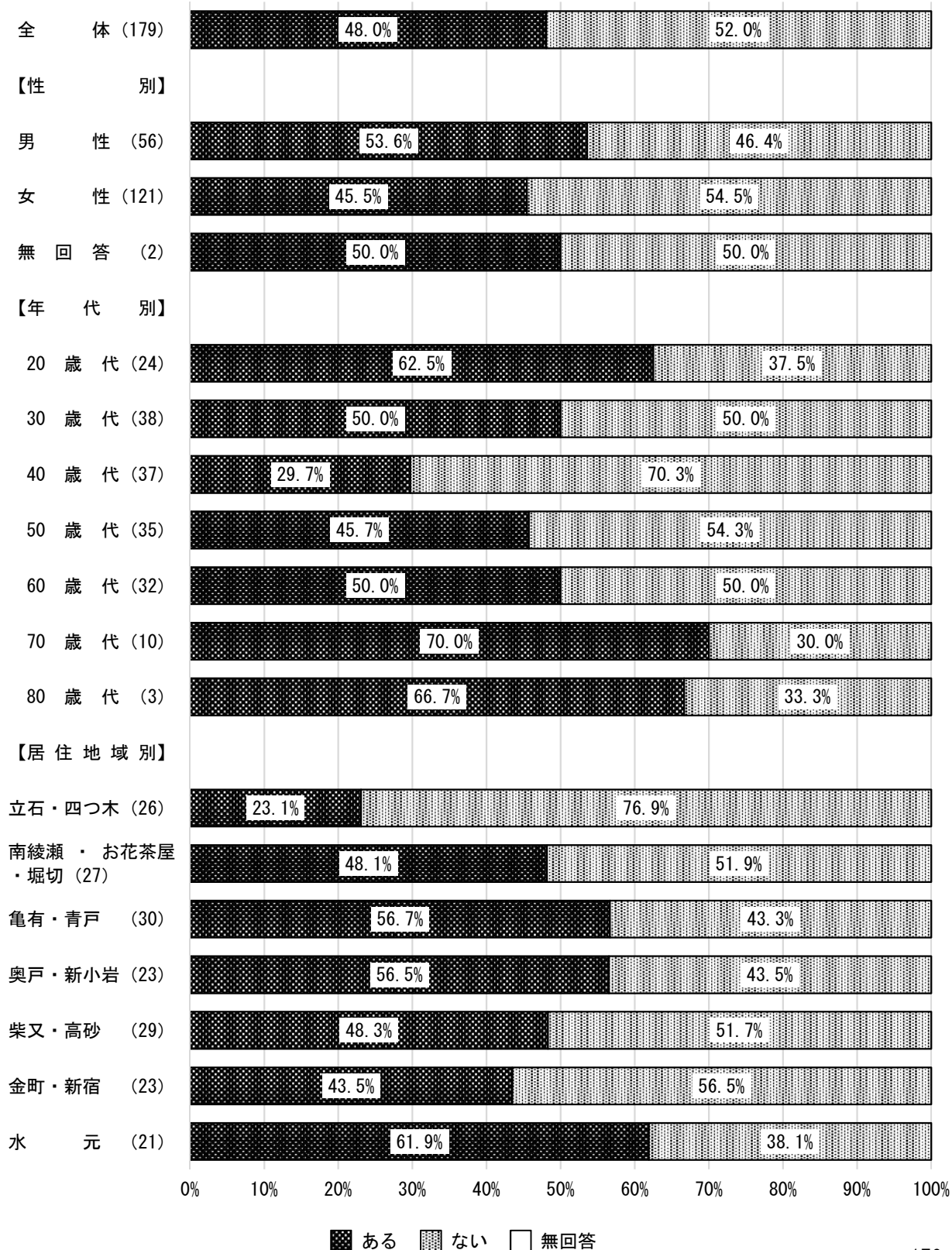
区内に外出の際、障害のある方や高齢者が困っている場面を見かけたことがあるかについて、52.0%が「ない」と答えた。

年代別で見ると、「ある」と答えた方は70歳代が70.0%と最も高く、次いで80歳代が66.7%、20歳代が62.5%と続いている。一方で「ない」と答えた方は、40歳代が70.3%と最も高く、次いで50歳代が54.3%となっている。なお30歳代と60歳代では「ある」と「ない」がともに50.0%となっている。



n=179

問3 最近1年間で、区内に外出の際、障害のある方や高齢者が困っている場面を見かけたことがありますか？  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



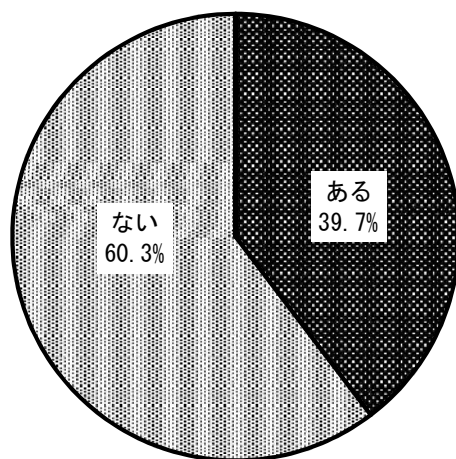
n=179

(4) 障害のある方や高齢者が手助けされている場面を見たことがあるかについて

問4 あなたは最近1年間で、区内に外出の際、困っている障害のある方や高齢者が声をかけられて、手助けされるのを見たことがありますか？(○は1つ)

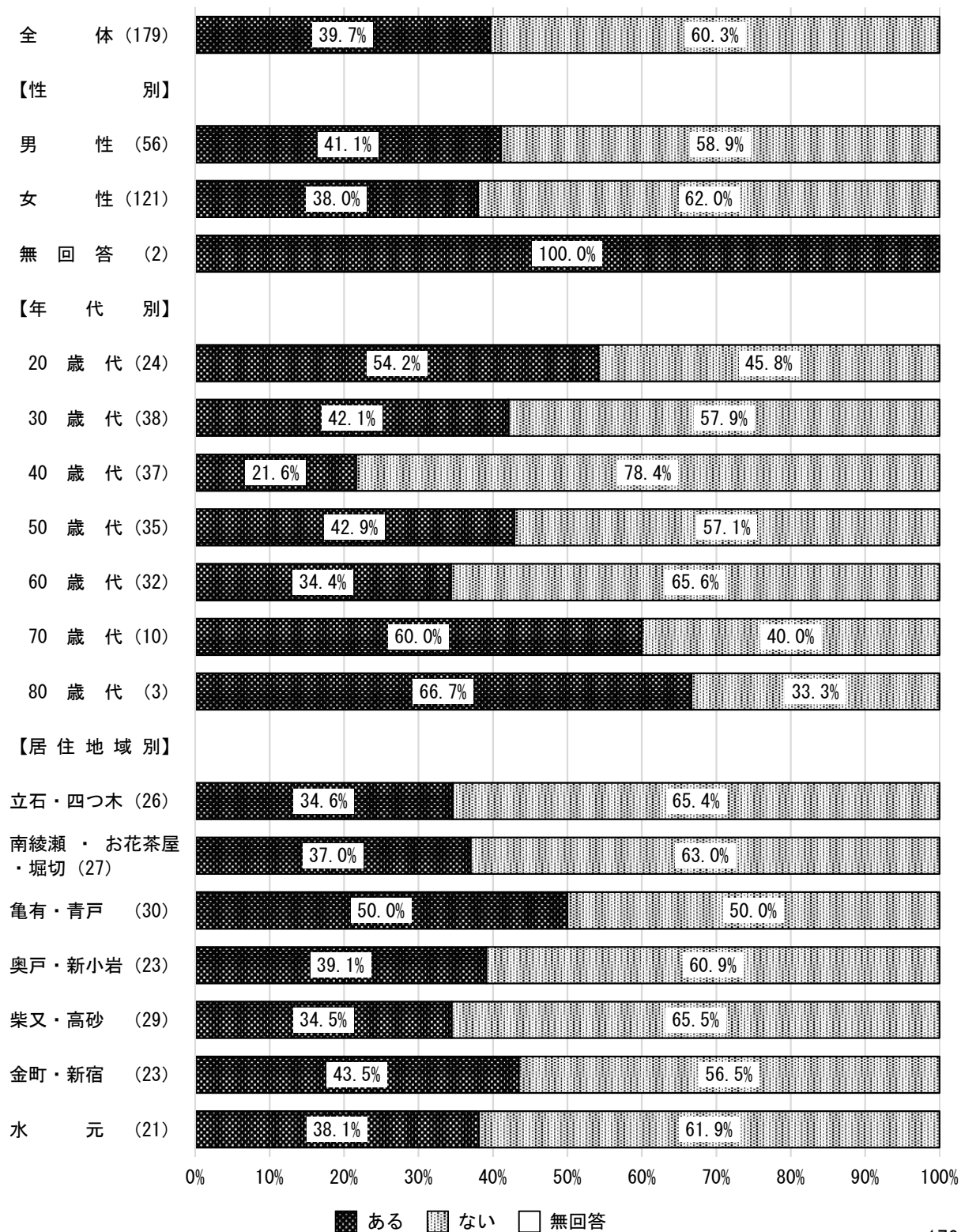
区内に外出の際に困っている障害のある方や高齢者が声をかけられて、手助けされるのを見たことがあるかについて、60.3%が「ない」と答えた。

年代別で見ると、「ある」と答えた方は、80歳代が66.7%と最も高く、次いで70歳代が60.0%、20歳代が54.2%と続いている。一方で「ない」と答えた方は、40歳代が78.4%と最も高く、次いで60歳代が65.6%、30歳代が57.9%と続いている。



n=179

問4 最近1年間で、区内に外出の際、困っている障害のある方や高齢者が声をかけられて、手助けされるのを見たことがありますか？  
 (全体・性別・年代別・居住地域別)



n=179

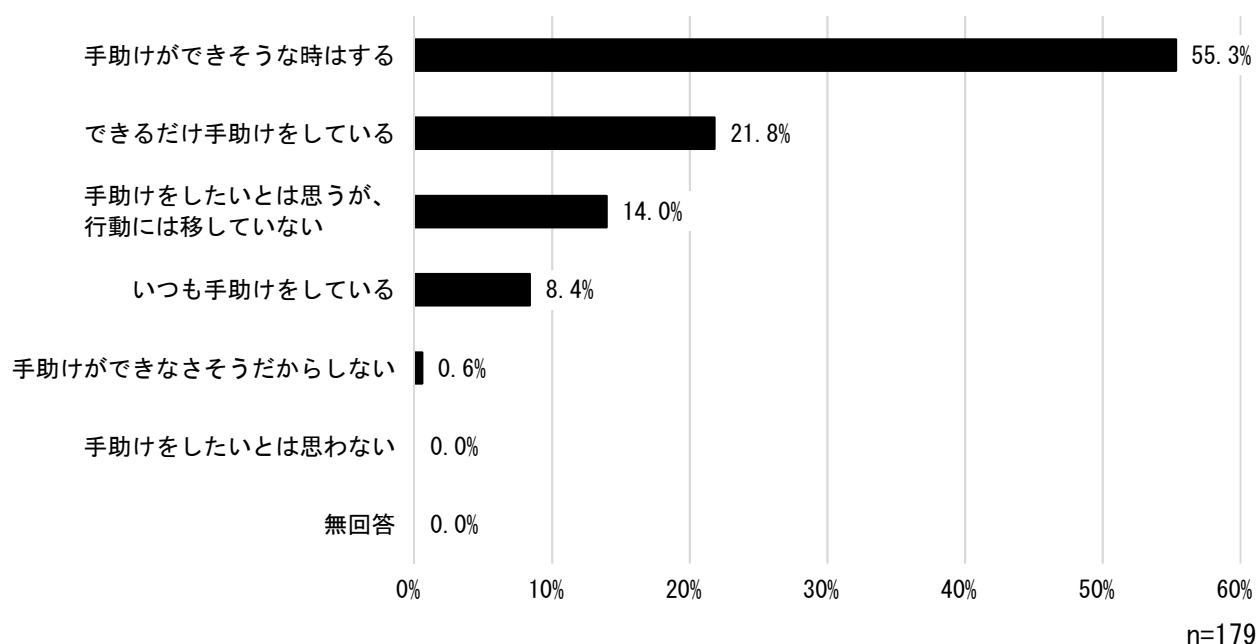
(5) 障害のある方や高齢者が困っているときに、声を掛けて手助けをしているかについて

問5 あなたは、区内に外出の際、障害のある方や高齢者が困っている場面を見かけたときに、声を掛けて手助けをしていますか？（○は1つ）

区内に外出の際、障害のある方や高齢者が困っている場面を見かけたときに、声を掛けて手助けをしているかについて、「手助けができそうな時はする」の回答が55.3%で最も高くなっている。

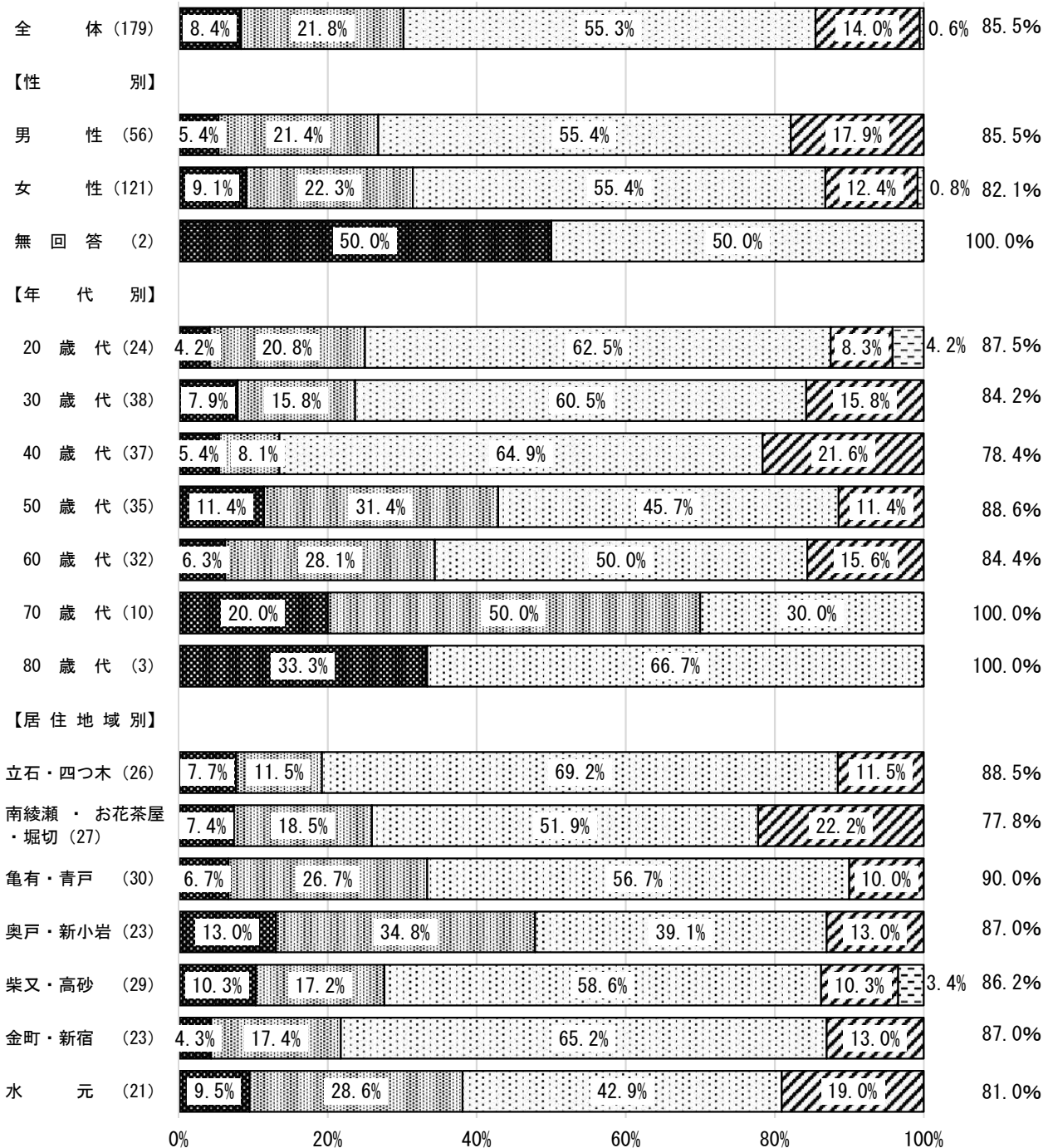
年代別にみると、「できるだけ手助けをしている」が最も高くなったのは70歳代の50.0%となっており、「手助けができそうな時はする」が最も高くなったのは20歳代で62.5%、30歳代で60.5%、40歳代で64.9%、50歳代で45.7%、60歳代で50.0%、80歳代で66.7%となっている。

なお、「いつも手助けをしている」、「できるだけ手助けをしている」、「手助けができる時はする」を合わせた「手助けをしている」の合計は85.5%となっている。



問5 区内に外出の際、障害のある方や高齢者が困っている  
場面を見かけたときに、声を掛けて  
手助けをしていますか？  
(全体・性別・年代別・居住地域別)

手助けを  
している  
(計)



- いつも手助けをしている
- ▨ できるだけ手助けをしている
- ▤ 手助けができそうな時はする
- ▧ 手助けをしたいと思うが、行動には移していない
- ▩ 手助けができなさそうだからしない
- 手助けをしたいとは思わない
- 無回答

n=179

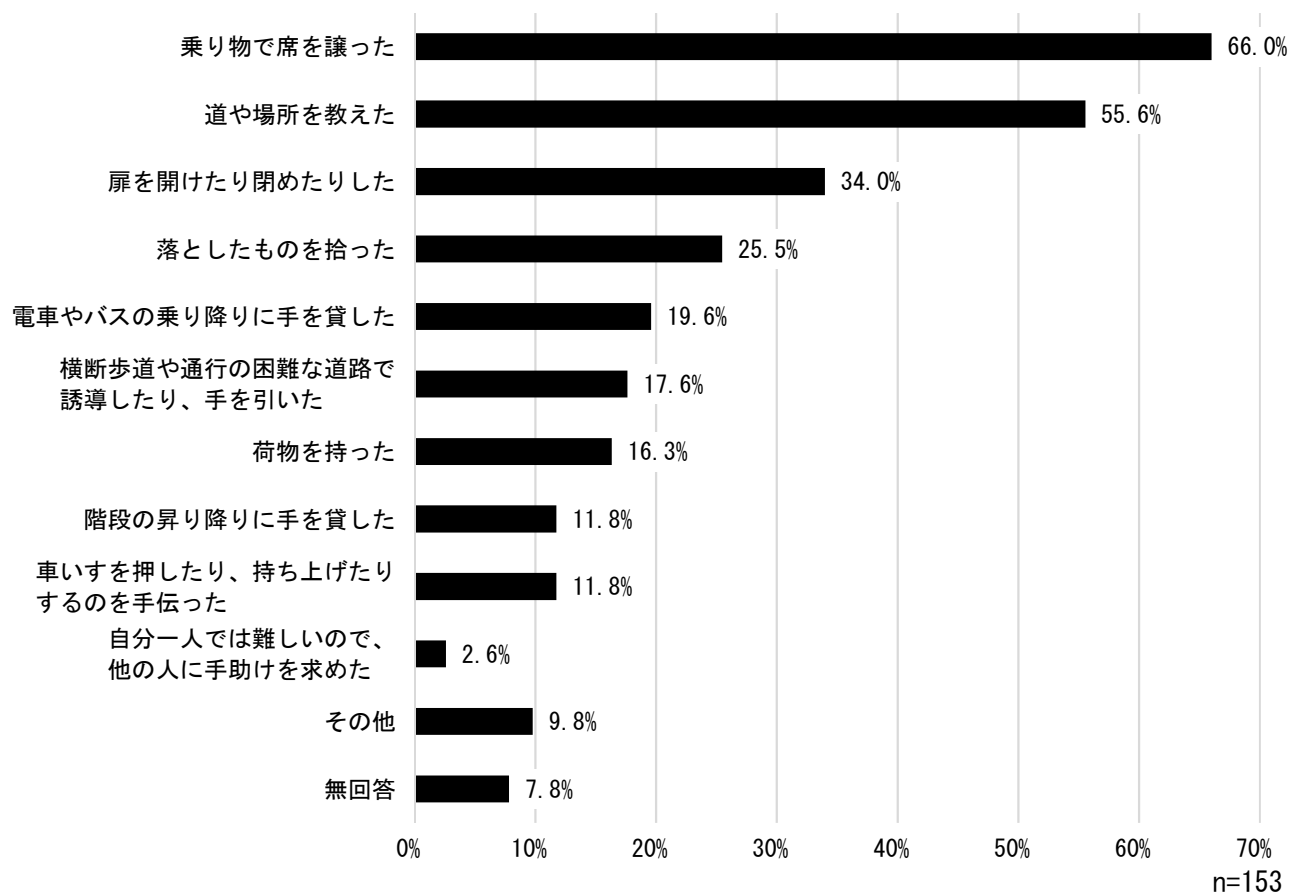


(6) 具体的な手助けの方法について

問6 問5で「1. いつも手助けをしている」「2. できるだけ手助けをしている」「3. 手助けができればいい」という方にお伺いします。  
具体的にどのような手助けをしましたか？（あてはまるものすべてに○）

具体的にどのような手助けを行ったかについて、「乗り物で席を譲った」が66.0%で最も高くなった。次いで「道や場所を教えた」が55.6%、「扉を開けたり閉めたりした」が34.0%で続いている。

「その他」の内容としては、「踏切が閉まりかけているとき、おばあさんがまだ線路にいたので、荷物を持って誘導した」、「バス停で時刻表を見て教えた」、「段差で転倒し、動けず痛みを訴えていた為、救急車を呼んだ」などがあつた。

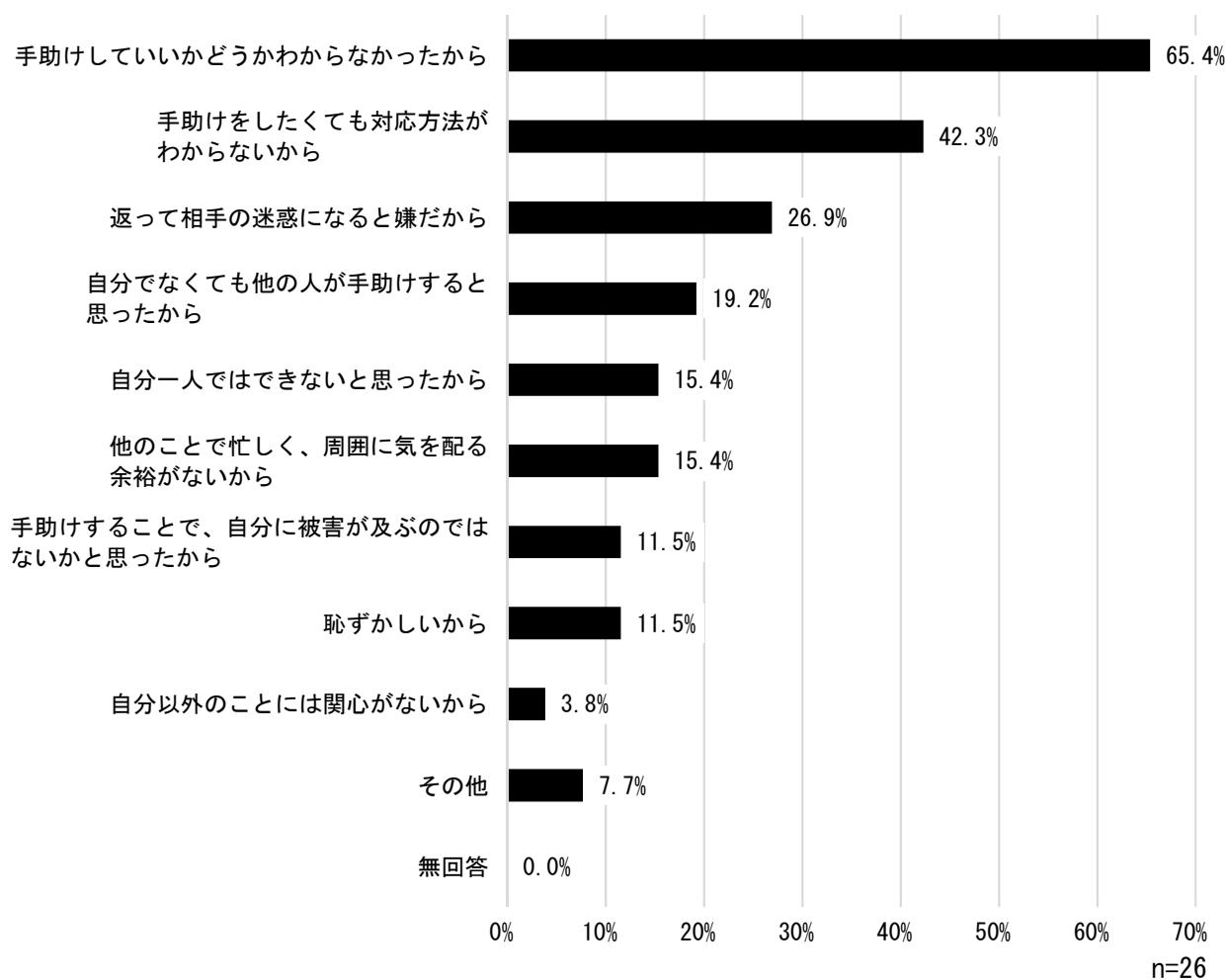


### (7) 手助けをしない理由について

問7 問5で「4. 手助けをしたいと思うが、行動には移していない」「5. 手助けができなさそうだからしない」「6. 手助けをしたいとは思わない」を選択した方にお伺いします。手助けをしない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

手助けをしなかった理由について、「手助けしていいかわからなかったから」が65.4%で最も高くなった。次いで「手助けをしたくても対応方法がわからないから」が42.3%、「返って相手の迷惑になると嫌だから」が26.9%で続いている。

「その他」の内容としては、「子どもを連れていたため」、「コロナ禍で他者との接触に不安を感じるから」があった。

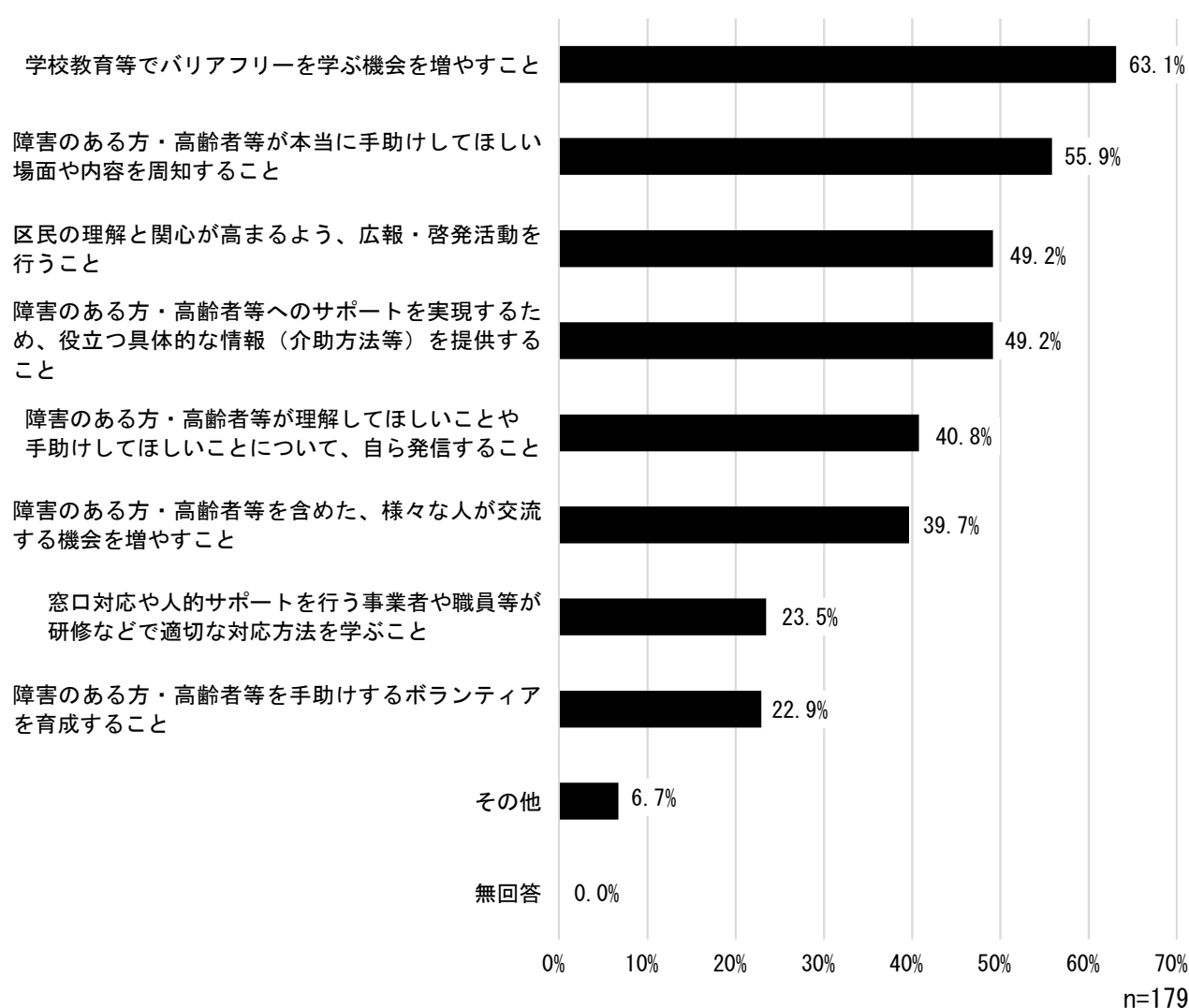


(8)「心のバリアフリー」を実現していくために必要なことについて

問8 あなたは「心のバリアフリー」を実現していくために、どのようなことが必要だと思いますか？（あてはまるものすべてに○）

「心のバリアフリー」を実現していくために必要なことについて、「学校教育等でバリアフリーを学ぶ機会を増やすこと」が63.1%で最も高くなった。次いで「障害のある方・高齢者等が本当に手助けしてほしい場面や場所を周知すること」が55.9%、「区民の理解と関心が高まるよう、広報・啓発活動を行うこと」が49.2%で続いている。

「その他」の内容としては、「他人への思いやりの心を醸成する社会と学校での道徳授業を増やす」、「障害者の声を多世代が直接聞ける機会が必要」などがあつた。

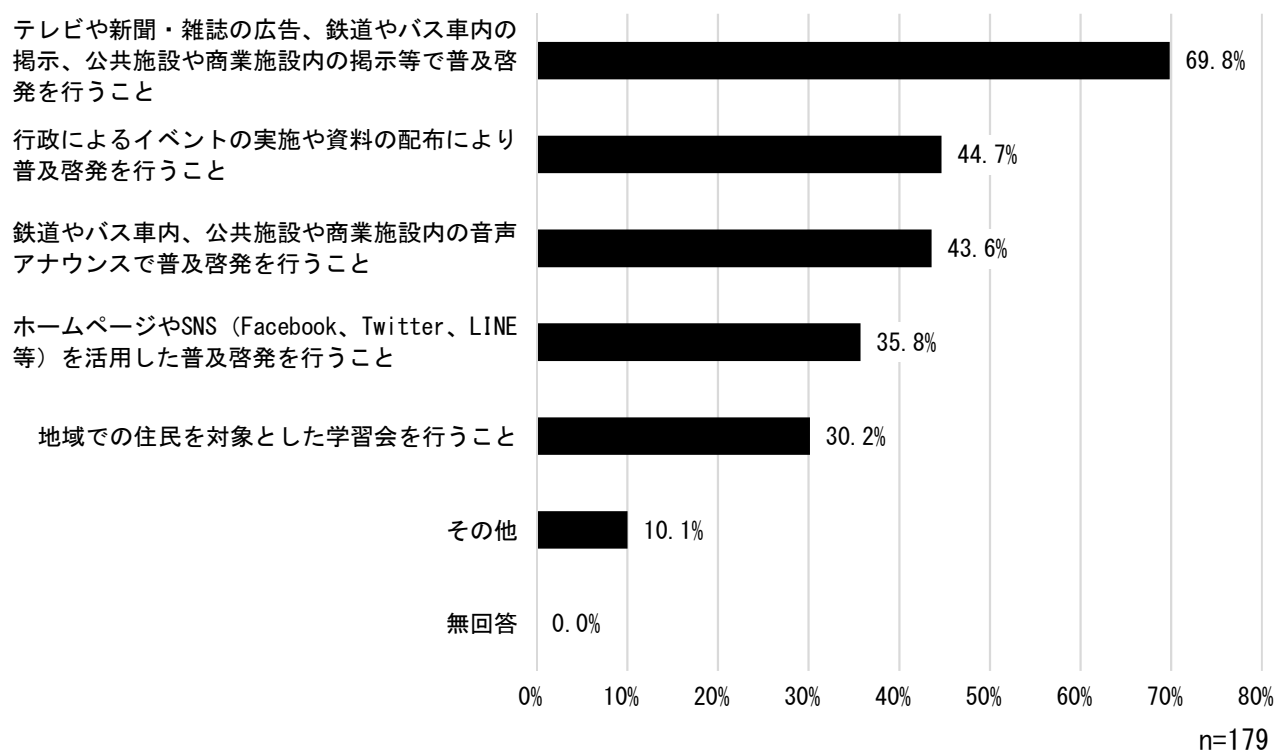


(9)「心のバリアフリー」の普及啓発を進めるために必要なことについて

問9 あなたは「心のバリアフリー」の普及啓発を進めるために、どのようなことが必要だと思いますか？（あてはまるものすべてに○）

「心のバリアフリー」の普及啓発を進めるために必要なことについて、「テレビや新聞・雑誌の広告、鉄道やバス車内の掲示、公共施設や商業施設内の掲示等で普及啓発を行うこと」が69.8%で最も高くなっている。次いで「行政によるイベントの実施や資料の配布により普及啓発を行うこと」が44.7%、「鉄道やバス車内、公共施設や商業施設内の音声アナウンスで普及啓発を行うこと」が43.6%で続いている。

「その他」の内容としては、「学校教育の中で障害のある子どもと共に学ぶことが必要」、「強制ではなく、興味をもったタイミングで学べる環境を準備しておくこと」、「学校教育の場で小さいころから知って学ばせ実践させること」などがあつた。

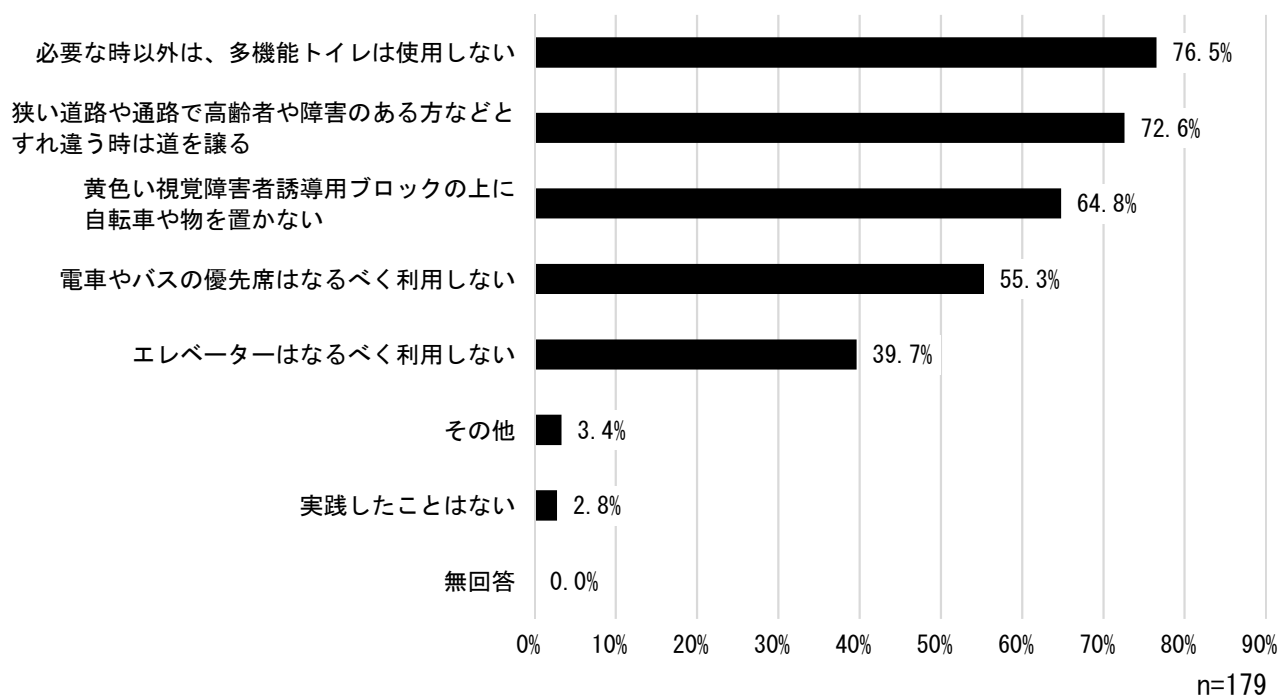


(10) 最近1年間で実践したことについて

問10 「心のバリアフリー」は自分自身の行動によって促進されることもあります。  
次のうち、最近1年間で実践したことはどれですか？（あてはまるものすべてに○）

最近1年間で実践したことについて、「必要な時以外は、多機能トイレは使用しない」が76.5%で最も高くなった。次いで「狭い道路や通路で高齢者や障害のある方などとすれ違う時は道を譲る」が72.6%、「黄色い視覚障害者誘導用ブロックの上に自転車や物を置かない」が64.8%で続いている。

「その他」の内容としては、「マイノリティが出演するリアリティ番組や映画を見る」、「自分の前後左右の人の年齢や様子を気にしておく」、「荷物を持っている方の代わりにエレベーターのボタンを押す」などがあつた。



(11) 心のバリアフリーについてのご意見

問11 心のバリアフリーについて、ご意見がありましたらご記入ください。(自由記述)

(主な回答)

<提案・要望>

- ・障害のある方に手を貸す場合、どのような配慮が必要かわからないこともあるので、接し方を知る機会があればいいと思う。(50歳代/女性)
- ・区民全員に対する啓発が必要であると思う。(60歳代/男性)
- ・その立場にならないとわからないので、具体的に困っていることが分かれば助けやすい。対応も教えてくれるとなお実践しやすい。(40歳代/女性)
- ・ヘルプマークをつけている人を見ても何をしたらよいのか、ありがた迷惑なのではないかと躊躇することがほとんどなので、もっと具体的にどのような援助を必要としているかを発信・見える化しても良いのではないかと思う。(30歳代/男性)
- ・心のバリアフリーをイメージできる短い動画を作成しても良いかと思う。(20歳代/男性)
- ・やはり当事者にならないと日常生活において、どのような助けが必要なのかどうかは実感しにくい。そこで、区のイベント等で、「高齢者体験セット」を体験出来るような機会があると良いかもしれない。(40歳代/男性)
- ・「お手伝いしましょうか？」と尋ねて「結構です」と言われてショックを受けたこともある。困っているのかどうかを発信する特別緊急カードなどがあれば急いで助けてあげられると思う。  
(60歳代/女性)
- ・駅でのアナウンスなどは、相互周知が広まると考える。(50歳代/男性)
- ・何をどのように手助けすれば良いかわからないので、具体的に事例や対応方法を教えてほしい。  
(60歳代/男性)
- ・学校教育で積極的に取り入れるべきと思う。(50歳代/女性)

<その他>

- ・言葉が分かりづらい。「心のバリアフリー」ではなく伝わりやすいものがありそう。(20歳代/女性)
- ・実際に声をかけてお手伝いをさせていただくと、どうしてよいかわからない時がある。訓練しないと上手にできないと感じている。(30歳代/女性)
- ・人の捉え方はまちまちで、良かれと思ってした事が迷惑と捉えられてしまうことが怖い。  
(20歳代/女性)
- ・困っている人を助けたいとは思いますが、今の時代、特に中年の男性に声をかけられると、不審者だと思われることがあるので、声をかけたくてもかけにくい。(40歳代/男性)
- ・互いの思いのすれ違いを無くしていくことが、難しいけど大切だと思う。(50歳代/男性)
- ・「手助けが必要」と分かりやすくなると手助けしやすくなると思う。(50歳代/女性)
- ・みんなが自然な形で、困っている人を見つけたら、お手伝いできるような雰囲気作りができるようなそんな社会になると良いと思う。(50歳代/女性)

など(全82件)

## 2 シェアサイクルについて

シェアサイクルとは、複数配置されたサイクルポートで自由に貸出・返却をすることができる自転車シェアリングシステムのことです。借りたサイクルポートとは異なるサイクルポートで返却することができます。

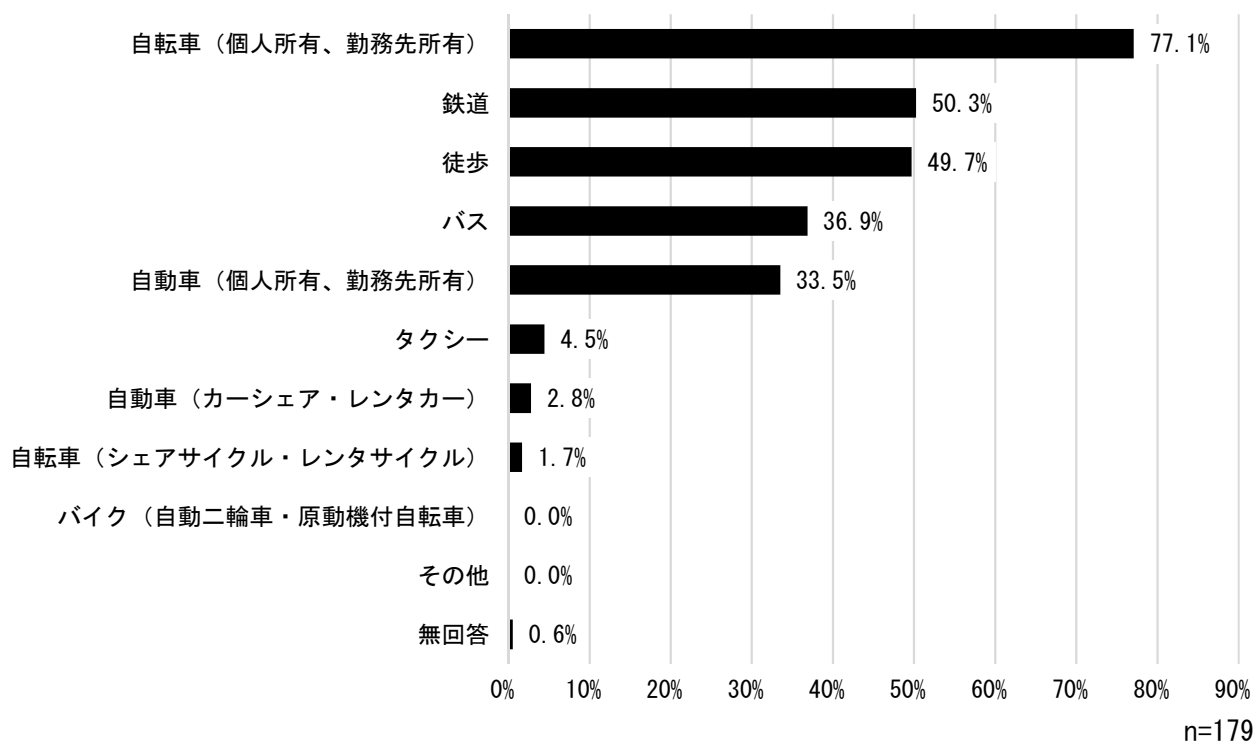
区内における移動の利便性や回遊性の向上、自家用車から自転車への交通手段の転換による環境にやさしいまちづくりに向けて、自転車をいつでも貸出・返却できるシェアサイクルをさらに普及させるため、区民モニターの皆様のご意見を伺います。

※サイクルポート：施設等に設置された、自転車の貸出・返却を行う無人の駐輪施設のこと。

### (12) よく利用する交通手段について

問12 区内を移動するとき、よく利用する交通手段は何ですか？（○は3つまで）

区内の移動でよく利用する交通手段として最も多かったものは「自転車（個人所有、勤務先所有）」で77.1%であった。次いで「鉄道」が50.3%、「徒歩」が49.7%が続いている。

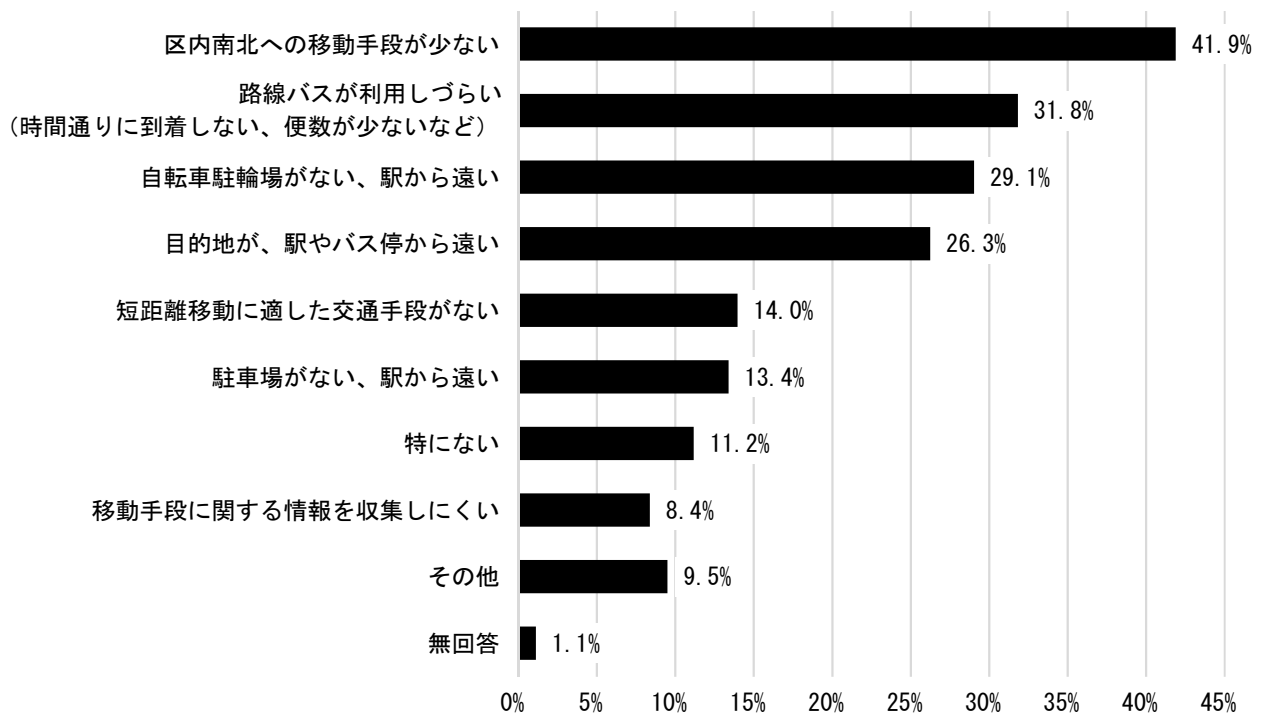


(13) 区内を移動するときの不venient点について

問13 区内を移動するとき、不便を感じているのはどのような点ですか？  
(あてはまるものすべてに○)

区内を移動するとき不便を感じている点について、「区内南北への移動手段が少ない」が41.9%で最も高くなった。次いで「路線バスが利用しづらい（時間通りに到着しない、便数が少ないなど）」が31.8%、「自転車駐輪場がない、駅から遠い」が29.1%で続いている。

「その他」の理由としては、「一方通行が多くて、目的地に到達しづらい」、「道路（車道も歩道も）が狭い」、「京成高砂駅の踏切がなかなか開かない」、「スピードが速い車が多い。歩行者等が歩いてもスピードを落とさず通過していく車もある」などがあつた。



n=179

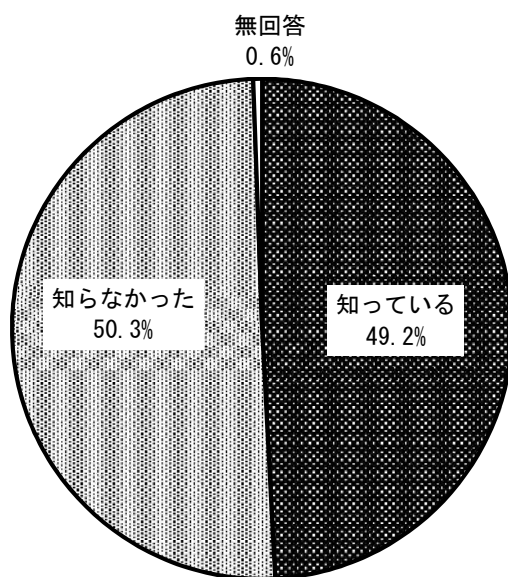


(14) 区内でのシェアサイクル実施について

問14 区内でシェアサイクルを実施していることを知っていますか？（○は1つ）

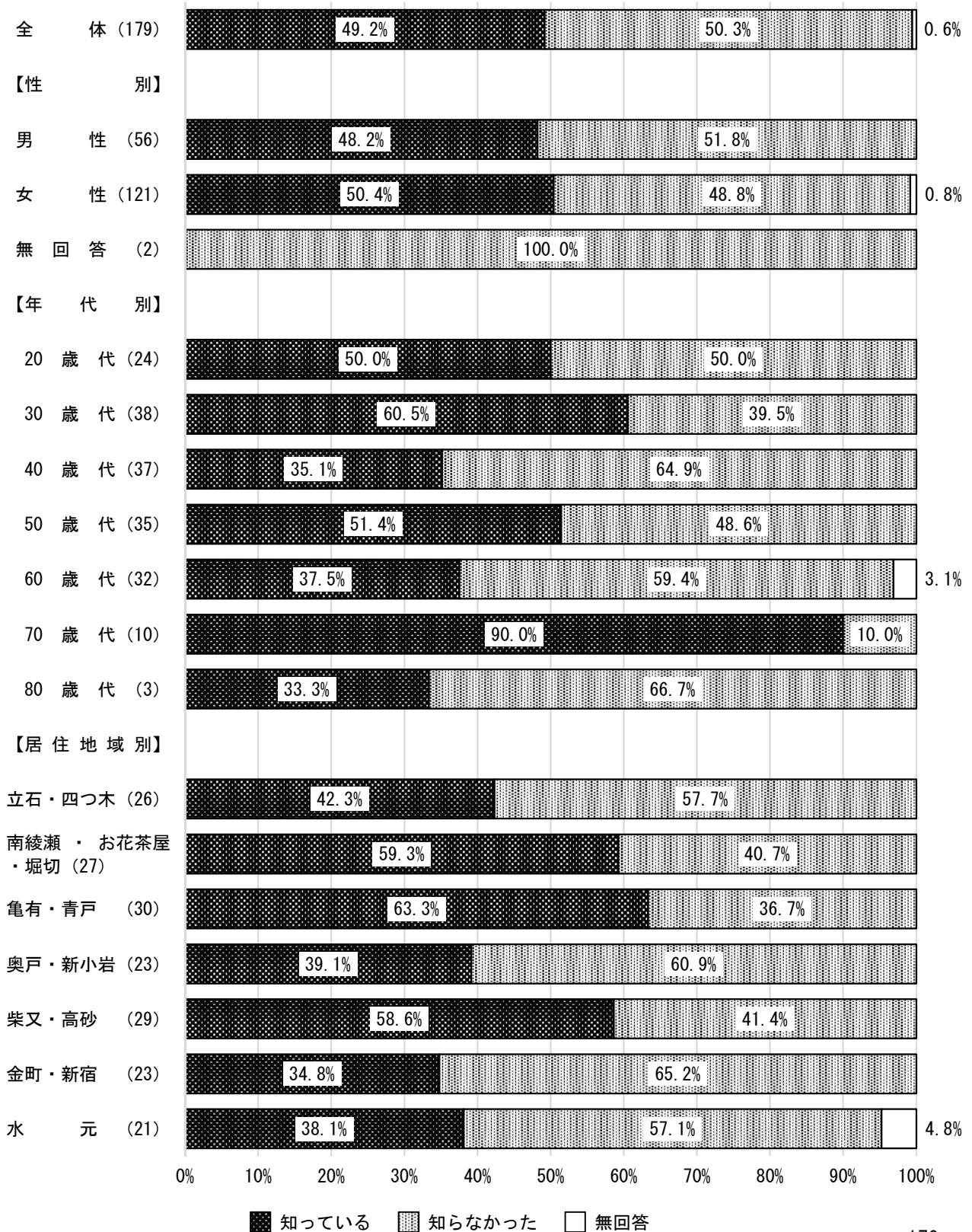
区内でシェアサイクルを実施していることを知っているかについて、50.3%が「知らなかった」と答えた。

年代別で見ると、「知っている」と答えた方は、70歳代の90.0%が最も高く、次いで30歳代が60.5%、50歳代が51.4%となっている。一方で「知らなかった」と答えた方は、80歳代の66.7%が最も高く、次いで40歳代が64.9%、60歳代が59.4%となっている。なお、20歳代では「知っている」と「知らなかった」の割合がともに50.0%となっている



n=179

問14 区内でシェアサイクルを実施していることを  
 知っていますか？  
 (全体・性別・年代別・居住地域別)



n=179

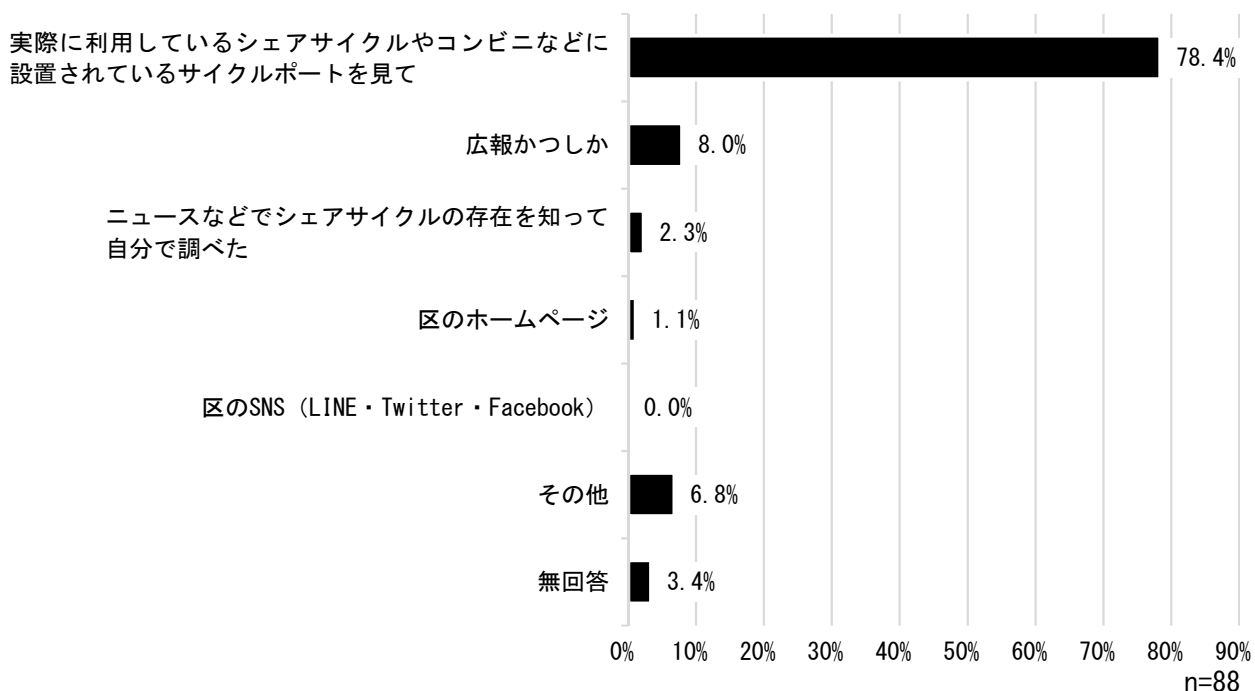
(15) シェアサイクル実施を知った方法について

問15 問14で「1. 知っている」を選択した方にお伺いします。  
どのような手段で知りましたか？（○は1つ）

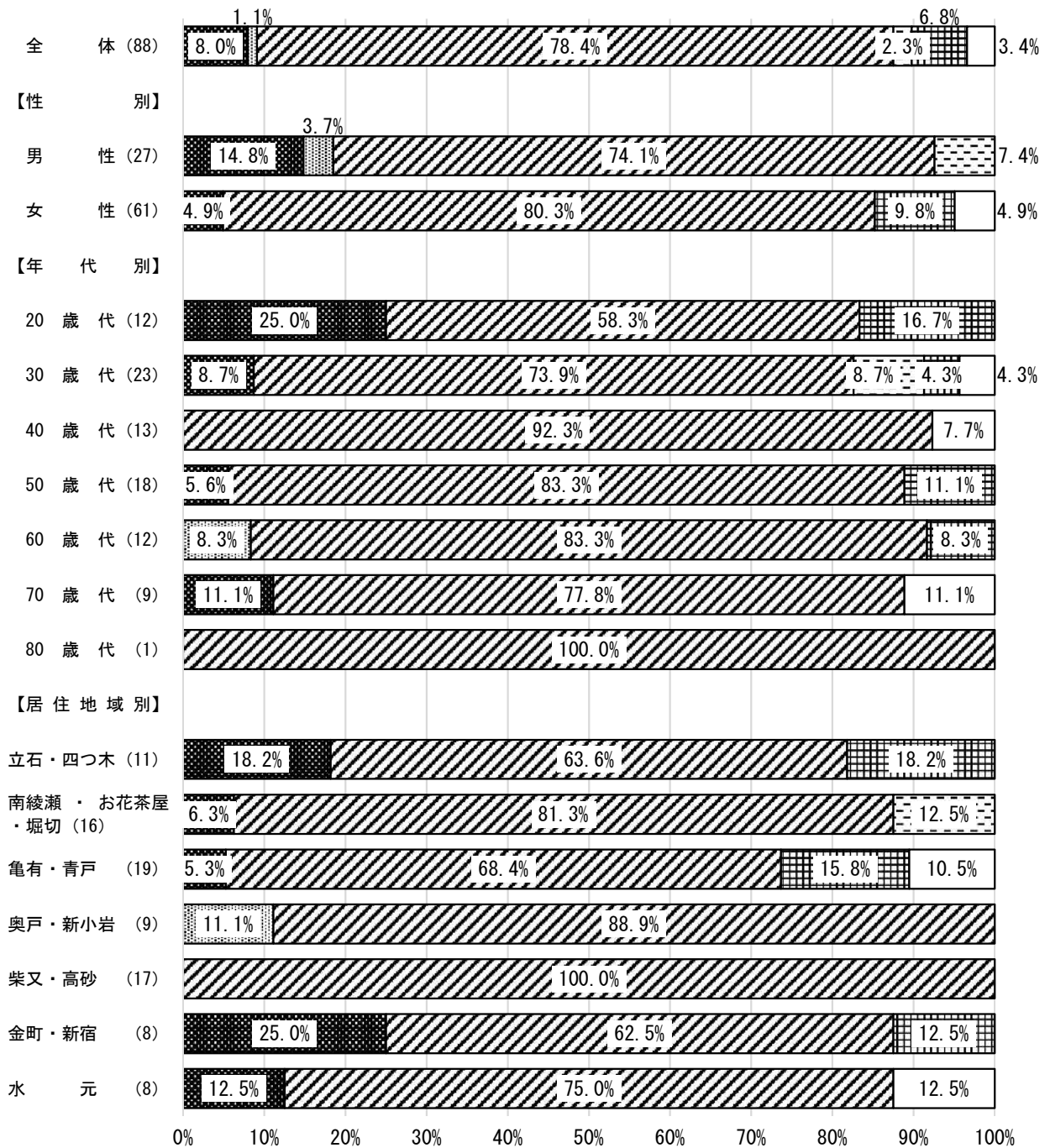
シェアサイクル実施をどのような手段で知ったかについて、「実際に利用しているシェアサイクルやコンビニなどに設置されているサイクルポートを見て」が78.4%で最も高くなった。

年代別でも、全ての年代で「実際に利用しているシェアサイクルやコンビニなどに設置されているサイクルポートを見て」が最も高くなっている。

「その他」の内容としては、「利用したいと思って調べたことがある」、「知人が利用していた」、「キャッシュレス決済アプリで利用できるシェアサイクルの案内を見た」などがあつた。



問15 どのような手段で知りましたか？  
 (全体・性別・年代別・居住地域別)



- 広報かつしか
- ▨ 区のホームページ
- ▨ 区のSNS (LINE・Twitter・Facebook)
- ▨ 実際に利用しているシェアサイクルやコンビニなどに設置されているサイクルポートを見て
- ▨ ニュースなどでシェアサイクルの存在を知って自分で調べた
- ▨ その他
- 無回答

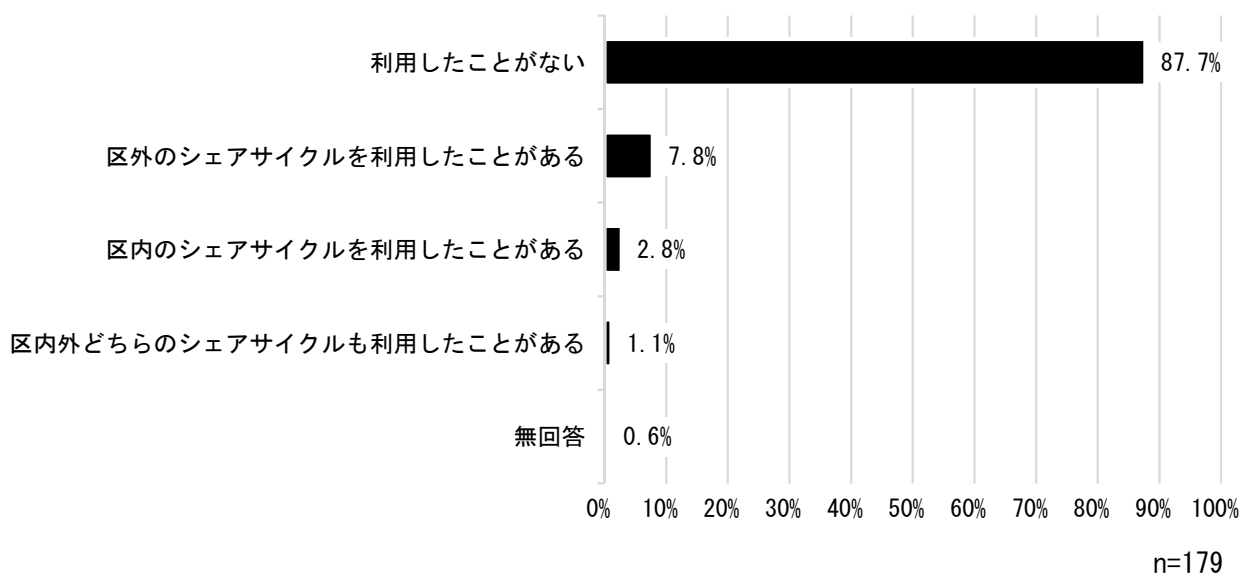
n=179

(16) シェアサイクルの利用経験について

問16 シェアサイクルを利用したことがありますか。(○は1つ)

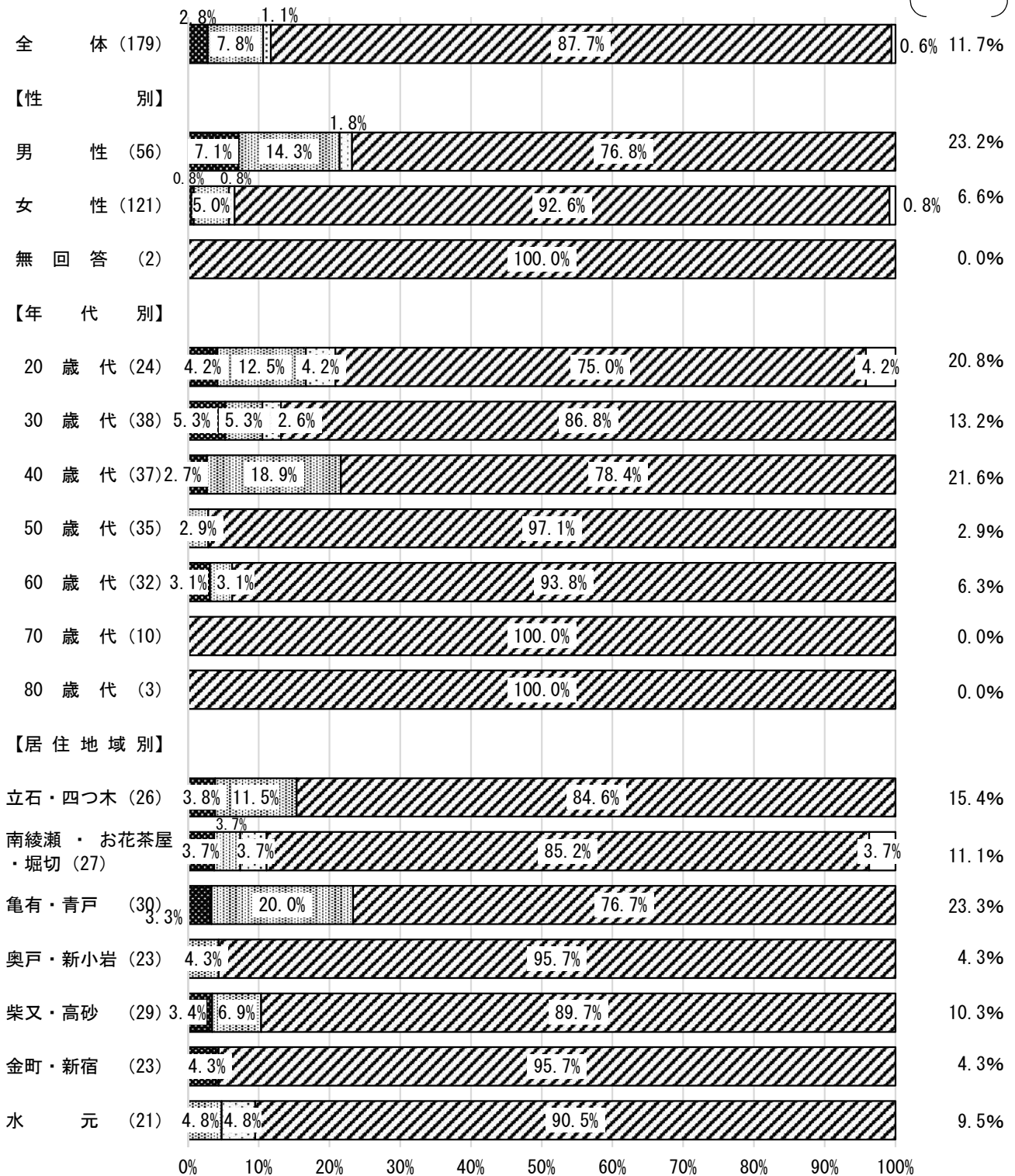
シェアサイクルを利用したことがあるかについて、「利用したことがない」が87.7%で最も高くなった。

年代別で見ると、「区内のシェアサイクルを利用したことがある」、「区外のシェアサイクルを利用したことがある」、「区内外どちらのシェアサイクルも利用したことがある」を合わせた「利用したことがある」の合計は40歳代の21.6%が最も高く、次いで20歳代が20.8%と続いている。



## 問16 シェアサイクルを利用したことがありますか？ (全体・性別・年代別・居住地別)

利用した  
ことが  
ある  
(計)



- 区内のシェアサイクルを利用したことがある
- ▨ 区外のシェアサイクルを利用したことがある
- ▤ 区内外どちらのシェアサイクルも利用したことがある
- ▧ 利用したことがない
- 無回答

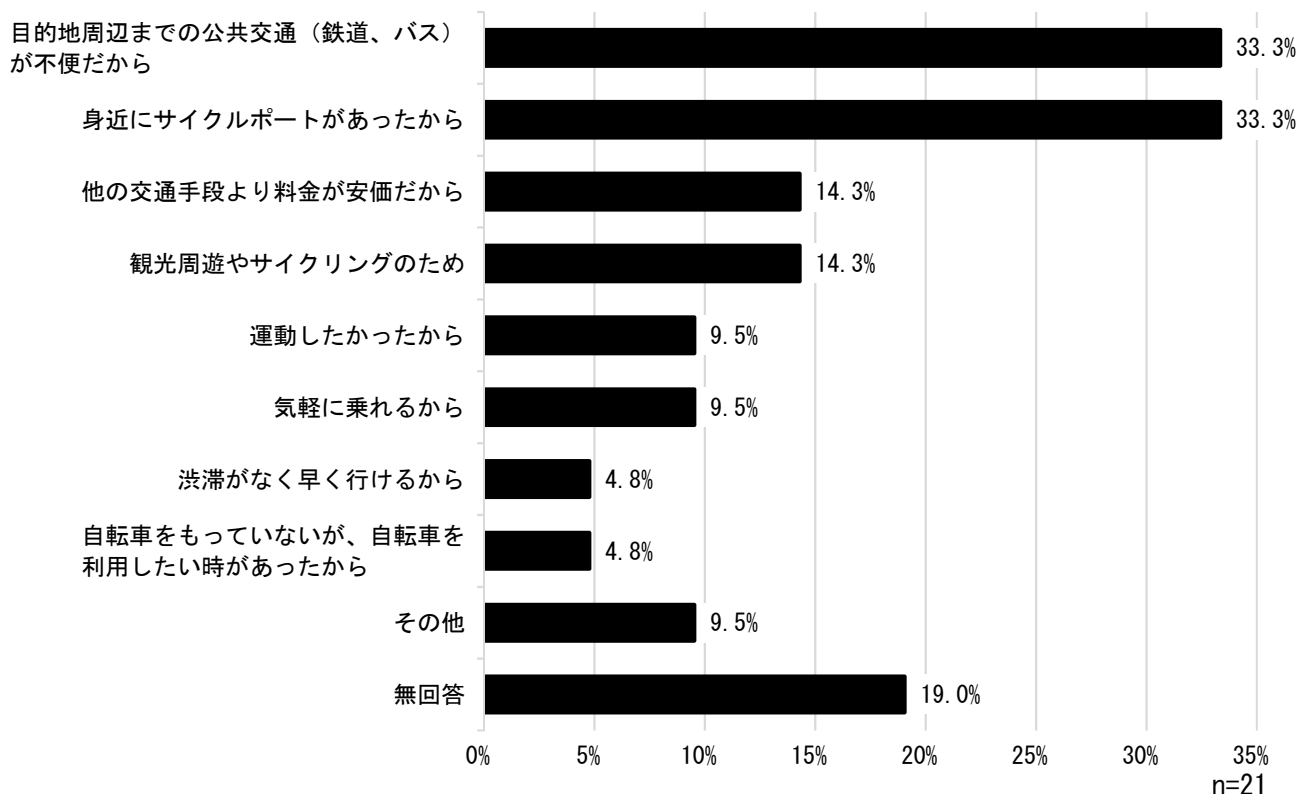
n=179

(17) シェアサイクルを利用した理由について

問17 問16で「1. 区内のシェアサイクルを利用したことがある」～「3. 区内外どちらのシェアサイクルも利用したことがある」を選択した方にお伺いします。  
シェアサイクルを利用した理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

シェアサイクルを利用した理由について、「目的地周辺までの公共交通（鉄道、バス）が不便だから」と「身近にサイクルポートがあったから」が33.3%で最も高くなった。次いで「他の交通手段より料金が安価だから」と「観光周遊やサイクリングのため」が14.3%で続いている。

「その他」の理由としては、「限られた時間内に目的地へ行きたかった」、「駅から職場まで徒歩だと15～20分かかり、朝子どもの支度などで遅れるときには時短のため利用している」などがあつた。

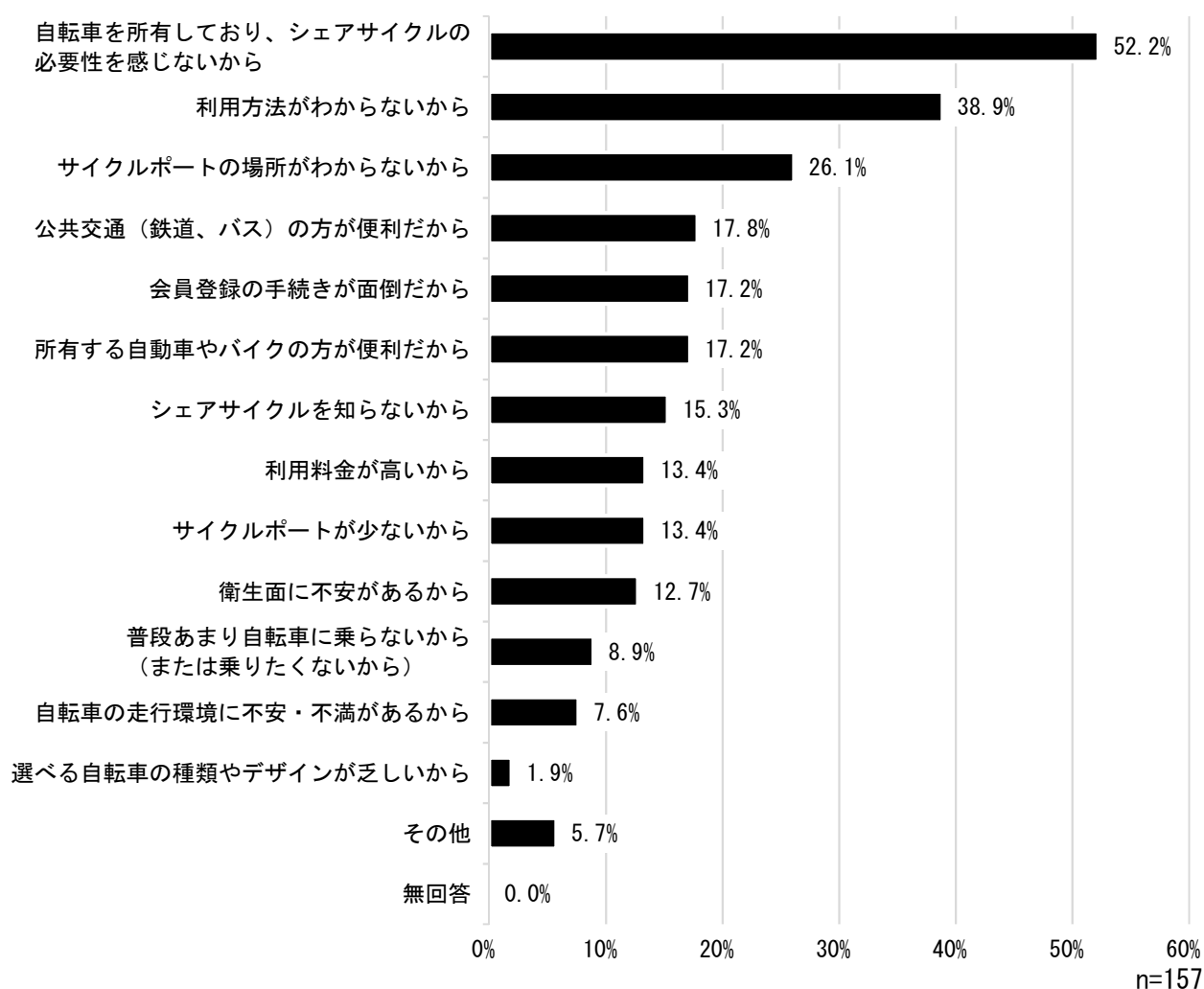


(18) シェアサイクルを利用しない理由について

問18 問16で「4. 利用したことがない」を選択した方にお伺いします。  
シェアサイクルを利用しない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

シェアサイクルを利用しない理由について、「自転車を所有しており、シェアサイクルの必要性を感じないから」が52.2%で最も高くなった。次いで「利用方法がわからないから」が38.9%、「サイクルポートの場所がわからないから」が26.1%、「公共交通（鉄道、バス）の方が便利だから」が17.8%で続いている。

「その他」の理由としては、「あることを知らなかった」、「子連れだと利用できない」、「返却する時に空きがなくて返却できない、充電があまりないものがあるって電動ではなくなるなど、ネガティブな情報があるので、もっと安心して利用できるまで使用しないと思う」などがあつた。





(19) 今後の利用について

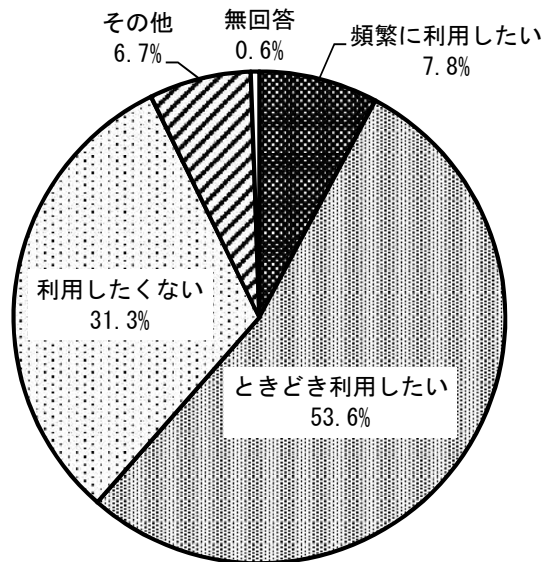
問19 区内外で普段よく訪れるエリアにサイクルポートや自転車の台数が増えれば、今後利用したいと思いますか？（〇は1つ）

区内外で普段よく訪れるエリアにサイクルポートや自転車の台数が増えれば、今後利用したいと思うかについて、「ときどき利用したい」が53.6%で最も高くなった。

年代別で見ると、「ときどき利用したい」が最も高くなったのは20歳代で37.5%、30歳代で57.9%、40歳代で59.5%、50歳代で60.0%、60歳代で50.0%、70歳代で50.0%となっており、「利用したくない」が最も高くなったのは80歳代で66.7%であった。

なお、「頻繁に利用したい」、「ときどき利用したい」を合わせた「利用したい」の合計は全体で61.5%となっており、年代別で見ると、70歳代以下の全ての年代で50%を超えている。

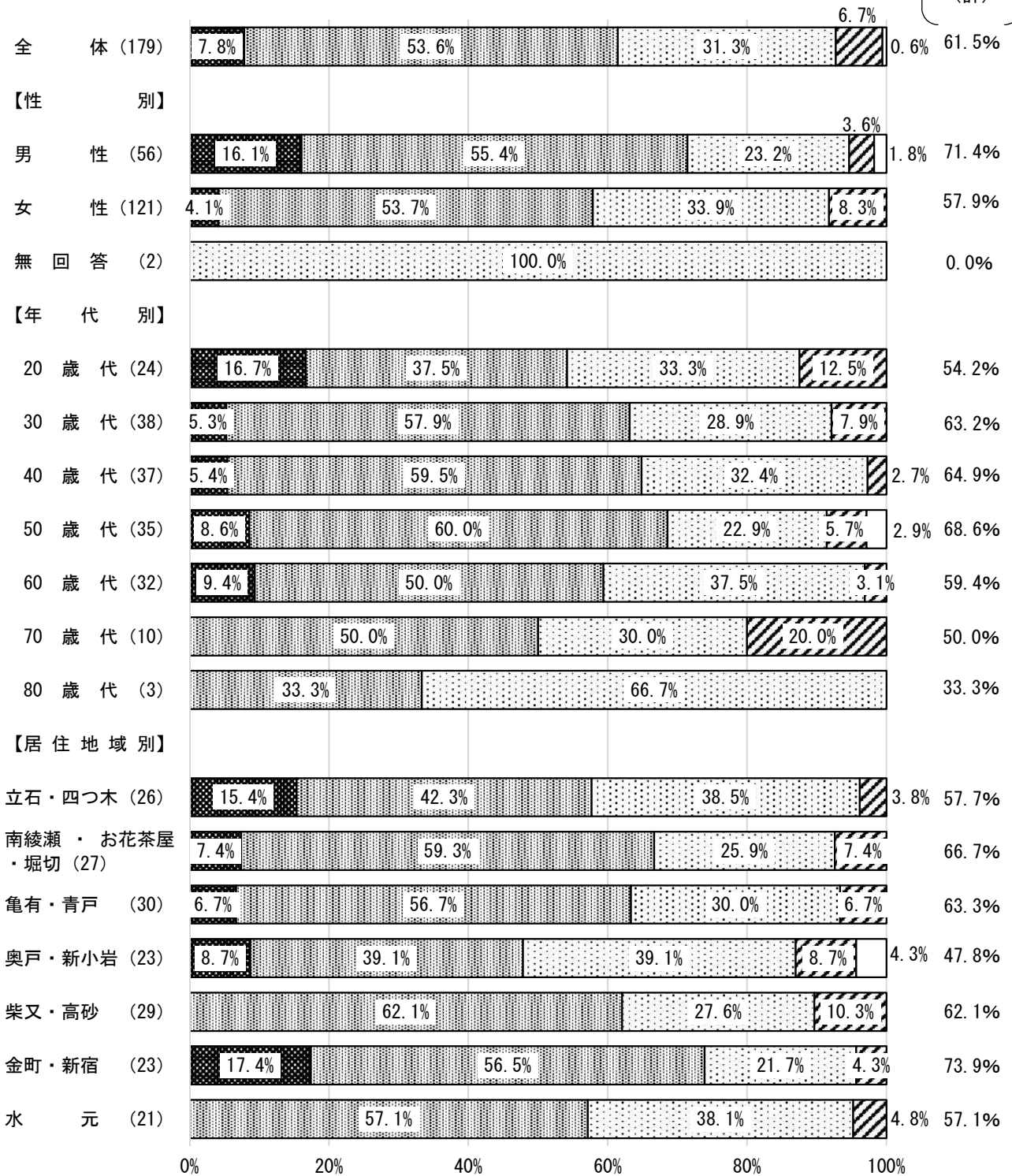
「その他」の内容としては、「必要とあれば利用したい」、「子ども用のシェアサイクルがあれば子どもと一緒に利用したい」、「返却場所が特定されないのであれば利用したい」などがあつた。



n=179

問19 区内外で普段よく訪れるエリアにサイクルポートや自転車の台数が増えれば、今後利用したいと思いますか？  
 (全体・性別・年代別・居住地域別)

利用  
したい  
(計)



■ 頻繁に利用したい ■ ときどき利用したい ■ 利用したくない ■ その他 □ 無回答

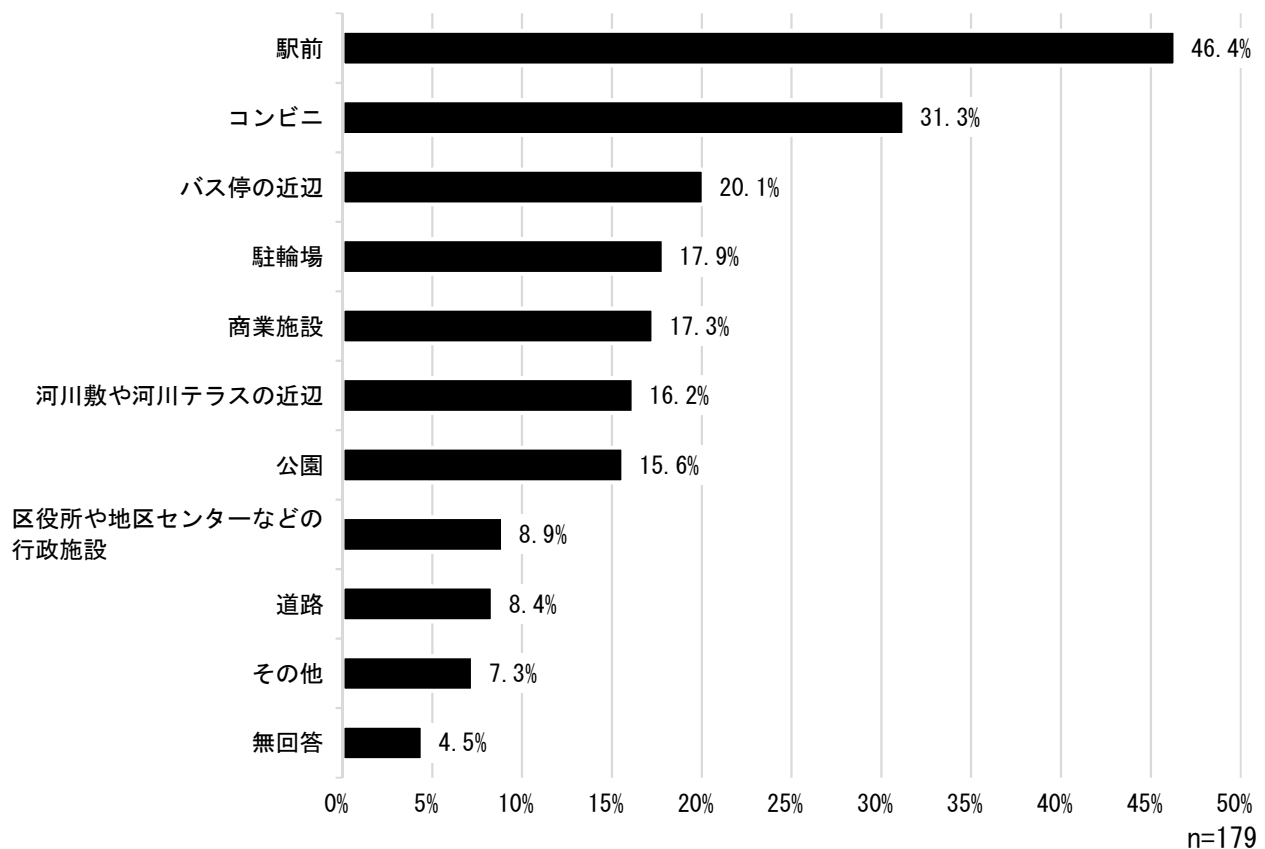
n=179

(20) サイクルポートの設置場所について

問20 どんな場所にサイクルポートがあると便利で利用したいと思いますか？（〇は3つまで）

どんな場所にサイクルポートがあると便利で利用したいかについて、「駅前」が46.4%で最も高くなった。次いで「コンビニ」が31.3%、「バス停の近辺」が20.1%、「駐輪場」が17.9%が続いている。

「その他」の場所としては、「自宅近く（徒歩5分圏内）」、「駅と駅の間を繋ぐルートに郵便ポストのように点在していると借りたり返したりが楽になりそう」、「正直住んでいる場所の近所であれば、どのような形でも使いたいと思う」などがあつた。



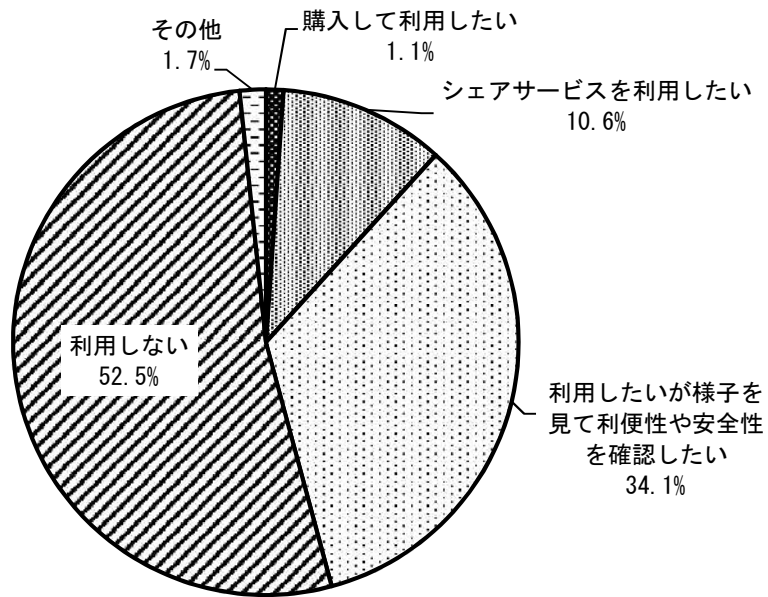
(21) 電動キックボードの利用について

問21 今後、改正道路交通法の施行により新たな移動手段である電動キックボードが普及する可能性があります、利用したいと思いますか？（○は1つ）

電動キックボードを利用したいかについて、「利用しない」が52.5%で最も高くなった。

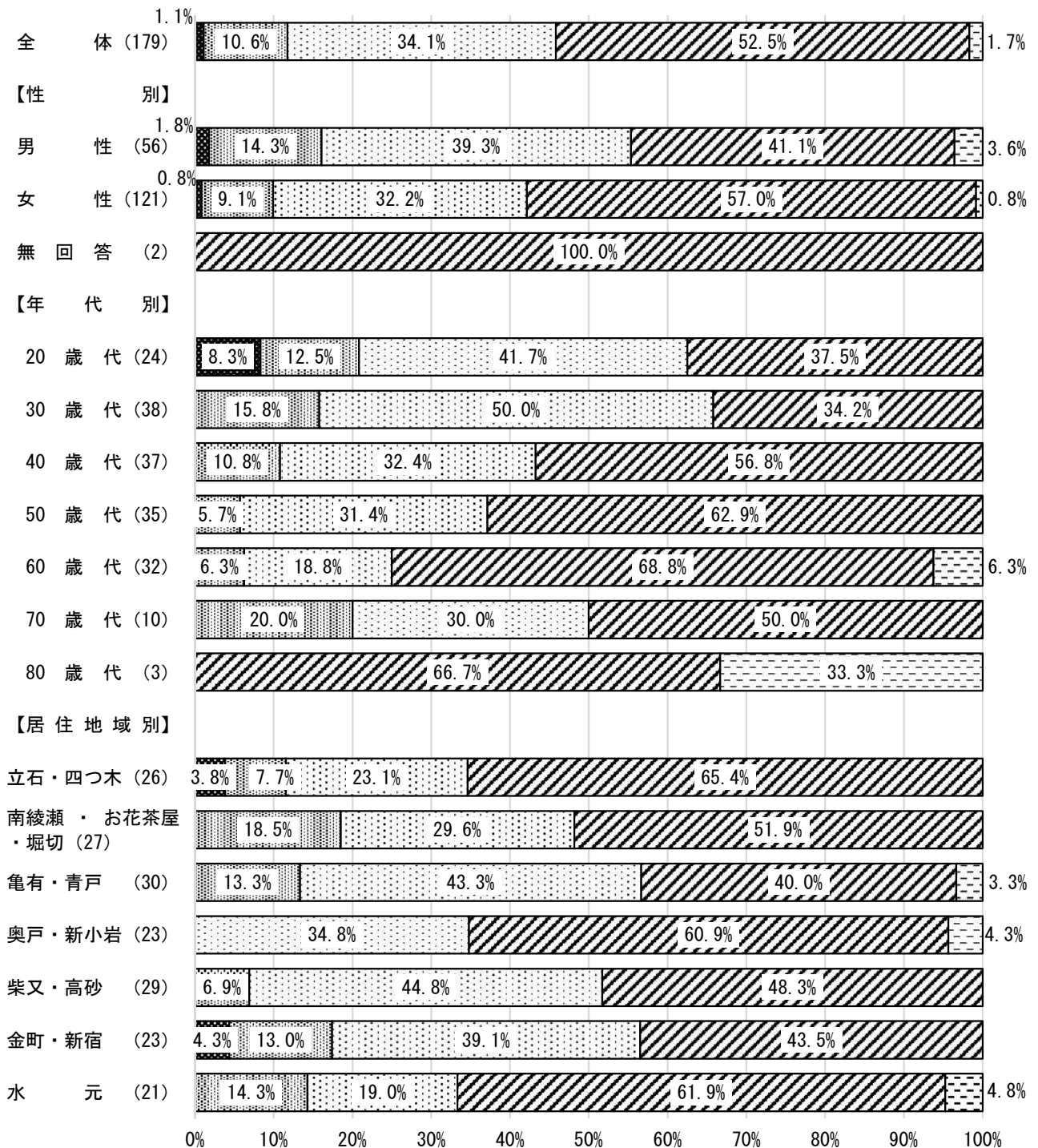
年代別で見ると、「利用したいが様子を見て利便性や安全性を確認したい」が最も高くなったのは20歳代で41.7%、30歳代で50.0%となっており、「利用したくない」が最も高くなったのは40歳代で56.8%、50歳代で62.9%、60歳代で68.8%、70歳代で50.0%、80歳代で66.7%となっている。

「その他」の内容としては、「危険性が高い」、「年齢的に無理だし興味もないため」、「自転車を所有しているので、あまり考えたことがなかった。子どもがおり、子ども用のシートがないと利用できない」などがあつた。



問21 今後、改正道路交通法の施行により新たな移動手段である電動キックボードが普及する可能性があります、利用したいと思いますか？

(全体・性別・年代別・居住地域別)



- 購入して利用したい
- シェアサービスを利用したい
- 利用したいが様子を見て利便性や安全性を確認したい
- 利用しない
- その他
- 無回答

n=179

(22) シェアサイクルについてのご意見

問22 シェアサイクルについて、ご意見がありましたらご記入ください。(自由記述)

(主な回答)

<意見>

- ・ 設置場所のマップが周知されていれば使う場面も増えるのではないか。(20歳代/女性)
- ・ シェアサイクルはもっと広めてほしい。シェアサイクルステーションが増えていくことを望んでいる。(50歳代/男性)
- ・ いろんな形態の自転車があるとありがたい。子育て中はなかなか利用する機会がないので、もう少し子どもが大きくなったら利用を検討すると思う。(30歳代/女性)
- ・ シェアサイクルの使い方やルールがいまいち分かりづらい。スマホありきなのであればスマホを持たない人が利用できない。(50歳代/女性)
- ・ 便利だと思うが、あまり認知されていないのが現状だと思う。(30歳代/男性)
- ・ 自宅から移動するときは自分の自転車を使うので、シェアサイクルを利用しようと思う機会がない。  
(30歳代/女性)
- ・ 区内のある場所で見かけたが「なぜここに？」という場所で、利便性を感じなかった。  
(40歳代/女性)

<要望>

- ・ 利用方法等が全く分からないので、情報発信をしてほしい。(40歳代/女性)
- ・ シェアサイクルの認知度という面でまだまだなのかなという印象。SNSや駅前の広告等で認知度を広めつつ設置場所を増やしてほしい。(20歳代/男性)
- ・ 子育てしたりすると乗せられる自転車がないのであまり利用はできないと思う。駐輪場も有料で、自分で自転車を持つほどではないという賃貸に住む若い人には需要があると思う。(40歳代/女性)
- ・ 子どもを乗せられるタイプの車両があるのか、電動があるのかなど知りたい。(30歳代/女性)

<懸念>

- ・ 乗り捨てずきちんと返却されているのか心配。(60歳代/女性)
- ・ 使い回しなので、ハンドルやサドルの衛生面をどうしているのか教えてほしい。(50歳代/女性)
- ・ シェアサイクルが増えるのはよいと思うが、マナーが問われると思う。よくシェアサイクルのカゴにごみを置いていく人を見かける。(30歳代/女性)
- ・ シェアサイクルを使いたい人はどんな人かイメージがわからない。葛飾区内で放置自転車が多く、どれだけの人数がシェアしてまで使うのかわからない。(50歳代/女性)
- ・ 車道を走る自転車の事故が増えているうえ、電動キックボードの利用も加わるとなると、しっかりと規律や一人一人のモラルを高めることが今以上に必要になると思う。(60歳代/女性)

など(全80件)

### 3 区民と区長との意見交換会について

葛飾区では区民の皆様のご意見を広くお聞きし、区政に取り入れていくため、区長へのはがき・メールや意識調査、自治町会長と区長が意見交換をする会、小・中学生が区議会議員になりきり、葛飾区をより良いまちにするため区長などに対して提案をする子ども区議会、政策案に対して皆様からご意見を募るパブリックコメント、そして皆様にご協力いただいている区民モニターへの調査など、様々な取組を進めております。

このような中で区長自らが直接区民の皆様のご意見やご要望をお伺いする機会として、平成22年度から「区民と区長との意見交換会」を実施しております。本事業は毎年地域を変え、3か所の会場で実施をしています。

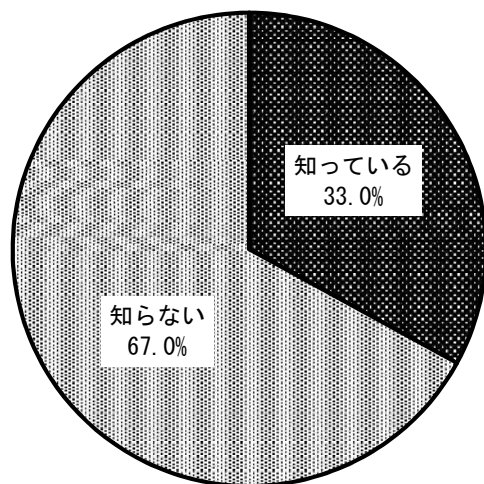
今後、より多くの方にご参加いただき、多様なご意見をお聞きすることで、これまで以上に皆様に寄り添い、共に課題解決に取り組んでいくことを目指しております。区民と区長との意見交換会をより有意義なものとするため、区民モニターの皆様のご意見をお伺いします。

#### (23) 区民と区長との意見交換会の認知度について

問23 区民と区長との意見交換会の事業を知っていましたか？（○は1つ）

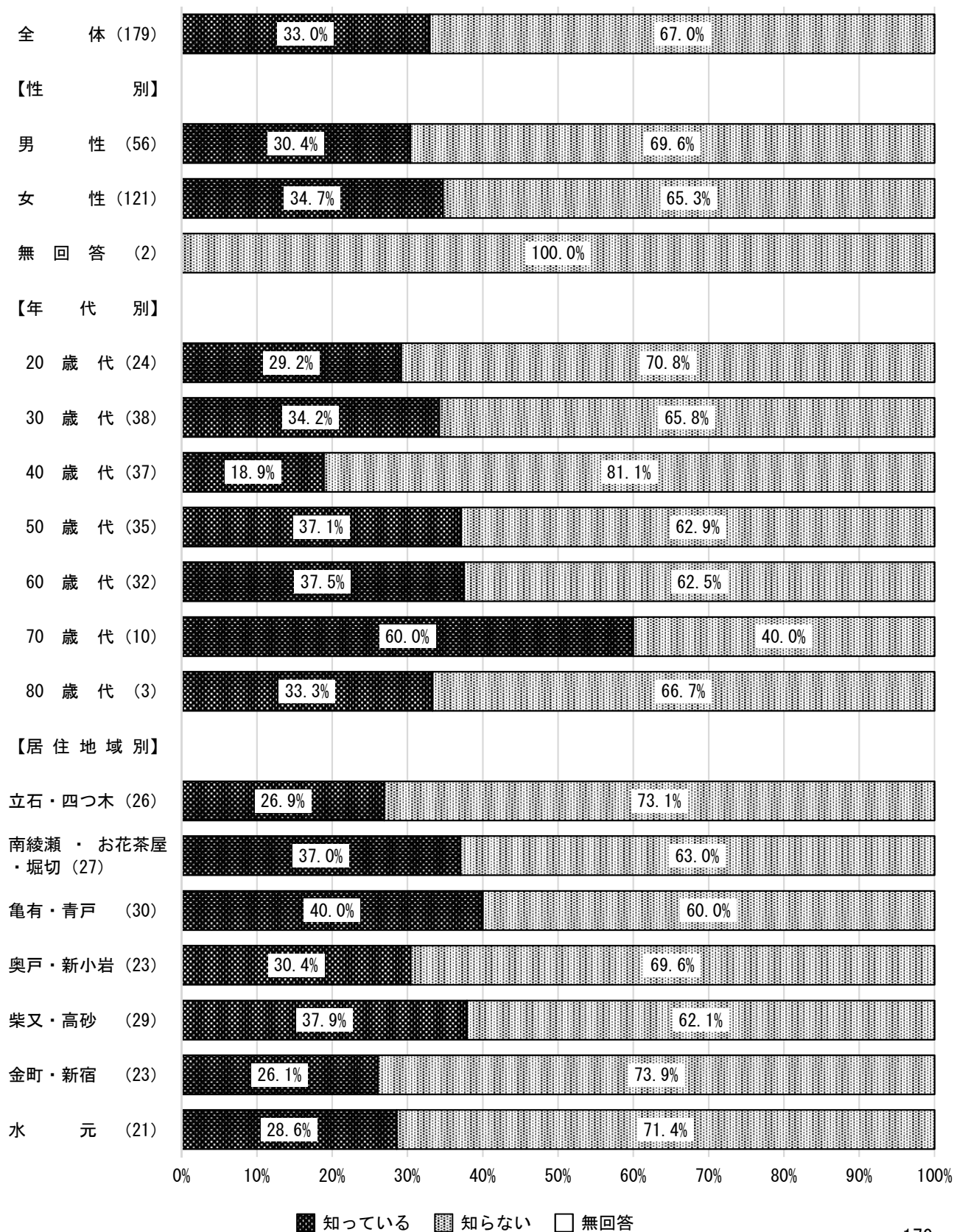
区民と区長との意見交換会の事業を知っているかについて、67.0%が「知らない」と答えた。

年代別にみると、「知っている」と答えた方は70歳代の60.0%が最も高く、次いで60歳代が37.5%となっている。一方で「知らない」と答えた方は40歳代の81.1%が最も高く、次いで20歳代が70.8%、80歳代が66.7%と続いている。



n=179

問23 区民と区長との意見交換会の事業を知っていましたか？  
 (全体・性別・年代別・居住地域別)



n=179

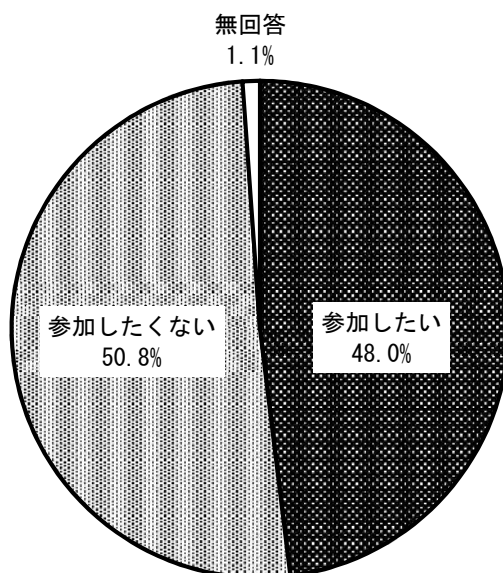


(24) 区民と区長との意見交換会への参加意欲について

問24 区民と区長との意見交換会に参加してみたいですか？（○は1つ）

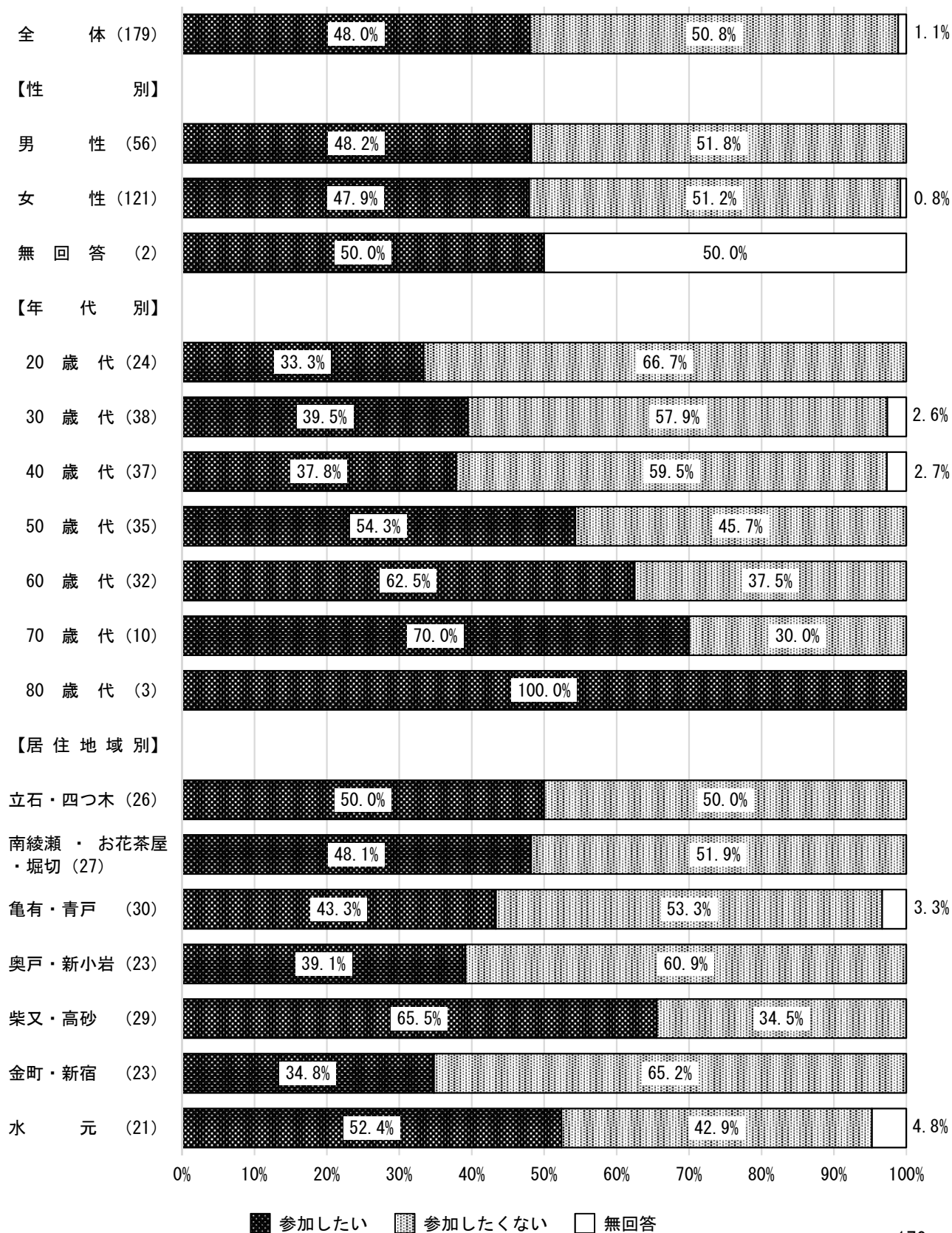
区民と区長との意見交換会に参加してみたいかについて、48.0%が「参加したい」と答えた。

年代別で見ると、50歳代以上では「参加したい」の回答が多い一方で、40歳代以下では「参加したくない」の回答が多くなっている。



n=179

問24 区民と区長との意見交換会に参加してみたいですか？  
 (全体・性別・年代別・居住地域別)



n=179

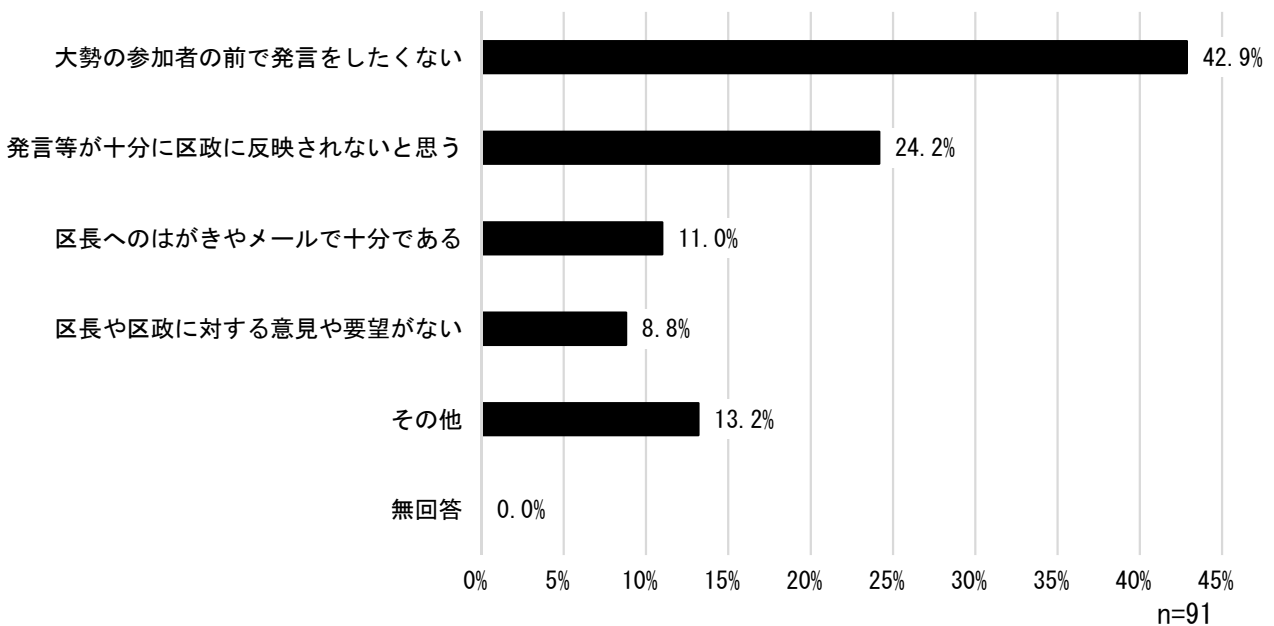
(25) 区民と区長との意見交換会に参加したくない理由について

問25 問24で「2. 参加したくない」を選択した方にお伺いします。  
参加したくない理由を教えてください。(〇は1つ)

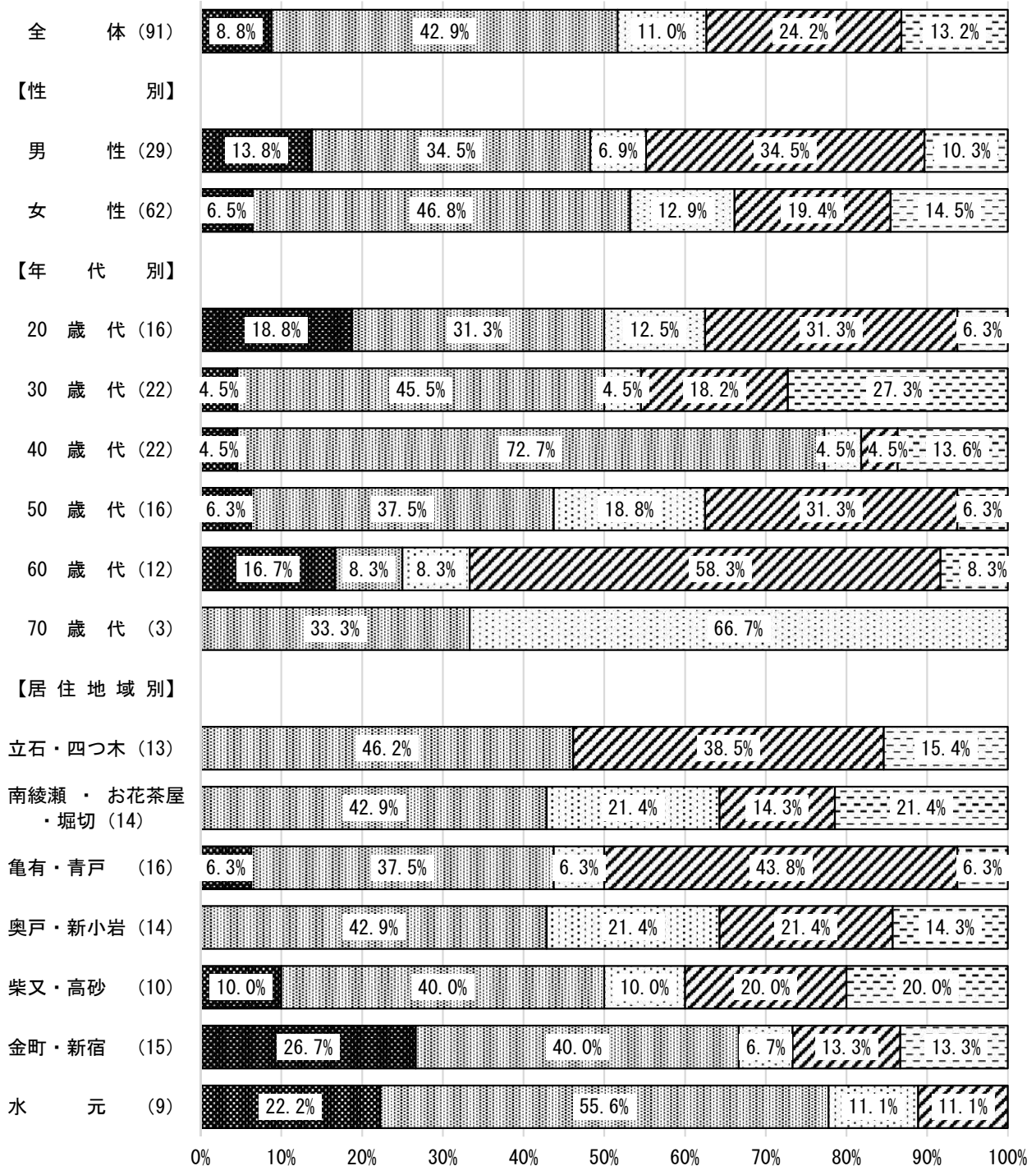
区民と区長との意見交換会に参加したくない理由について、「大勢の参加者の前で発言をしたくない」が42.9%で最も高くなった。

年代別で見ると、「大勢の参加者の前で発言をしたくない」が最も高くなったのは30歳代で45.5%、40歳代で72.7%、50歳代で37.5%、「区長へのはがきやメールで十分である」が最も高くなったのは70歳代で66.7%、「発言等が十分に区政に反映されないと思う」が最も高くなったのは60歳代で58.3%となっている。また20歳代では「大勢の参加者の前で発言をしたくない」と「発言等が十分に区政に反映されないと思う」がともに31.3%で最も高くなっている。

「その他」の内容としては、「仕事や子育て、家事、育児、介護等により忙しい、時間がない」、「意見交換は整理された状態で行ったほうが時間の使い方として有益だと思うので、その場で思ったことを発言する会議体は興味がない」、「話が難しそう」などがあつた。



問25 参加したくない理由を教えてください  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



- 区長や区政に対する意見や要望がない
- ▨ 区長へのはがきやメールで十分である
- その他

- ▩ 大勢の参加者の前で発言をしたくない
- ▤ 発言等が十分に区政に反映されないと思う
- 無回答

n=91

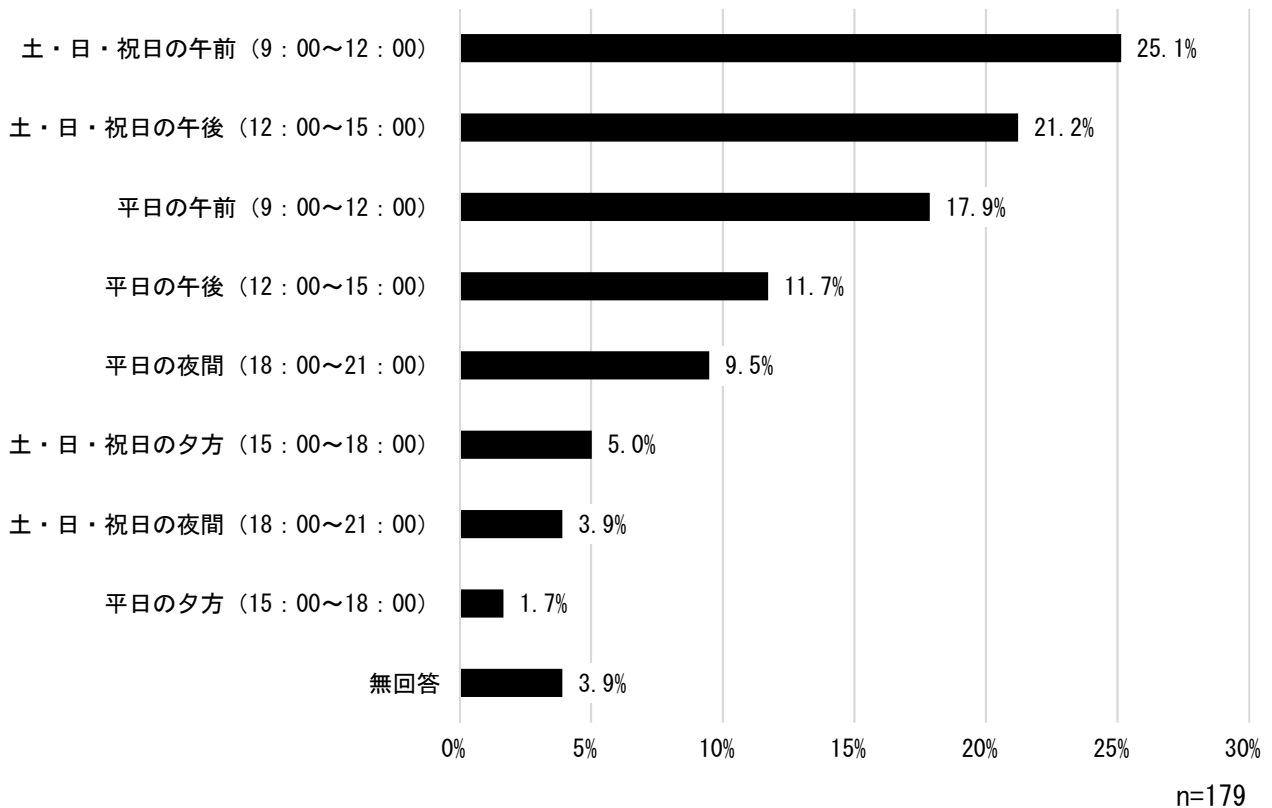
(26) 区民と区長との意見交換会に参加しやすい時間帯について

問26 区民と区長との意見交換会に最も参加しやすい時間帯はどれですか？（○は1つ）

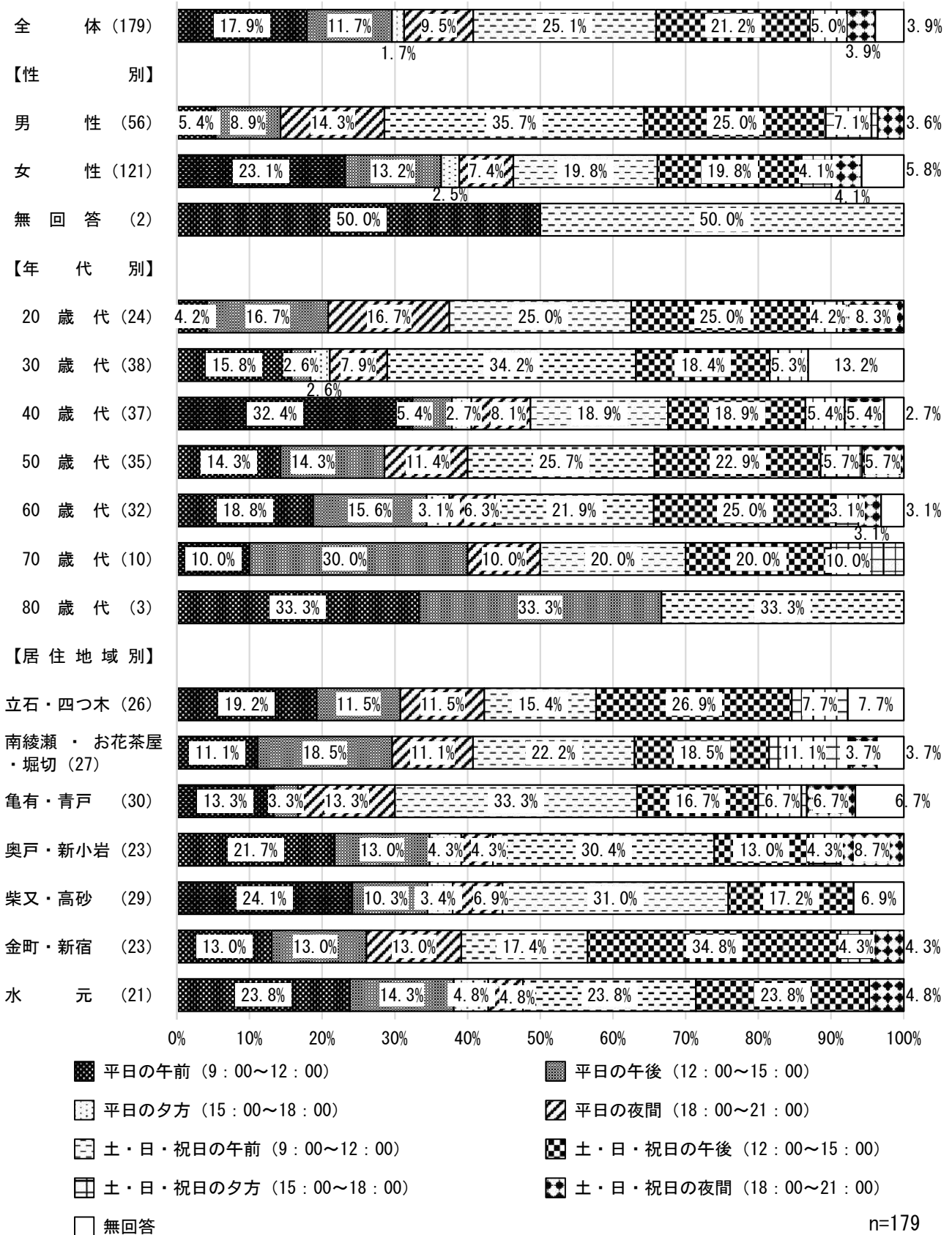
意見交換会に最も参加しやすい時間帯について、「土・日・祝日の午前」が25.1%で最も高くなった。また、「土・日・祝日の午前」、「土・日・祝日の午後」、「土・日・祝日の夕方」、「土・日・祝日の夜間」を合わせた「土・日・祝日」の割合は55.3%となった。

年代別でみると、20歳代では「土・日・祝日の午前」、「土・日・祝日の午後」の25.0%、30歳代・50歳代では「土・日・祝日の午前」の34.2%、25.7%、40歳代では「平日の午前」の32.4%、60歳代では「土・日・祝日の午後」の25.0%、70歳代では「平日の午後」の30.0%がそれぞれ高くなっている。

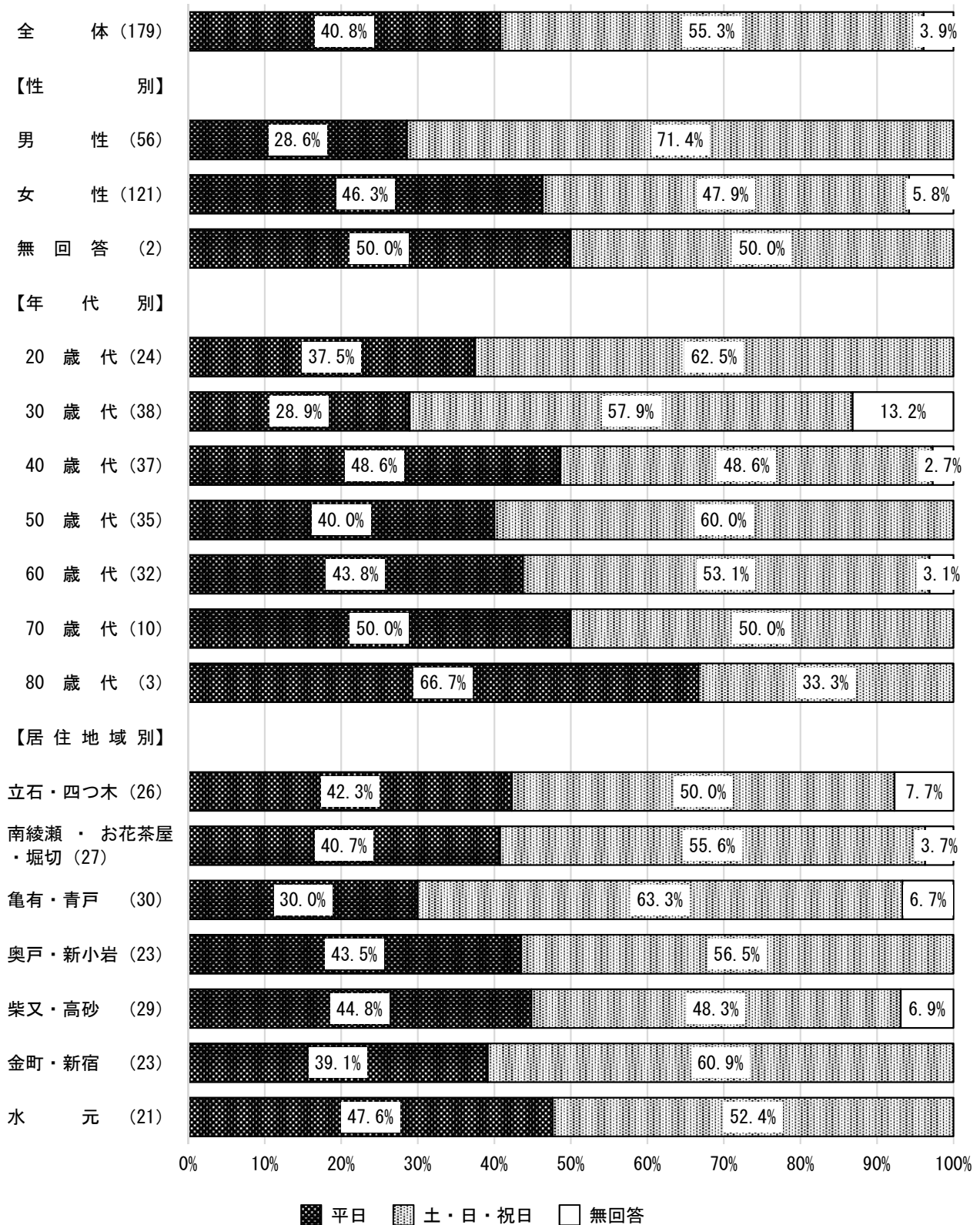
また、「平日の午前」、「平日の午後」、「平日の夕方」、「平日の夜間」を合わせた「平日」が多かったのは、80歳代の66.7%となっており、「土・日・祝日」が最も高くなったのは20歳代で62.5%、30歳代で57.9%、50歳代で60.0%、60歳代で53.1%となっている。30歳代と70歳代では「平日」と「土・日・祝日」の割合が同一となった。



問26 区民と区長との意見交換会に  
最も参加しやすい時間帯はどれですか  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



区民と区長との意見交換会に  
最も参加しやすい日  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



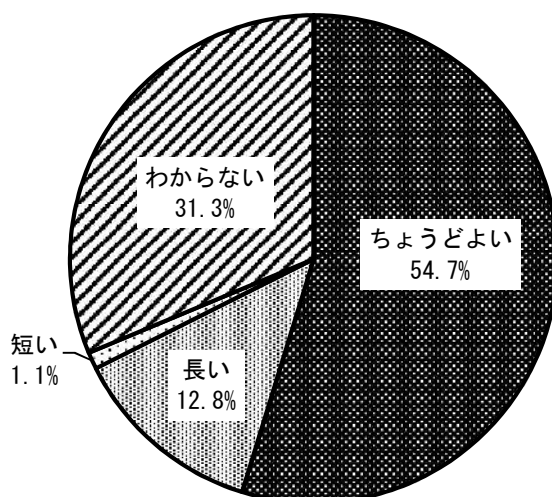
(27) 区民と区長との意見交換会の開催時間について

問27 現在、区民と区長との意見交換会は2時間ずつ開催しています。開催時間の長さについて教えてください。(〇は1つ)

意見交換会の開催時間について、「ちょうどよい」が54.7%で最も高くなった。

年代別で見ると、「ちょうどよい」が最も高くなったのは20歳代で45.8%、40歳代で43.2%、50歳代で77.1%、60歳代で53.1%、70歳代で80.0%、80歳代で100.0%となっており、「わからない」が最も多くなったのは30歳代で44.7%となっている。

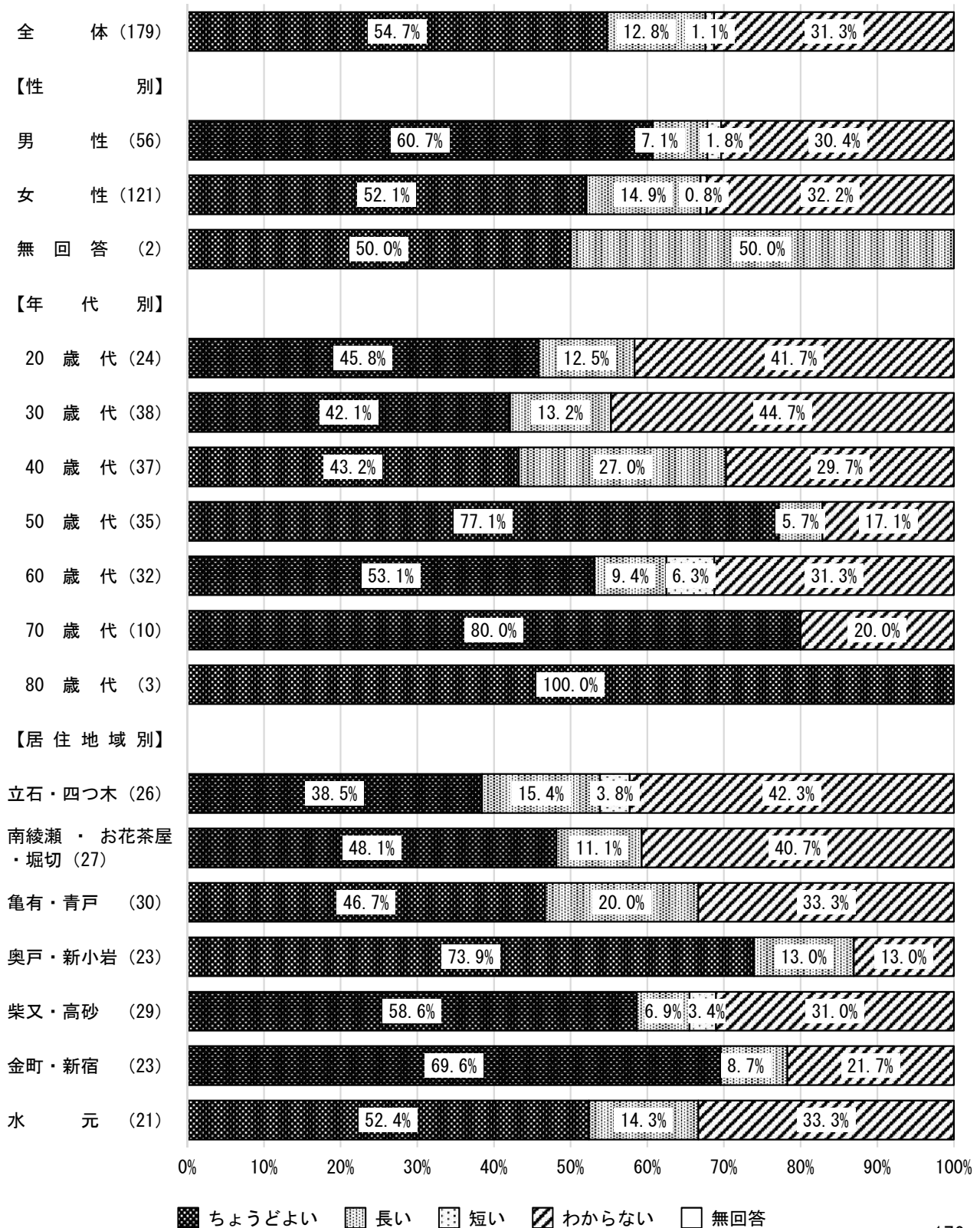
また、開催時間が「長い」または「短い」と答えた方に希望する開催時間を尋ねたところ、多くの方が1時間と回答した。なお最も短い時間は30分、最も長い時間は3時間となった。



n=179



問27 現在、区民と区長との意見交換会は2時間ずつ開催しています。開催時間の長さについて教えてください。  
 (全体・性別・年代別・居住地域別)



n=179

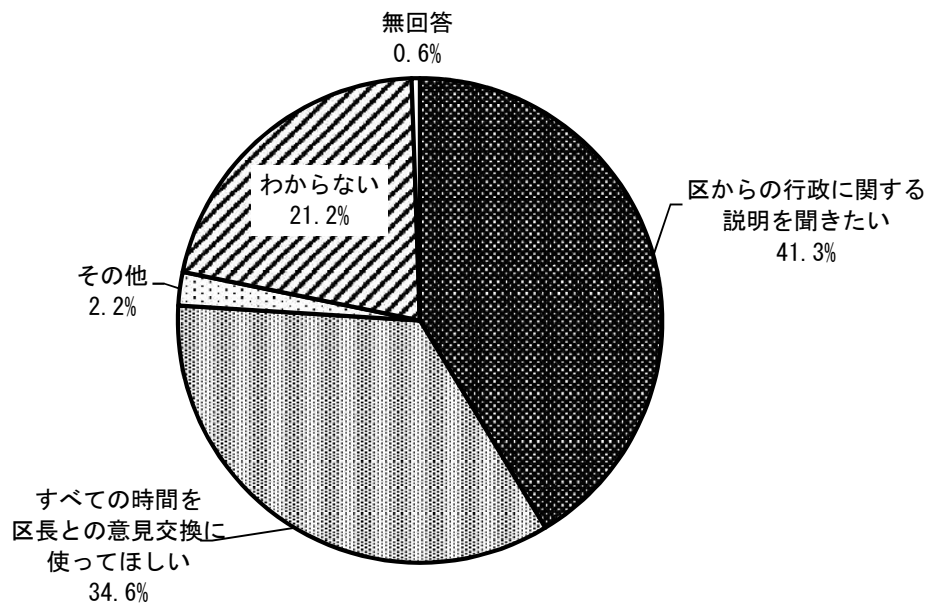
(28) 区民と区長との意見交換会の開催内容について

問28 現在、区民と区長との意見交換会では直接の意見交換の時間のほかに災害対策や新型コロナウイルス感染症対策、SDGsなど皆様の関心の高い施策等に関する説明の時間を設けています。開催内容について教えてください。(〇は1つ)

意見交換会の開催内容について、「区からの行政に関する説明を聞きたい」が41.3%で最も高くなった。

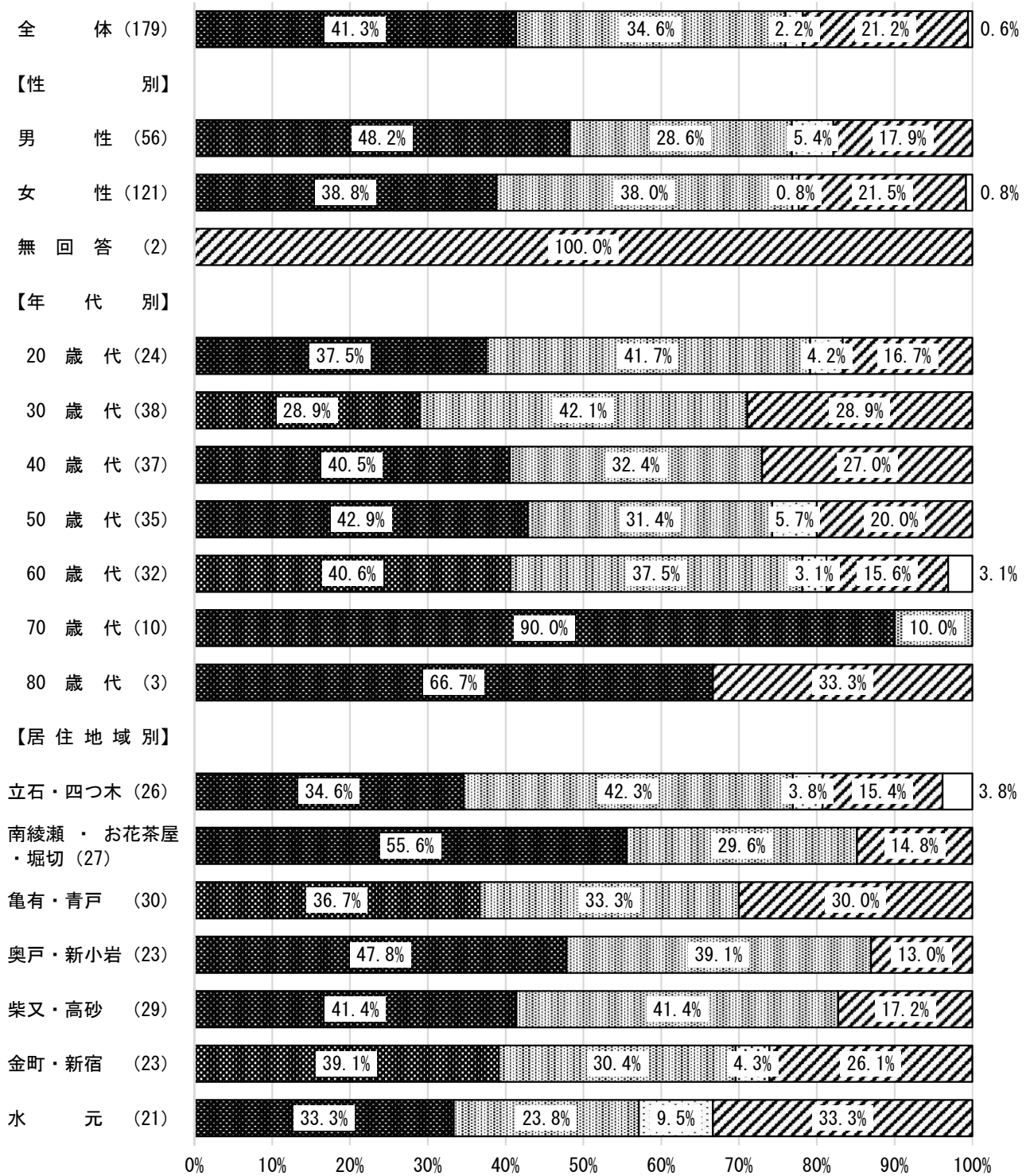
年代別で見ると、「区からの行政に関する説明を聞きたい」が最も高くなったのは40歳代で40.5%、50歳代で42.9%、60歳代で40.6%、70歳代で40.0%、80歳代で66.7%となっており、「すべての時間を区長との意見交換に使ってほしい」が最も高くなったのは20歳代で41.7%、30歳代で42.1%となっている。

「その他」の内容としては、「区民の発言の時間が長い方がいい」、「内容による」、「行政に関する説明後、説明内容の質問」などがあつた。



問28 区民と区長との意見交換会の開催内容について  
教えてください。

(全体・性別・年代別・居住地域別)



■ 区からの行政に関する説明を聞きたい

■ すべての時間を区長との意見交換に使ってほしい

■ その他

■ わからない

□ 無回答

n=179

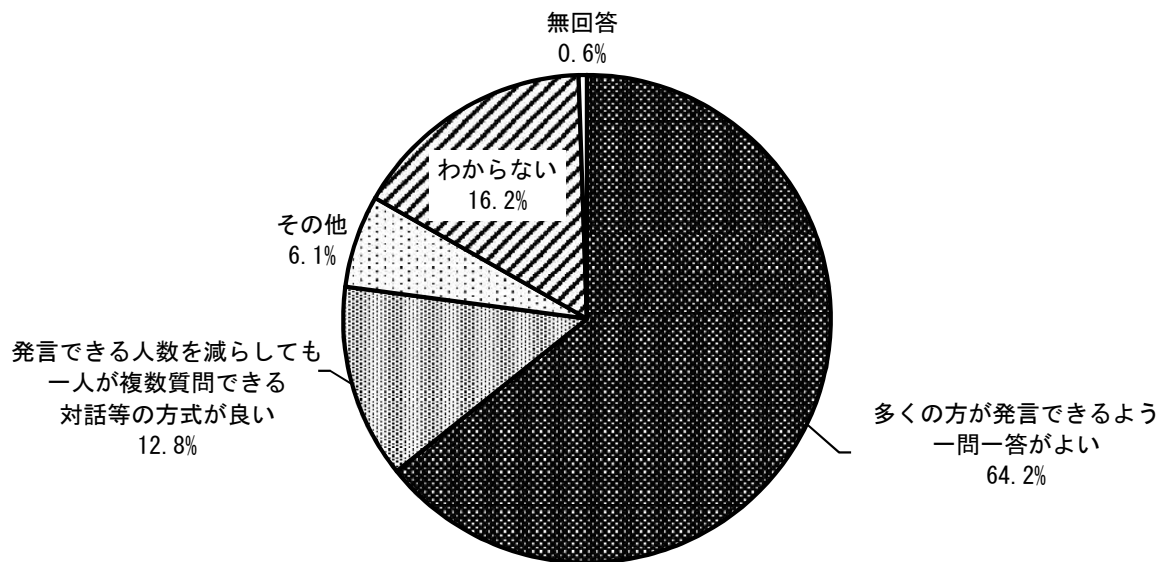
(29) 区民と区長との意見交換会の開催方法について

問29 現在、区民と区長との意見交換会は一人でも多くの方のご意見をお聞きできるよう一問一答形式としています。  
開催方法について教えてください。(〇は1つ)

意見交換会の開催方法について、「多くの方が発言できるよう一問一答がよい」が64.2%で最も高くなった。

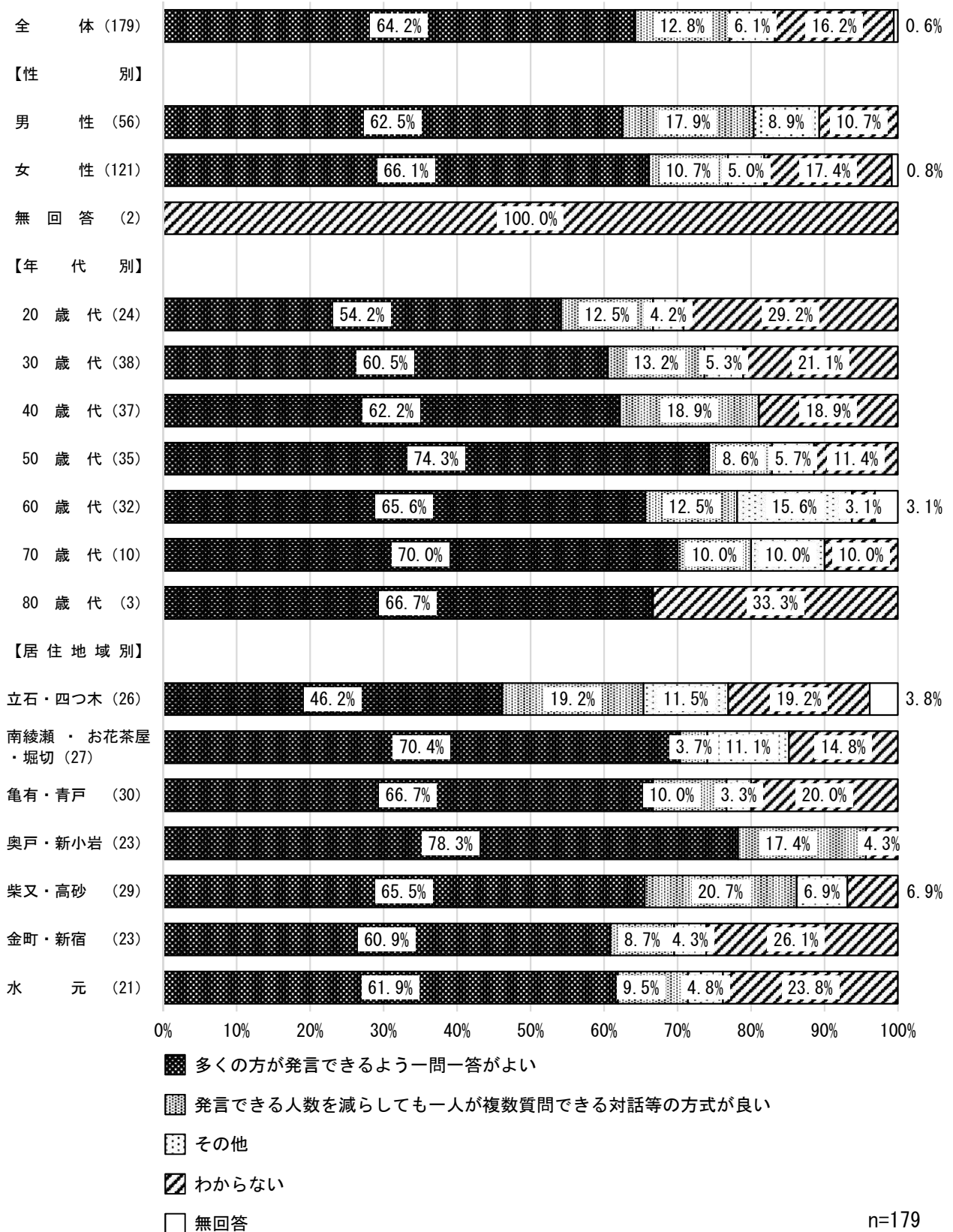
年代別でも、全ての年代で「多くの方が発言できるよう一問一答がよい」が最も高くなっている。

「その他」の内容としては、「1つのテーマについて話し合う」「ネットでの意見交換」「基本一問一答で、時間が余ったら対話方式にする」などがあつた。



n=179

問29 区民と区長との意見交換会の開催方法について  
教えてください。  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



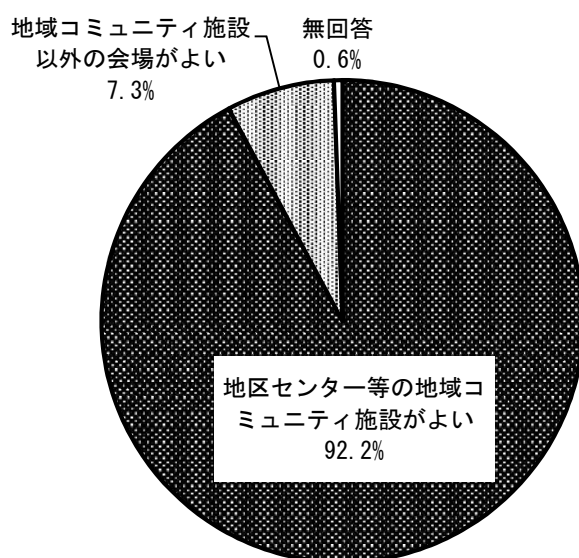
(30) 区民と区長との意見交換会の開催場所について

問30 現在、区民と区長との意見交換会は地区センターなどの地域コミュニティ施設で開催しています。皆様が参加しやすい開催場所について教えてください。(〇は1つ)

参加しやすい開催場所について、「地区センター等の地域コミュニティ施設がよい」が92.2%で最も高くなった。

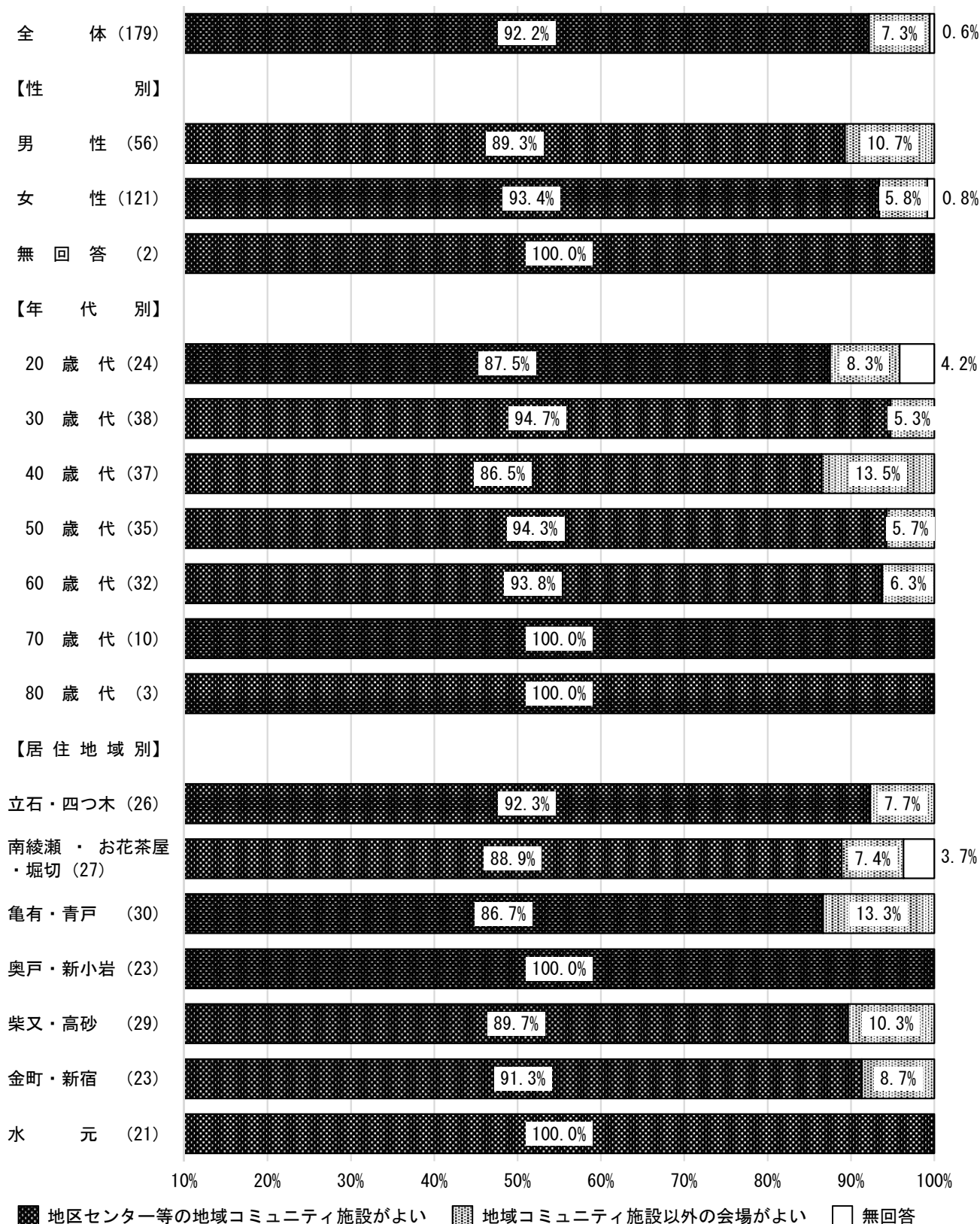
年代別でも、全ての年代で「地区センター等の地域コミュニティ施設がよい」が最も高くなっている。

「地域コミュニティ施設以外の会場がよい」と答えた方へ具体的な場所を尋ねたところ、「Webでの開催」、「ショッピングモールなどの商業施設」、「保育園や小・中学校」などが挙げられた。



n=179

問30 皆様が参加しやすい開催場所について教えてください。  
 (全体・性別・年代別・居住地域別)



n=179

(31) 力を入れてほしい広聴活動について

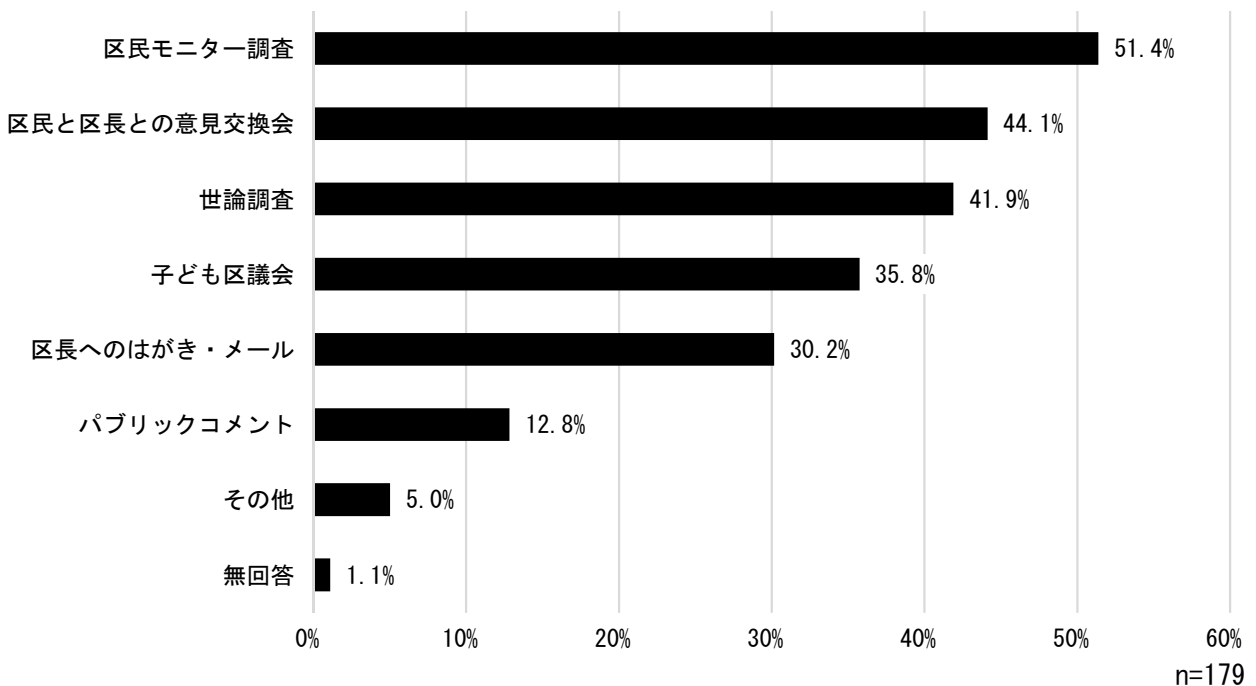
問31 今後、葛飾区にさらに力を入れて取り組んでほしい広聴活動（区民の皆様のご意見やご提案をお聞きし、区政に生かす仕組み）はどれですか？（あてはまるものすべてに○）

今後、葛飾区にさらに力を入れて取り組んでほしい広聴活動について、「区民モニター調査」が51.4%で最も高くなった。次いで「区民と区長との意見交換会」が44.1%、「世論調査（無作為抽出によって選出した区民による意識調査）」が41.9%で続いている。

「その他」の内容としては、「意見を募るサイトを作って色々な意見や提案を出してもらおう」、「意見に対する進捗状況の共有」などがあつた。

※その他に「区議会をネットのLIVE配信で見られる様にしてほしい」、とのご意見がありました。

区議会の様子は葛飾区議会ホームページ（<https://www.katsushika-kugikai.jp/>）で視聴できます。（トップページ→議会中継へ）



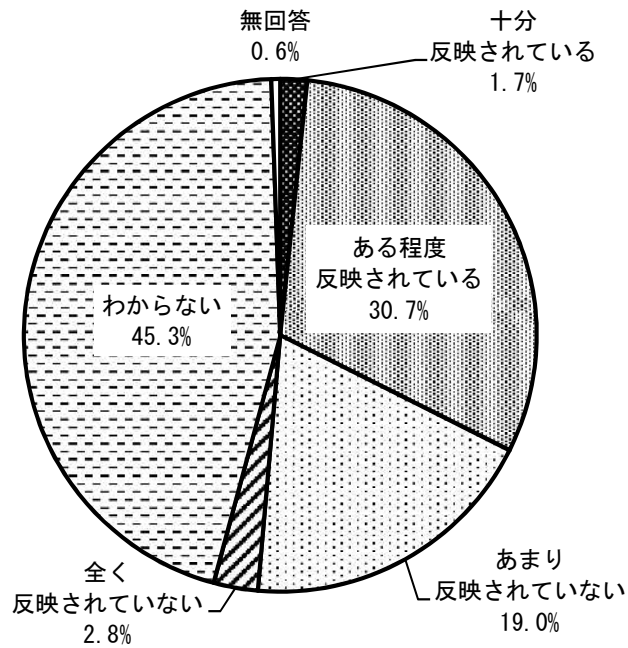


(32) 区民の意見が反映されているかについて

問32 葛飾区の政策や施策には区民の意見が反映されていると思いますか？また、回答の理由も教えてください。(〇は1つ)

葛飾区の政策や施策には区民の意見が反映されていると思うかについて、「わからない」が45.3%で最も高くなった。

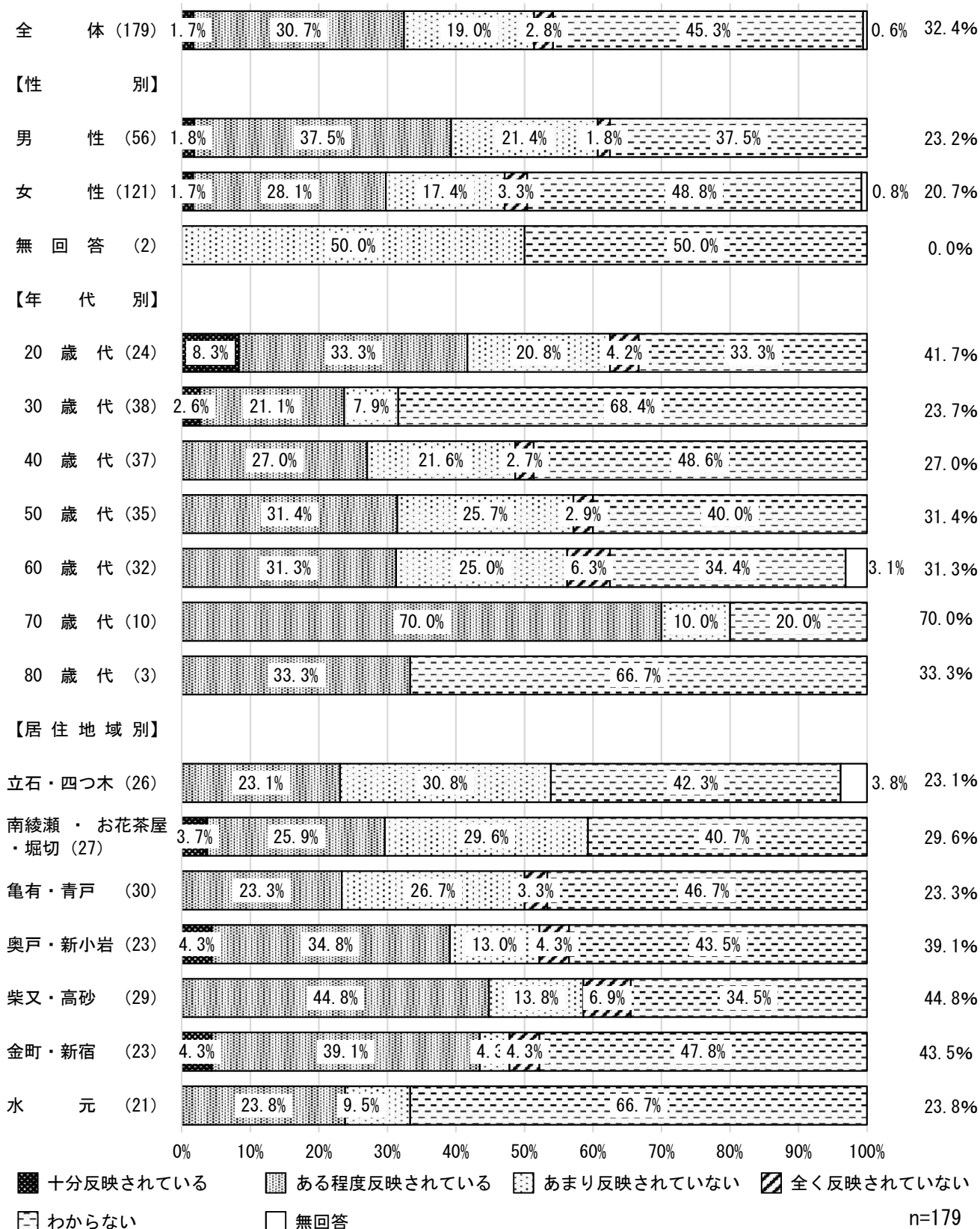
年代別で見ると、「ある程度反映されている」が最も高くなったのは70歳代で70.0%となっており、「わからない」が最も高くなったのは30歳代で68.4%、40歳代で48.6%、50歳代で40.0%、60歳代で34.4%、80歳代で66.7%となっている。20歳代では「ある程度反映されている」と「わからない」がともに33.3%で最も高くなっている。



n=179

問32 葛飾区の政策や施策には区民の意見が  
反映されていると思いますか？  
(全体・性別・年代別・居住地域別)

反映され  
ている  
(計)



(主な回答の理由)

<十分反映されている>

- ・葛飾区は他の地域と比べていろいろな取組をしてくれていると思う。(30歳代/女性)

<ある程度反映されている>

- ・子育て支援に関しては他の区よりも住民の意見が反映されていると感じている。(30歳代/女性)
- ・金町駅の階段からスロープ設置工事や、学校給食の無償化など、声をあげれば区として対応してもらえていることが実感として分かる。(20歳代/男性)
- ・住みやすく今の所不満もない。(50歳代/女性)

<あまり反映されていない>

- ・保育園の補助金問題とかきちんと区民に説明がされていないように感じる。新しい区役所の庁舎のことも。(40歳代/女性)
- ・区民の意見を表現する場が限られている。(40歳代/女性)
- ・そもそも区民の意見を吸い上げていると感じていない。(60歳代/男性)
- ・葛飾区が豊かになっているように感じられない。(50歳代/女性)

<全く反映されていない>

- ・意見を言っても一方的に区長の回答がされるだけで交換会にはなっていない。(60歳代/男性)
- ・あまり利用されていない東北広場を見ると思う。クリスマスイルミネーションがさびしさを感じさせる。南口ロータリーを2階建ての屋根付きにしてエレベーターをつけてほしかった。  
(60歳代/女性)
- ・壊れた道路の補修、踏切問題(高架)、区役所移設など、区民の民意の逆を行っていると感じる。  
(40歳代/女性)

<わからない>

- ・意見交換会というワードのみで内容が表に出てこないように思う。(40歳代/女性)
- ・どんな政策をしているのかよくわからない。(30歳代/女性)
- ・政策・施策に理解不足。(70歳代/男性)
- ・意見や要望があることをあまり知らなかった。(40歳代/女性)
- ・今まで区民がどのような意見をしているか考えたことがなかった。(50歳代/女性)
- ・「区民の意見」というものがそもそもわからない。(40歳代/女性)
- ・反映されている報告などは、どこかに情報としてあげられているのかもわからない。  
(40歳代/女性)

など(全50件)

(33) 区民と区長との意見交換会に関するご提案や改善点

問33 区民と区長との意見交換会に関してご提案や改善点などがありましたらご記入ください。  
(自由記述)

(主な回答)

<提案>

- ・事前に区民から意見交換テーマの希望を聞き、事前にテーマを決めた上で意見交換会をおこなった方がより実りあるものになると考える。(50歳代/男性)
- ・足立区では、「区民の声から PICK UP!」というページで、区長が直接、区民からの意見に回答をしているので、葛飾区でも、同様のページを是非作ってほしいと思う。(40歳代/男性)
- ・区民の世代ごとに様々な視点があるので、テーマごとに意見交換会を行ってほしい。(70歳代/男性)
- ・意見交換会でどんな意見があったか、どれが反映されたかを公表するとよいと思う。(40歳代/女性)
- ・オンライン参加が出来ると子育て世代も助かる。(20歳代/女性)
- ・まったく興味や関心がない話題の時も時間を拘束されるのは困るので、意見がある時だけチャットやZoomで参加できるようになれば気軽に様々なタイプの方が参加するようになると思う。  
(50歳代/女性)
- ・気楽に会い、話が聞けるような雰囲気づくりに気を使ってほしい。(80歳代/男性)
- ・インターネット上に匿名でなくていいので、項目ごとにできるだけ簡略化した意見フォームを作ってほしい。(20歳代/女性)

<改善点>

- ・意見交換会の記録は公表されているのか、広報かつしかだけではわからない。提案内容とその結果は広報かつしかでも公表してほしい。(60歳代/男性)
- ・意見交換会の日時がよくわからない。広報かつしかに目立つように載せてほしい。(60歳代/女性)
- ・周りに知り合いが多いとなかなか本音を出せないことも多いと思うので、何か意見を届けられる良い方法がないかなと考える。(70歳代/女性)
- ・申し込みをもっと簡単にした方がよいと思う。(60歳代/女性)

<その他>

- ・取り組んでほしい要望をすべて聞き入れてもらえる、反映されるとは思えないので、意見を述べてもいいのか考えてしまう。(50歳代/女性)
- ・直接意見交換ができることはお互いにとって進展していける良い方法と思う。(60歳代/女性)
- ・近いうちに参加してみたいが、参加方法が分からない。(50歳代/男性)
- ・意欲のある人のみが意見交換をしに来ると思うので、民意ではないと思う。もちろんそのような方々の意見も重要であると思う。(20歳代/女性)
- ・参加したことがないのでわからないが、区民と区長との意見交換会は良い事だと思う。続けていてほしい。(60歳代/女性)

など(全68件)

## 4-1 生涯学習について

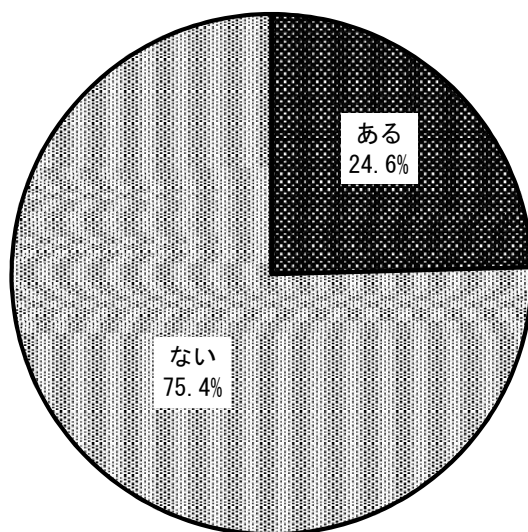
生涯学習とは、皆さんが生涯にわたって行う、学校教育、家庭教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動など、いつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことです。

### (34) 生涯学習の場への参加について

問34 区では、だれもが生涯にわたって豊かに学ぶことができるよう、講座などの開催や区民の自主的な学習の支援を行っています。また、企業やNPOなどでも学びの場が提供されています。あなたはこの1年間に、生涯学習の場に参加したことはありますか？（○は1つ）

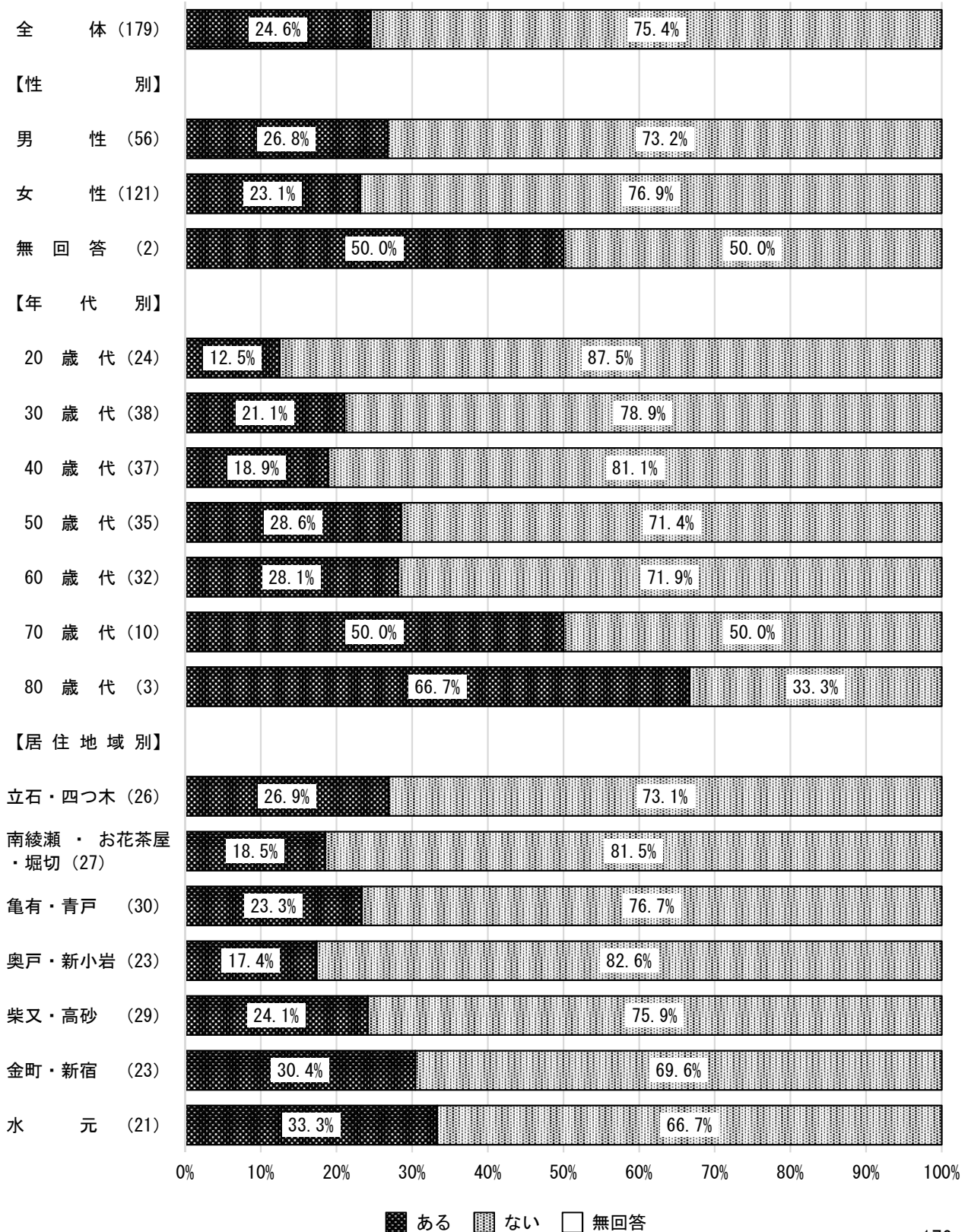
この1年間に生涯学習の場に参加したことがあるかについて、75.4%が「ない」と答えた。

年代別でみると、「ある」と答えた方が多かったのは80歳代で66.7%となっている。一方で「ない」と答えた方は20歳代の87.5%が最も高く、次いで40歳代の81.1%と続いている。なお、70歳代では「ある」と「ない」がともに50.0%となっている。



n=179

問34 あなたはこの1年間に、  
生涯学習の場に参加したことはありますか？  
(全体・性別・年代別・居住地域別)



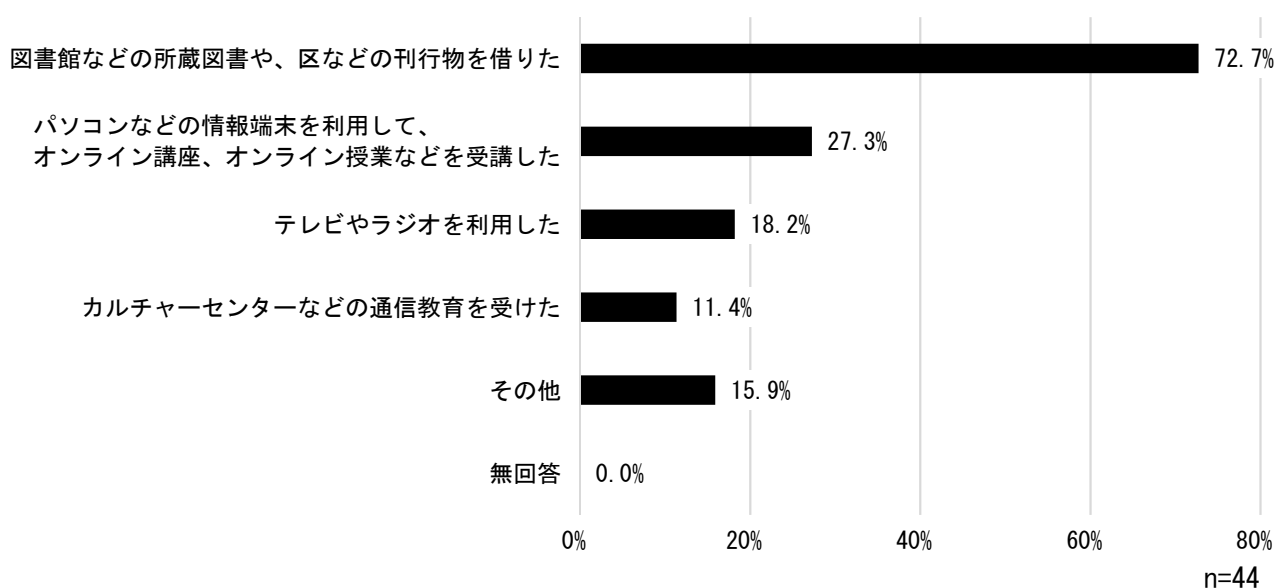
n=179

(35) 自宅での学習場所や形態について

問35 問34で「1. ある」を選択した方にお伺いします。  
自宅で学習を行うとき、あなたはどのような場所や形態で生涯学習を行っていますか？  
(あてはまるものすべてに○)

自宅で学習を行うとき、どのような場所や形態で生涯学習を行っているかについて、「図書館などの所蔵図書や、区などの刊行物を借りた」が72.7%で最も高くなった。次いで「パソコンなどの情報端末を利用して、オンライン講座、オンライン授業などを受講した」が27.3%、「テレビやラジオを利用した」が18.2%で続いている。

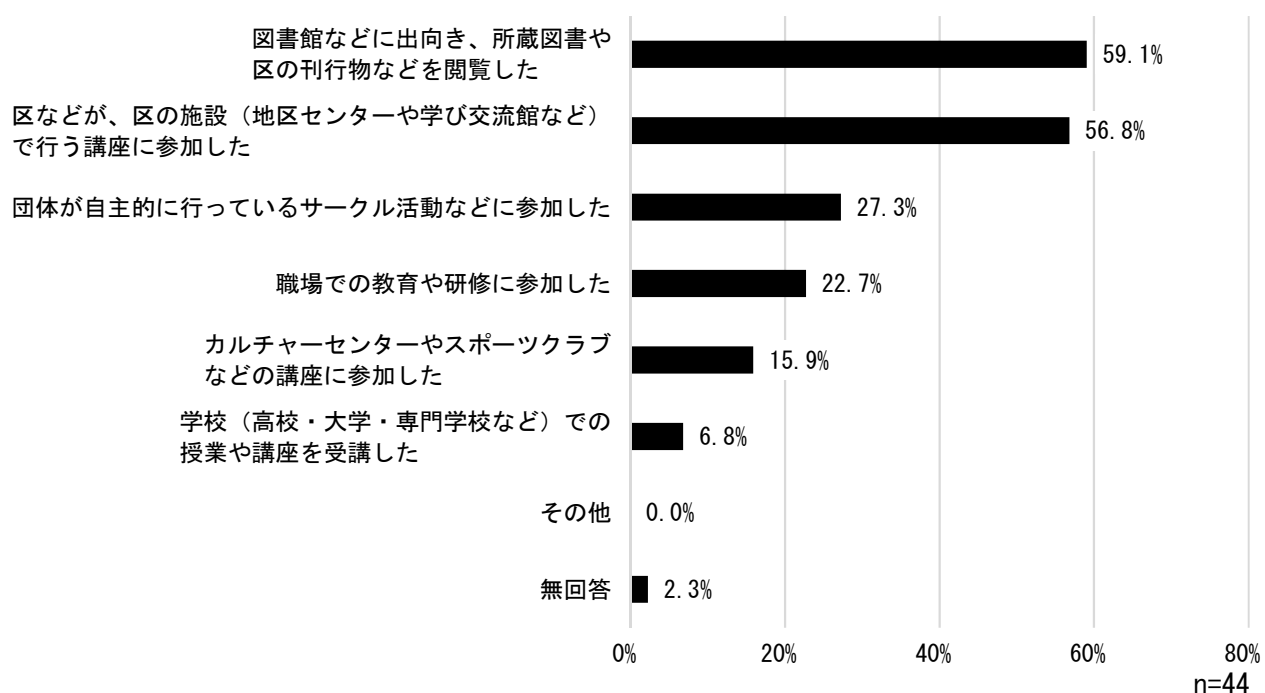
「その他」の内容としては、「区民大学」、「男女平等センターの講演に参加した」、「手話教室への参加」などがあつた。



(36) 自宅以外での学習場所や形態について

問36 問34で「1. ある」を選択した方にお伺いします。  
自宅以外で学習を行うとき、あなたはどのような場所や形態で生涯学習を行っていますか？  
(あてはまるものすべてに○)

自宅以外で学習を行うとき、どのような場所や形態で生涯学習を行っているかについて、「図書館などに出向き、所蔵図書や区の刊行物などを閲覧した」が59.1%で最も高くなった。次いで「区などが、区の施設（地区センターや学び交流館など）で行う講座に参加した」が56.8%、「団体が自主的に行っているサークル活動などに参加した」が27.3%が続いている。



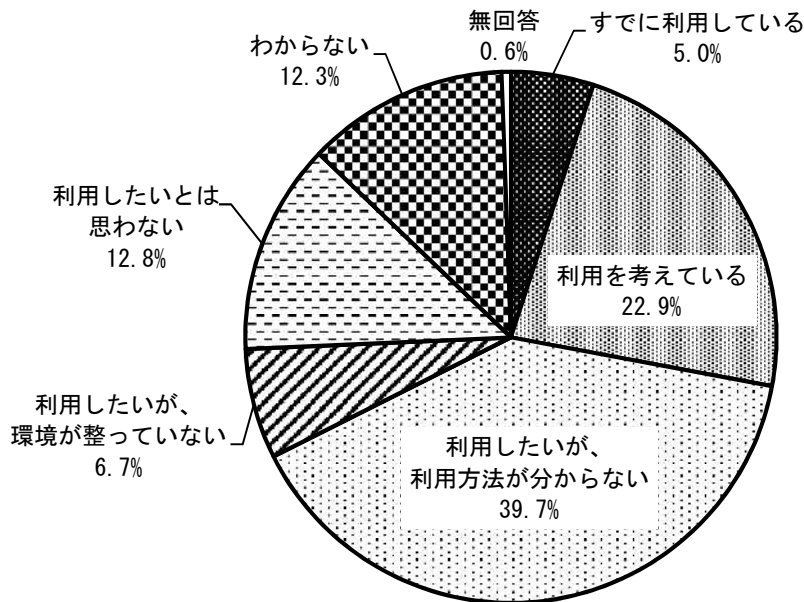


(37) インターネットを活用した講座の受講について

問37 区では、区民の皆様がいつでもどこでも学ぶことができるよう、インターネット（Web(ウェブ)）などを活用して、生涯学習の充実に取り組んでいます。あなたは、インターネット（Web）などを活用して、自宅で講座を受講できるシステムがあれば、利用したいと思いますか？（○は1つ）

インターネット（Web）などを活用して自宅で講座を受講できるシステムがあれば、利用したいと思うかについて、「利用したいが、利用方法が分からない」が39.7%で最も高くなった。

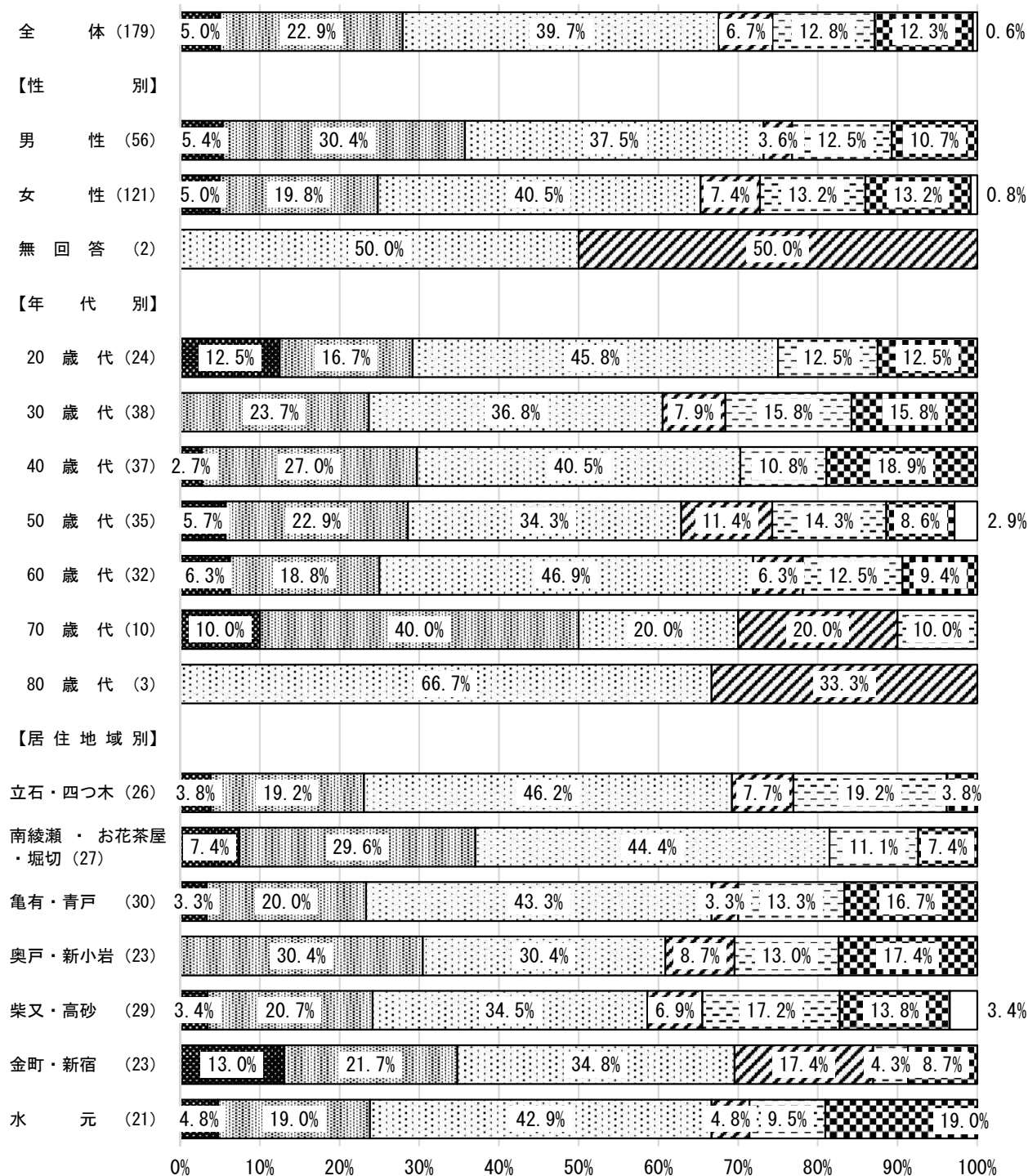
年代別でみると、「利用を考えている」が最も高くなったのは70歳代で40.0%となっており、「利用したいが、利用方法が分からない」が最も高くなったのは20歳代で45.8%、30歳代で36.8%、40歳代で40.5%、50歳代で34.3%、60歳代で46.9%、80歳代で66.7%となっている。



n=179

### 問37 インターネット（Web）などを活用して、自宅で講座を受講できるシステムがあれば、利用したいと思いますか？

（全体・性別・年代別・居住地域別）



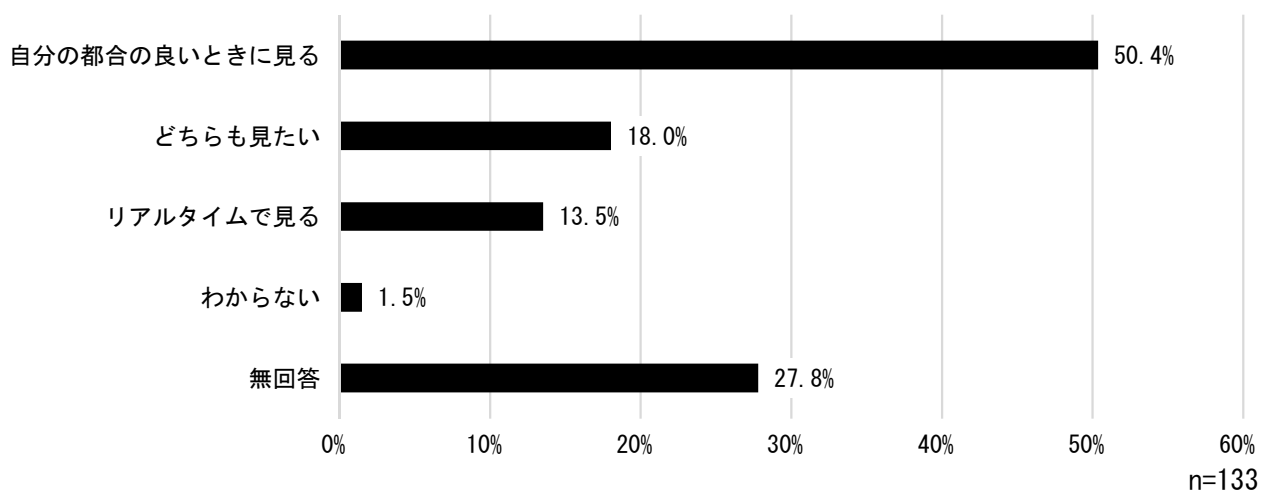
- すでに利用している
- ▨利用を考えている
- ▤利用したいが、利用方法が分からない
- ▧利用したいが、環境が整っていない
- ▦利用したいとは思わない
- ▩わからない
- 無回答

n=179

(38) インターネットを活用した講座の配信方法について

問38 問37で「1.すでに利用している」～「4. 利用したいが、環境（パソコン、通信回線）が整っていない」を選択した方にお伺いします。  
インターネット（Web）を活用して講座を受講するときは、どのような配信方法を希望しますか？（あてはまるものすべてに○）

インターネットを活用した講座について、どのような配信方法を希望するかについて、「自分の都合の良いときに見る（録画など）」が50.4%で最も高くなった。次いで「どちらも見たい」が18.0%、「リアルタイムで見る」が13.5%が続いている。

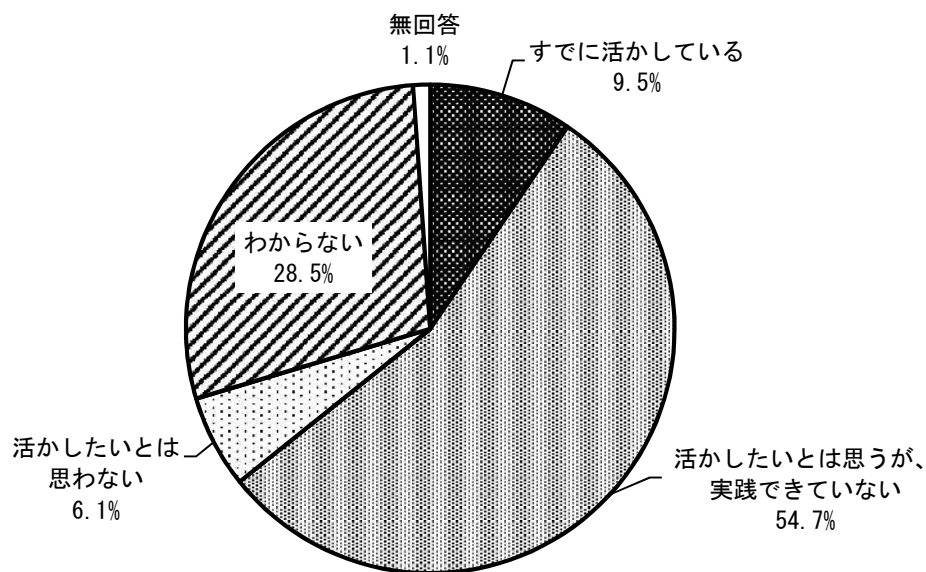


(39) 学習した知識の活用意欲について

問39 あなたは、学習で得た知識や技能を、地域や社会で活かしたいと思いますか？（〇は1つ）

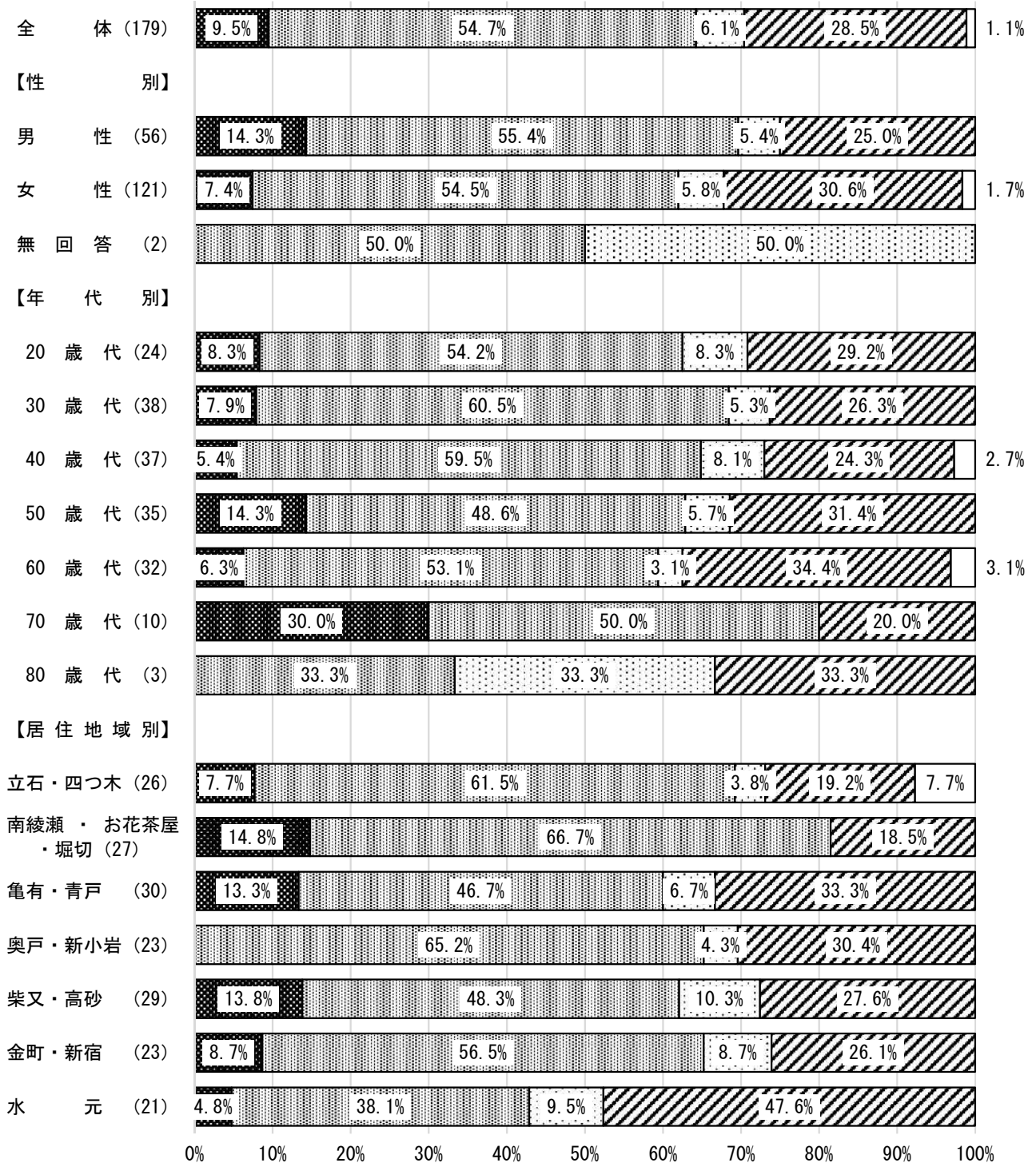
学習で得た知識や技能を、地域や社会で活かしたいと思うかについて、「活かしたいとは思うが、実践できていない」が54.7%で最も高くなった。

年代別で見ると、「活かしたいとは思うが、実践できていない」が最も高くなったのは20歳代の54.2%、30歳代の60.5%、40歳代の59.5%、50歳代の48.6%、60歳代の53.1%、70歳代の50.0%となっている。80歳代では「活かしたいとは思うが、実践できていない」と「活かしたいとは思わない」と「わからない」がともに33.3%となっている。



問39 あなたは、学習で得た知識や技能を、地域や社会で  
活かしたいと思いますか？

(全体・性別・年代別・居住地域別)



すでに活かしている
 
 活かしたいとは思いますが、実践できていない

活かしたいとは思わない
 
 わからない

無回答

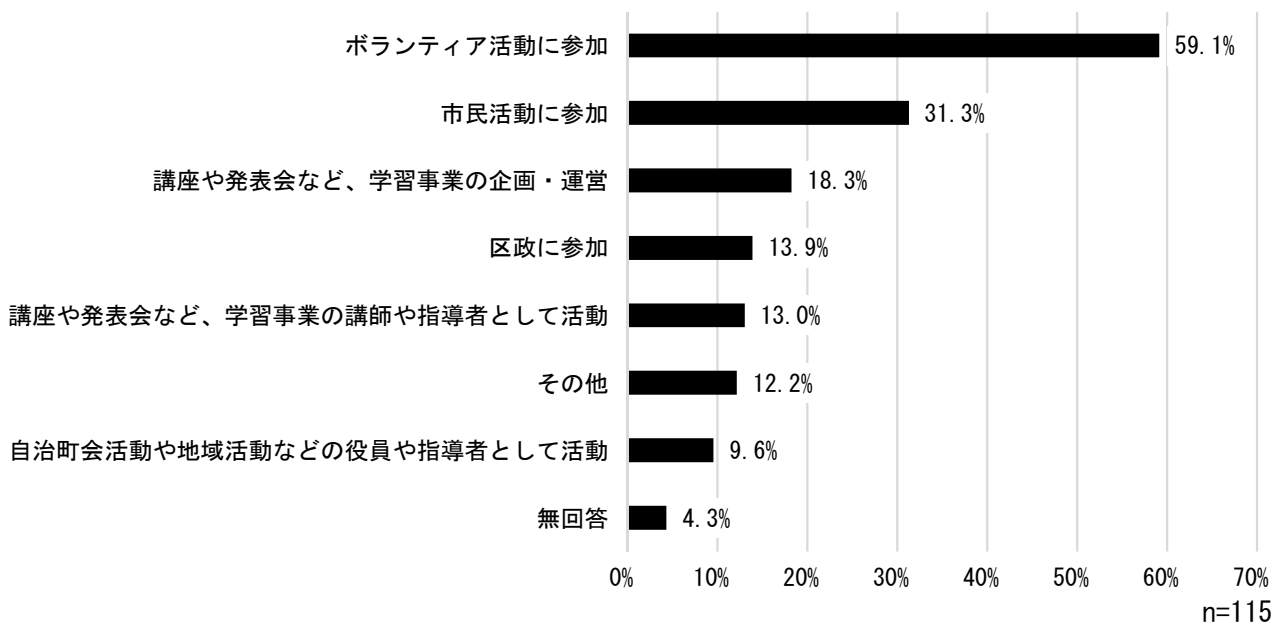
n=179

(40) 学習した知識の活用方法について

問40 問39で「1. すでに活かしている」「2. 活かしたいと思うが、実践できていない」を選択した方にお伺いします。  
あなたは、学習で得た知識を、どのような活動に活かしていますか。または、活かしたいと思  
いますか？（あてはまるものすべてに○）

学習で得た知識や技能をどのような活動に活かしているか、また、活かしたいと思うかについて、「ボランティア活動に参加」が59.1%で最も高くなった。次いで「市民活動に参加」が31.3%、「講座や発表会など、学習事業の企画・運営」が18.3%で続いている。

「その他」の内容としては、「仕事」、「自己啓発」、「子育てや友達の相談」などがあつた。



## 4-2 葛飾区郷土と天文の博物館について

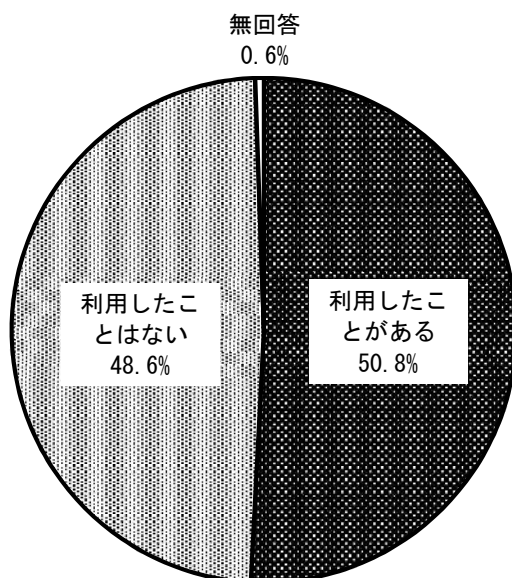
葛飾区郷土と天文の博物館では、郷土かつしかの歴史や民俗などの貴重な資料を展示しています。また、天文に関する展示やプラネタリウムがあり、様々な講座や催しなどを行っています。

### (41) 「郷土と天文の博物館」の利用について

問41 「郷土と天文の博物館」を利用したことはありますか？（講座や催しを含む）（○は1つ）

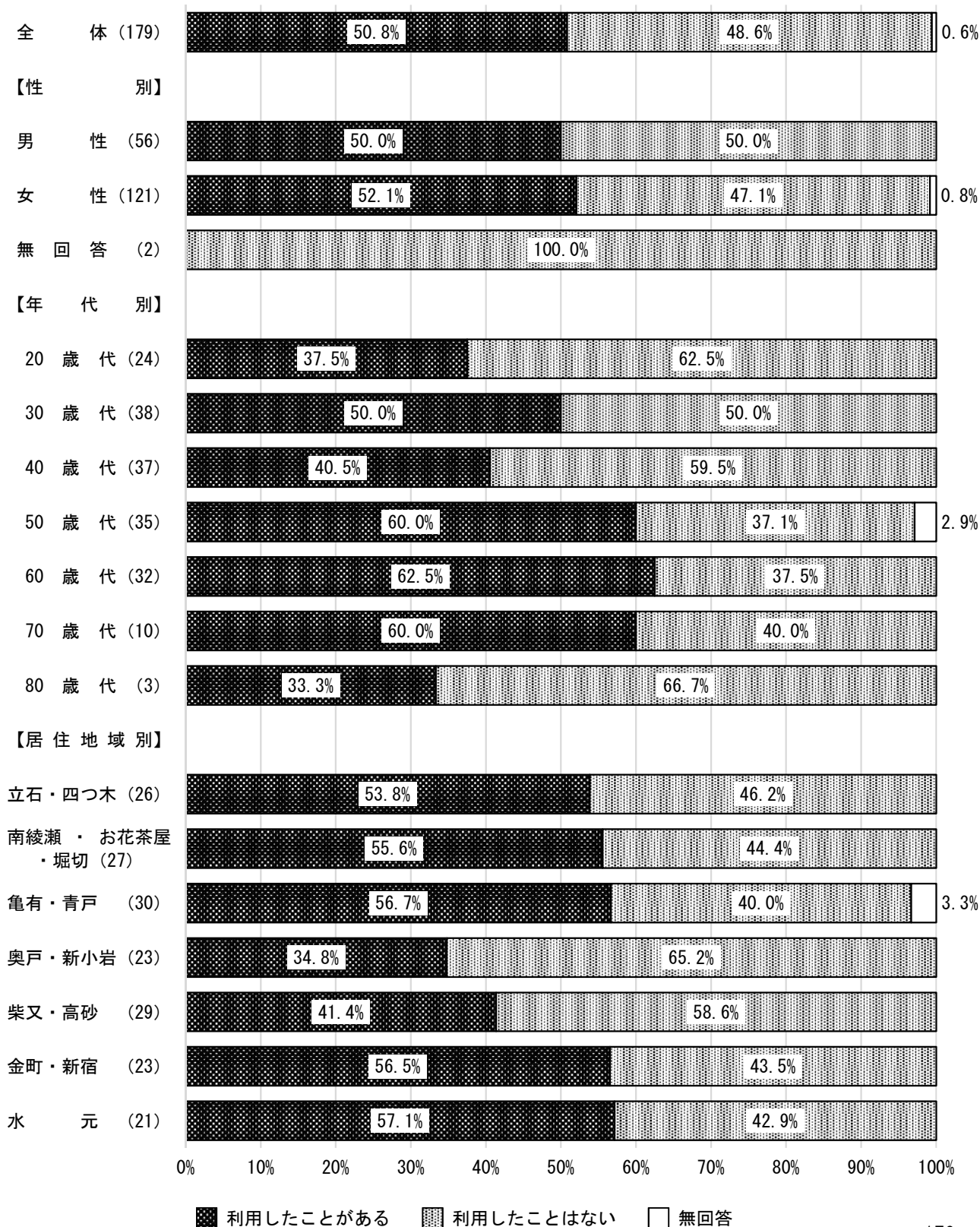
「郷土と天文の博物館」を利用したことがあるかについて、50.8%が「利用したことがある」と答えた。

年代別でみると、「利用したことがある」と答えた方は、60歳代の62.5%が最も高く、次いで50歳代と70歳代がともに60.0%と続いている。一方で、「利用したことはない」と答えた方は、80歳代の66.7%が最も高く、次いで20歳代の62.5%、40歳代の59.5%と続いている。なお、30歳代では「利用したことがある」と「利用したことはない」がともに50.0%となっている。



n=179

問40 「郷土と天文の博物館」を利用したことはありますか？  
 (講座や催しを含む)  
 (全体・性別・年代別・居住地域別)



n=179



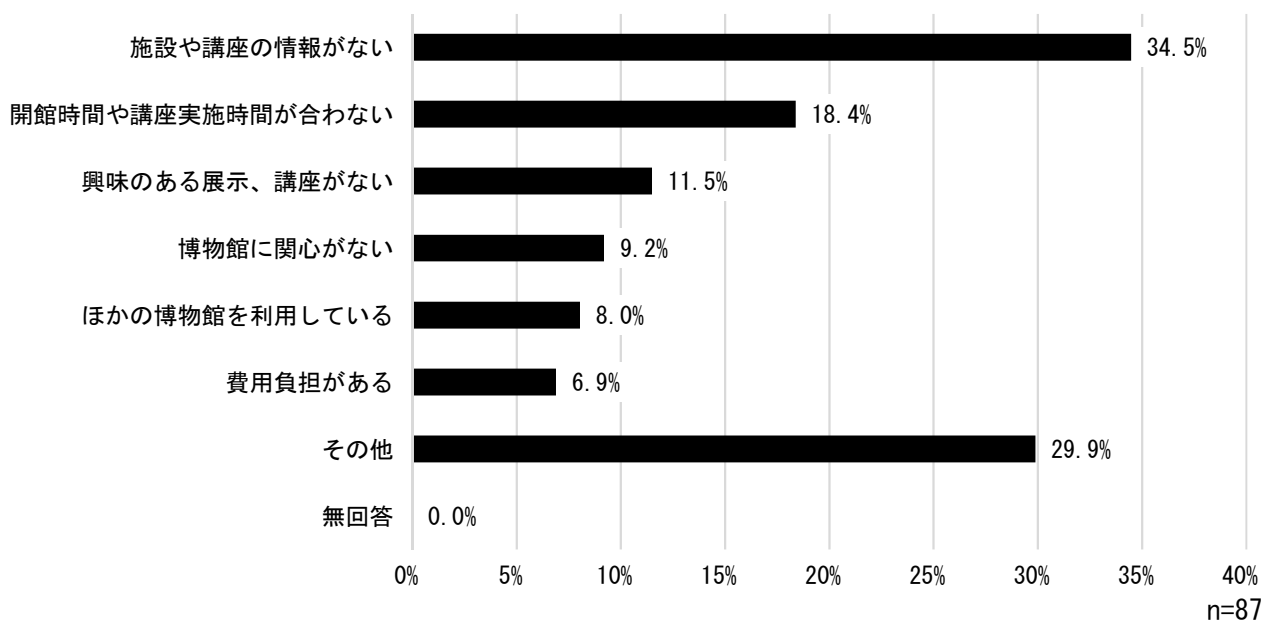
(42) 利用しない理由について

問42 問41で「2. 利用したことがない」を選択した方にお伺いします。

「郷土と天文の博物館」を利用しない理由は何ですか？（あてはまるものすべてに○）

「郷土と天文の博物館」を利用しない理由について、「施設や講座の情報がない」が34.5%で最も高くなった。次いで「開館時間や講座実施時間が合わない」が18.4%、「興味のある展示、講座がない」が11.5%で続いている。

「その他」の内容としては、「博物館があること自体知らなかった」、「家から少し遠い」、「興味はあるが、行く機会がなかった」などがあつた。

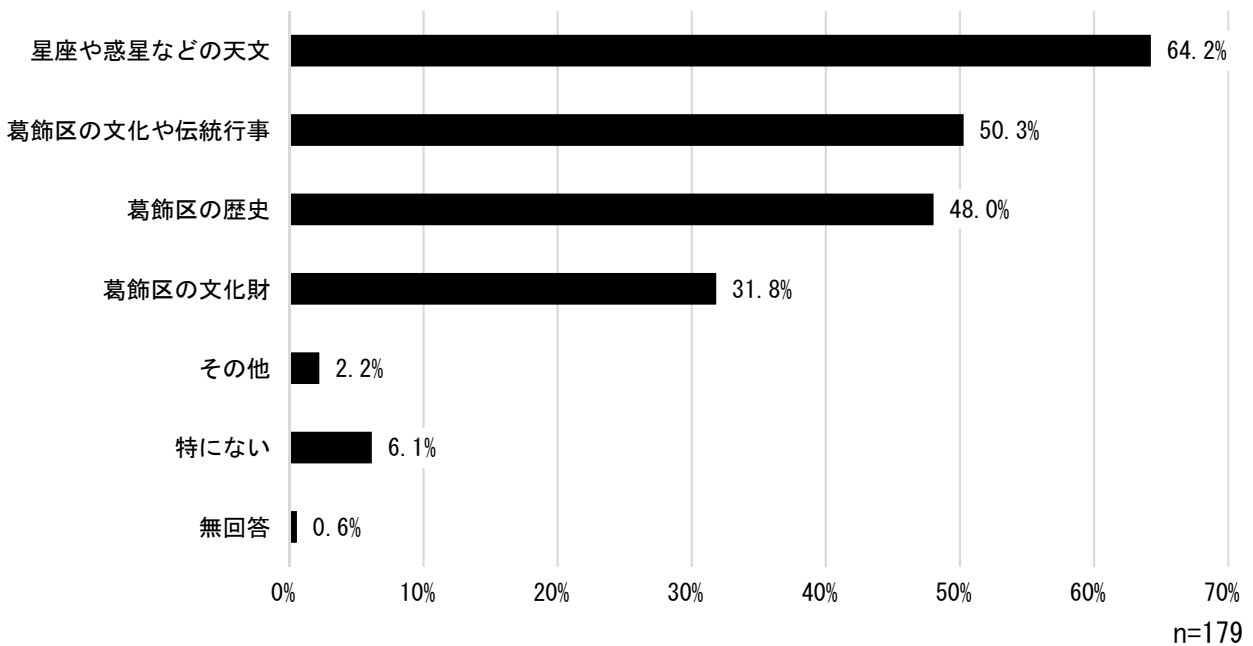


(43) 興味のあるテーマについて

問43 「郷土と天文の博物館」では、収集している資料の展示だけでなく、テーマを設けて年数回の特別展や企画展を開催しています。あなたは、どのようなテーマに興味がありますか？  
(あてはまるものすべてに○)

どのようなテーマに興味があるかについて、「星座や惑星などの天体」が64.2%で最も高くなった。次いで「葛飾区の文化や伝統行事」が50.3%、「葛飾区の歴史」が48.0%が続いている。

「その他」の内容としては、「子ども向けをもっと多く開催してほしい」、「みそ作り、塩こうじ作りを継続してほしい。他に手作りで持ち帰れるものがあれば希望」、「京成電鉄の歴史について」などがあつた。

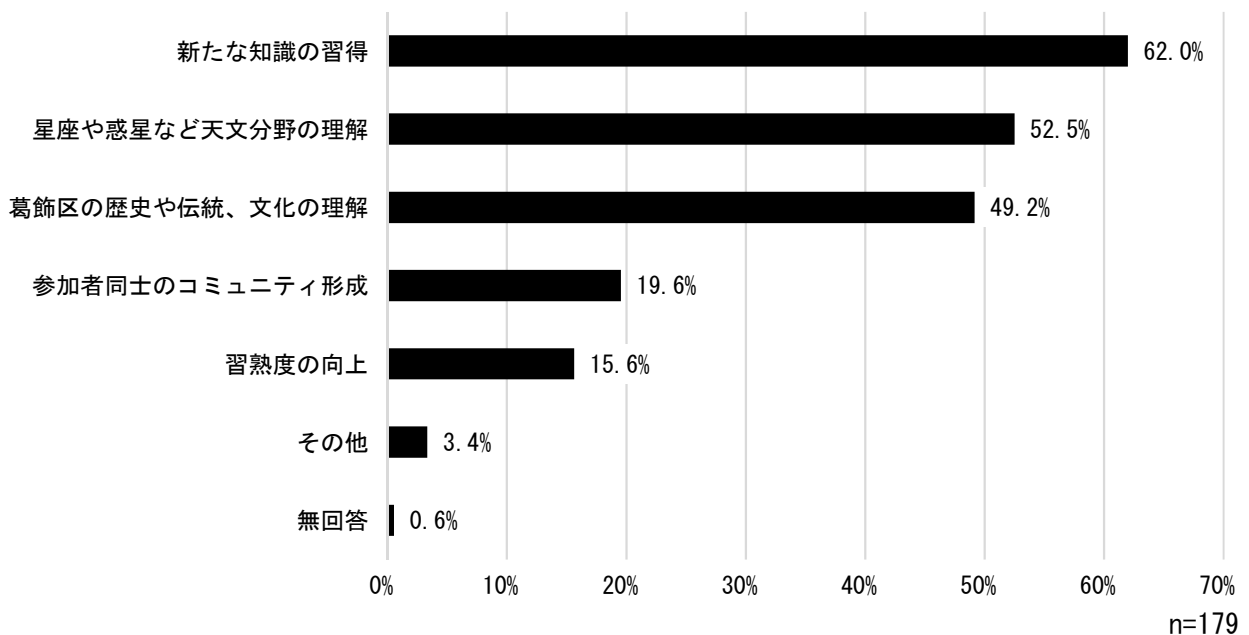


(44) 講座や体験事業へ期待することについて

問44 「郷土と天文の博物館」では、講座や体験事業を行っています。あなたは講座や体験事業にどのような期待をして参加しますか？（あてはまるものすべてに○）

講座や体験事業にどのような期待をして参加するかについて、「新たな知識の習得」が62.0%で最も高くなった。次いで「星座や惑星など天文分野の理解」が52.5%、「葛飾区の歴史や伝統、文化の理解」が49.2%で続いている。

「その他」の内容としては、「子どものころに地元に関する知識を得ること」、「子どもが楽しんで参加できるもの」、「子どもの自然体験」などがあつた。



### 4-3 葛飾区の文化財について

葛飾区内には、その地域で長年守り伝えられてきた歴史や文化を知るうえで重要な建物や技術、風習など様々なものが残されています。それらを後世に残し、活用を図るために文化財保護法に基づき、指定や登録されたものが文化財です。

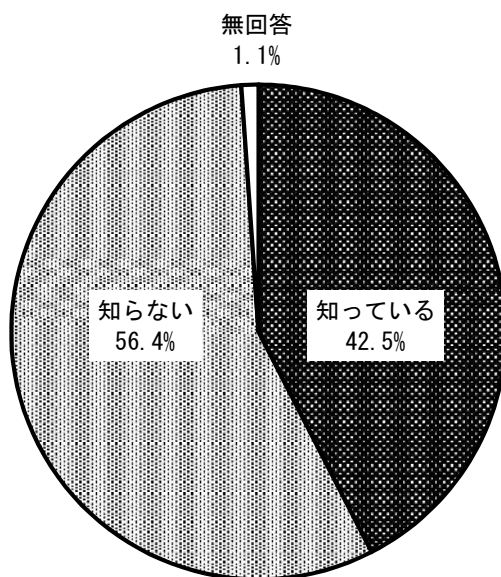
#### (45) 区内の文化財の認知度について

問45 葛飾区内には、区が指定・登録した文化財が約200件あるほか、国や東京都から指定・登録されている文化財があります。あなたは、区内に文化財があることをご存じですか？  
(○は1つ)

葛飾区内に文化財があることを知っているかについて、56.4%が「知らない」と答えた。

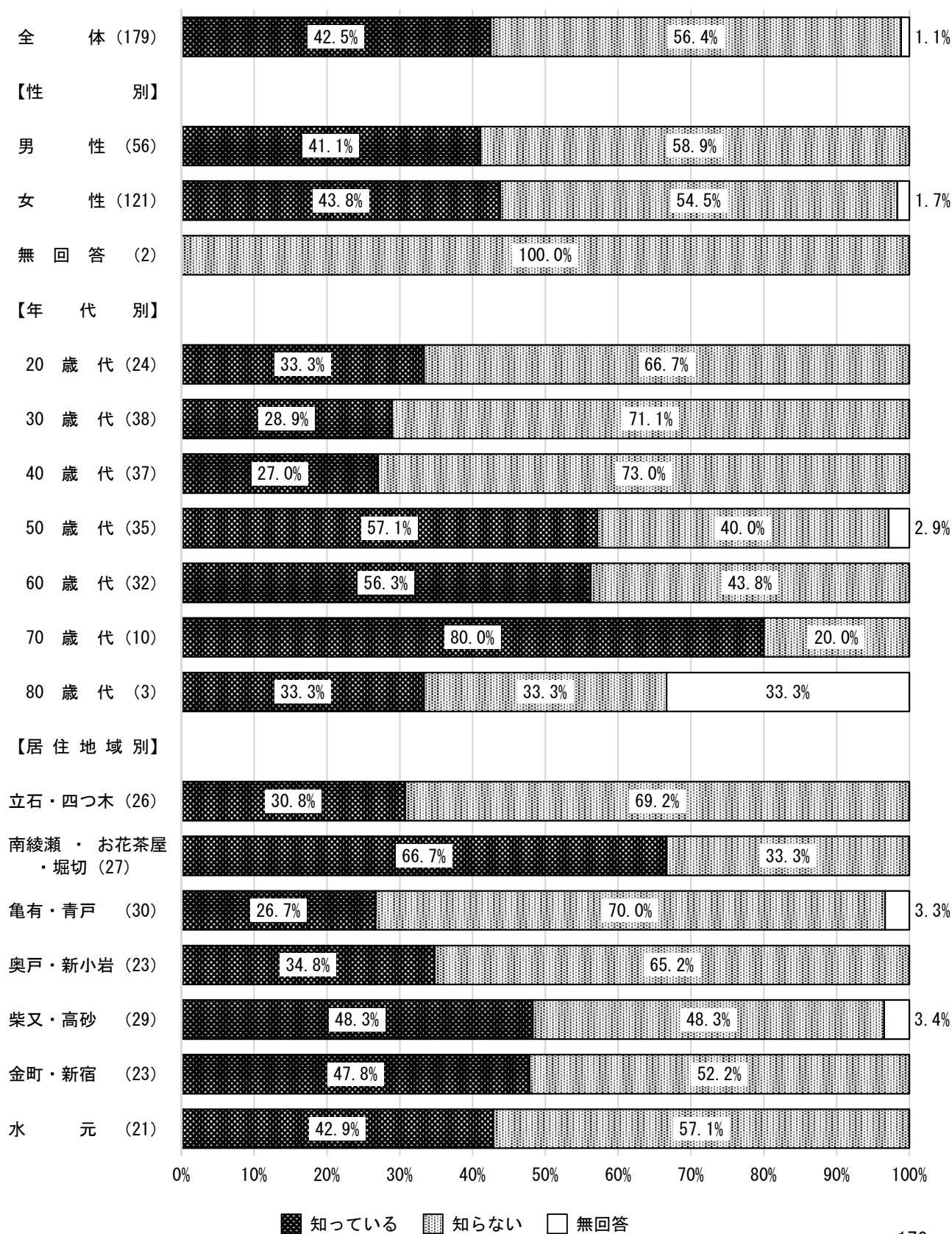
年代別でみると、「知っている」と答えた方は70歳代の80.0%が最も高く、次いで50歳代の57.1%、60歳代の56.3%と続いている。一方で「知らない」と答えた方は40歳代の73.0%が最も高く、次いで30歳代の71.1%、20歳代の66.7%と続いている。

なお、80歳代では「知っている」と「知らない」がともに33.3%となっている。



n=179

問45 あなたは、区内に文化財があることをご存じですか？  
 (全体・性別・年代別・居住地域別)



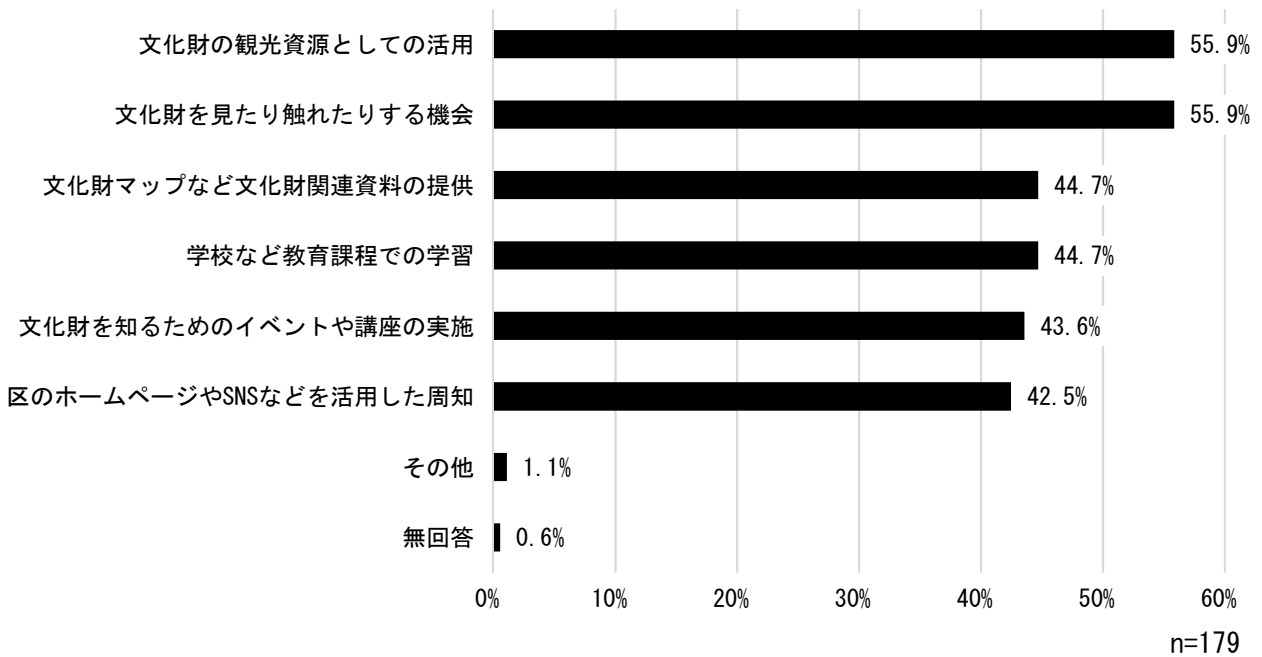
n=179

(46) 区内の文化財をより知ってもらうために必要な取組について

問46 葛飾区内にある文化財は、葛飾区の歴史や文化を知るうえで、貴重な資料です。文化財のことをより知っていただくために、どのような取組が必要だと思いますか？  
(あてはまるものすべてに○)

文化財のことをより知ってもらうために必要な取組について、「文化財の観光資源としての活用」と「文化財を見たり触れたりする機会」がともに55.9%で最も高くなった。次いで「文化財マップなど文化財関連資料の提供」と「学校など教育課程での学習」が44.7%で続いている。

「その他」の内容としては、「商店街のお店にも協力してもらい、ドアにもポスターを貼る」、「朝ドラなどのロケ地になるとよい」などがあつた。

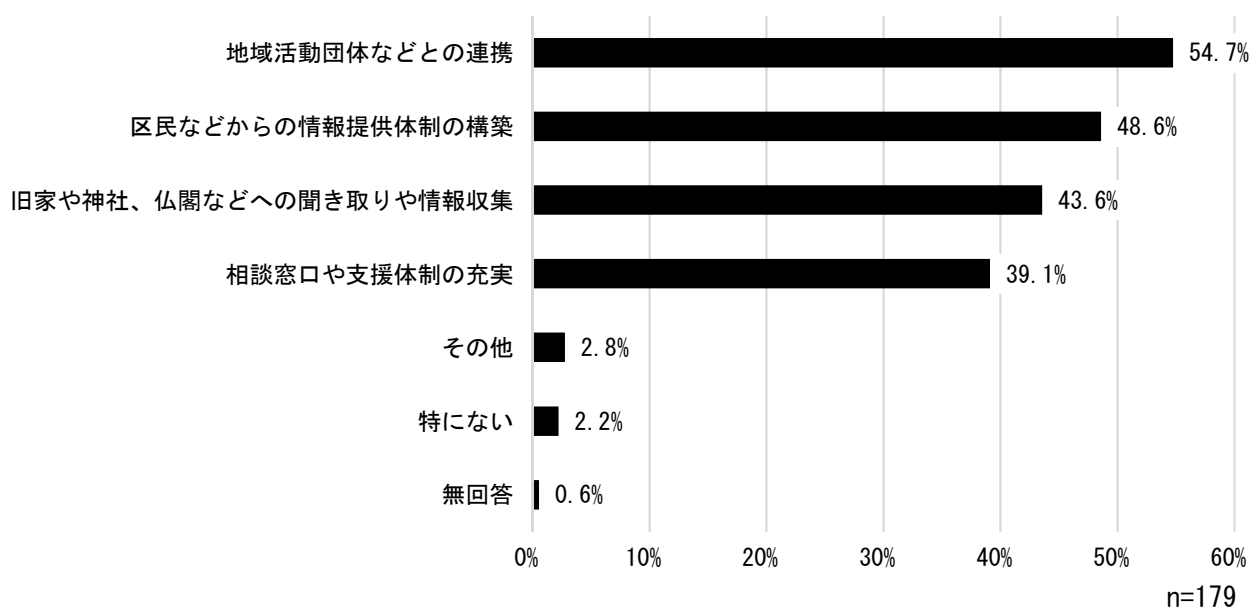


(47) 文化的資源の保存・活用のために有効な方法について

問47 区内には、指定や登録された文化財以外にも地域で守り伝えられている文化的資源が存在します。これら文化的資源の保存・活用には、地域の方々の協力も欠かせません。そのためにはどのような方法が有効だと思いますか？（あてはまるものすべてに○）

文化的資源の保存・活用のために有効な方法について、「地域活動団体との連携」が54.7%で最も高くなった。次いで「区民などからの情報提供体制の構築」が48.6%、「旧家や神社、仏閣などへの聞き取りや情報収集」が43.6%で続いている。

「その他」の内容としては、「DXで誰もがアクセスしやすくする」、「商店街のお店のドアにポスターを貼る」、「どのような協力が必要なのかを周知」などがあつた。



令和4年度 第2回  
葛飾区区民モニターアンケート調査報告書

令和5年（2023年）3月発行

葛飾区総務部すぐやる課すぐやる係  
東京都葛飾区立石5-13-1  
電話 03-3695-1111（代表）

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。